2-595-306-01(1)

ハードディスク搭載DVDレコーダー取扱説明書

DESR-7700
DESR-5700

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この「取扱説明書」と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

接続と準備

PSX入門

テレビを楽しむ

テレビ

ビデオを楽しむ

ビデオ

必ずお読みください

本書の読みかた

- 取扱説明書(本書)では、リモコンのボタンを使った説明を主体としています。
- 取扱説明書(本書)で使われている画面イラストと実際に出る画面は異なることがあります。
- 取扱説明書(本書)で説明しているイラストは、DESR-7700を使っています。

本機は日本国内専用品です。
DVD-Videoを本機で再生して他機で録画する場合、録画動作が停止されたり、録画が制限されることがあります。これはDVD-Videoに施されたコピープロテクションによるものです。このコピープロテクションを改変したり、除去するなどしてDVD-Videoを録画することは、私的使用のためであっても、法律により禁止されています。

本機にはアクセスコントロールが施されています。DVD-Video及び音楽CDを除く非専用ソフトウェア、並びに専用ソフトウェアの複製物は、本アクセスコントロールにより本機において使用することができません。本アクセスコントロールの無効化装置もしくはプログラム又は本無効化装置を組み込んだ本機を譲渡し、引き渡し、展示し、輸出し、輸入し、又は送信することは、法律により禁止されています。

本機は"PlayStation"や"PlayStation 2"と操作方法が異なることがあります。

本機の取り扱いについて

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く、磁気を帯びたものに近い場所での使用も避ける必要があります。ハードディスクには記録した画像データを守るための安全機構が組み込まれていますが、大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだまま本機を移動させない。
- 電源が入っているときは、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しない。
- 故障の原因となるため、お客様自身でハードディスクの交換や増設をしない。

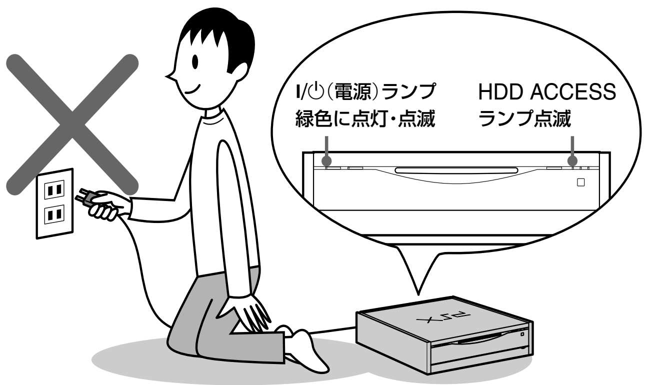
何らかの原因で機器が故障した場合を含め、いかなる場合においても記録内容の補償はできません。ハードディスクは大切な画像データを編集してDVDにダビングするまでの一時的な記録場所としてご利用ください。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に本体のI/⏻(電源)スイッチを押してから、実際に起動するまでと、実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。

本体のI/⏻(電源)ランプが緑色に点灯・点滅しているときやHDD ACCESSランプが点滅しているときは、電源コードを絶対に抜かないでください。

本体のI/⏻(電源)ランプが点灯・点滅しているときやHDD ACCESSランプが点滅しているときに電源を抜くと、本機に内蔵されているハードディスクが壊れ、本機が使用できなくなることがあります。



残像現象(画像の焼きつき)のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビなどでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

本機の取り扱いについて

- 本機は、コンセントの近くで使用してください。本機を使用中に不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光の当たる場所には置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばでは絶対に使用しないでください。

結露について

結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

本機のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

クリーニングディスクについて

市販のレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

録画やダビングについて

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画･録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

万一、本機のハードディスクやDVD+R/DVD+RW/DVD-R/DVD-RWディスクの不具合、故障、修理、交換、その他の外部要因を含め何らかの原因で録画･編集ができなかった場合、録画･編集されたものが破損、消滅した場合等、いかなる場合においても記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いません。

なお、ソフトウェア更新時に予期せぬ不具合により、まれにハードディスクに保存されている映像などに損傷を与えることがあります。

録画やダビングの制限について

「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像を本機で録画することはできません。また、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像をDVDにダビングすると、DVDへのダビング完了と同時に、ダビングした映像が本機のハードディスクから消去されます。

コピー制御信号の種類	本機のハードディスクに録画	→ ハードディスクからDVDにダビング
録画自由 地上波放送など	○	○
1回だけ録画可能 BSデジタル放送など	○	△ **ハードディスクからDVDへ移動**
録画禁止 DVD-Videoなど	×	×

ご注意

地上･BS･110度CSデジタル放送のほとんどの番組は、コピー制御信号が含まれております。

「録画禁止」のコピー制御信号が含まれる番組を録画することはできません。

著作権について

- 本機で記録した静止画や動画及び音楽などの第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のディスク（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機の外部入力に接続したチューナーの番組には録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。
- 本機は、接続するテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

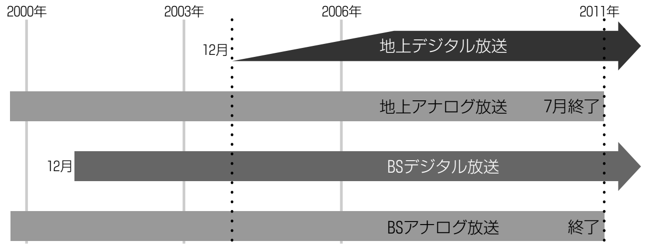
DESR-7700/5700の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のために権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

アナログ放送からデジタル放送への移行について

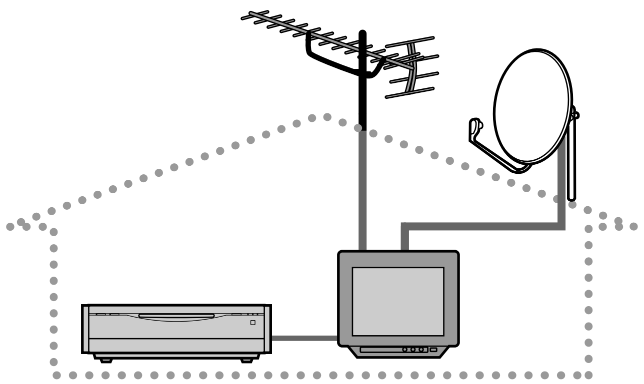
デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。



本機でデジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、本機を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。番組によっては、コピー制御信号により、録画や一度録画したタイトルのダビングができない場合があります。

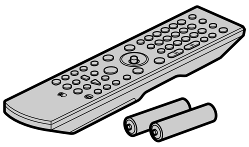


接続と準備

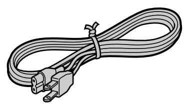
準備1　付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。

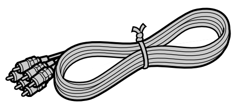
リモコン(1)
単3乾電池(2)



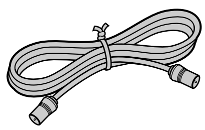
電源コード(1)



映像・音声コード(1)



F型コネクター付同軸ケーブル(1)



取扱説明書

安全のために

PSX準備のポイント

"x-アプリ"活用ガイド

保証書

"PSX"カルテ

(各1部)

準備2　アンテナを接続する

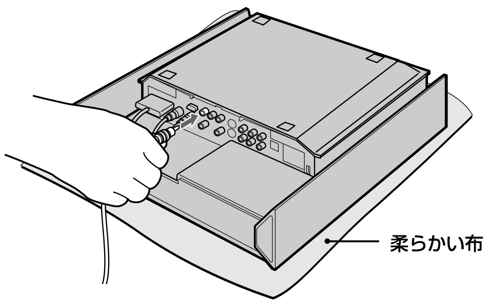
ご注意はP31へ

お使いの機種により接続方法が異なります。お使いの機種にあった接続方法をご覧ください。
DESR-7700の接続方法 → 10ページ
DESR-5700の接続方法 → 11ページ

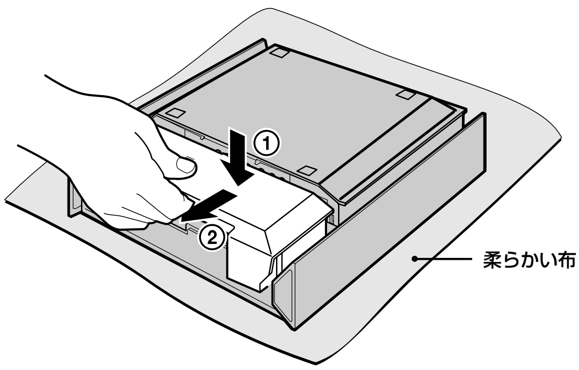
電源コードは必ず、すべての接続が終わってから接続してください。

接続するときの設置のしかた

接続をするときのみ、下の図のように本機を設置して接続してください。
前面を下にして接続すると前面に傷がつくことがありますので、必ず柔らかい布の上に、本機の天面を下にして接続してください。
接続が終了したら、「準備5　設置する」(13ページ)をご覧になり、正しい方法で本機を設置してください。



本機底面のふたのはずしかた



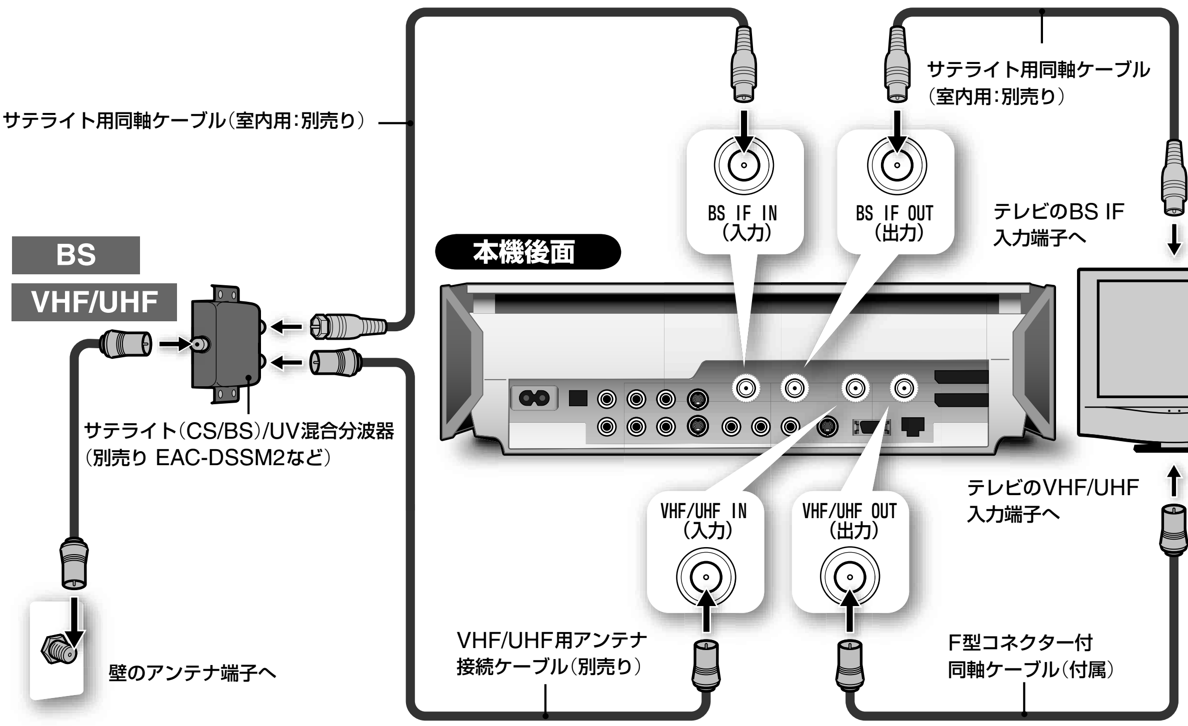
①ふたの ⩸ の位置を下に押し込みながら、②手前に引っぱる。

DESR-7700モデルの場合の接続方法

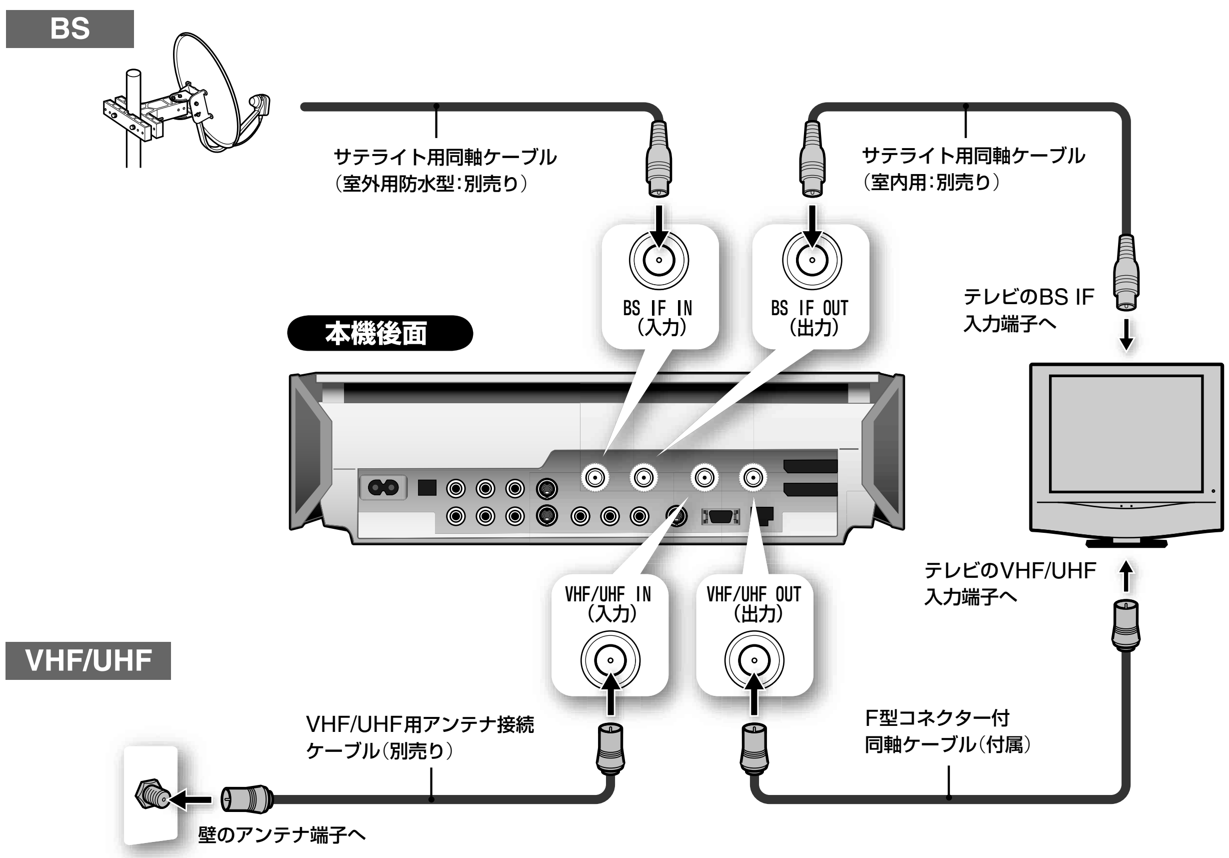
本書記載の別売りアクセサリーは、2005年3月現在のものです。万一、品切れや生産完了の際はご容赦ください。

VHF/UHFとBSアンテナが混合のときは

下の接続図のように、BS放送とテレビ放送を分波して接続してください。



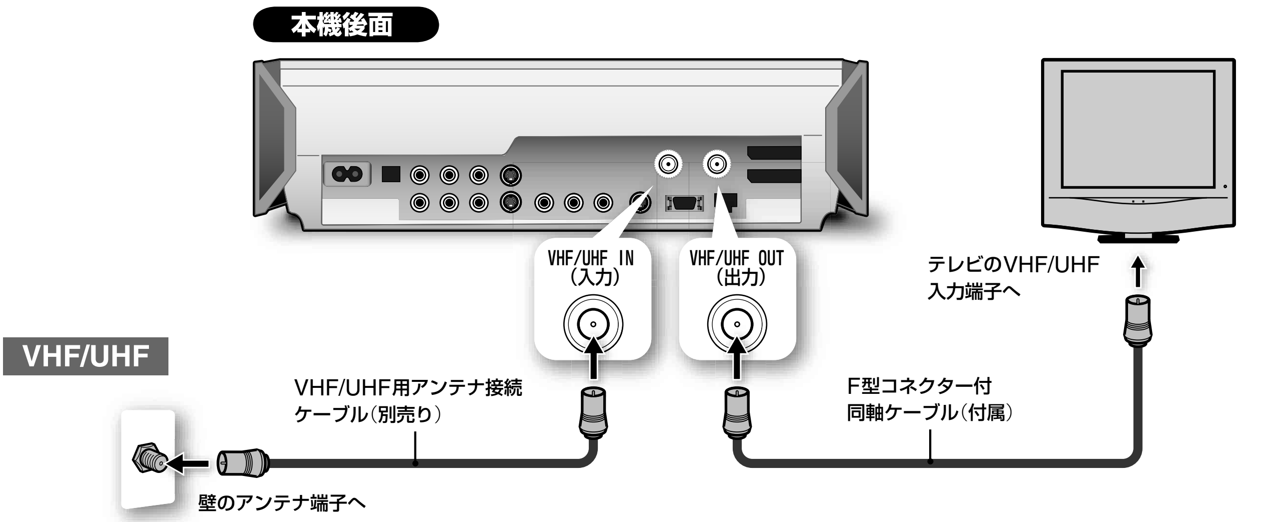
VHF/UHFとBSアンテナが別々のときは



DESR-5700モデルの場合の接続方法

本書記載の別売りアクセサリーは、2005年3月現在のものです。万一、品切れや生産完了の際はご容赦ください。

VHF/UHFのときは



テレビの映りが悪いときは

本機で受信したテレビ番組が映らない場合や、画面に乱れが生じるときは、市販のアンテナブースターを使ってVHF/UHF端子にアンテナを接続してください。

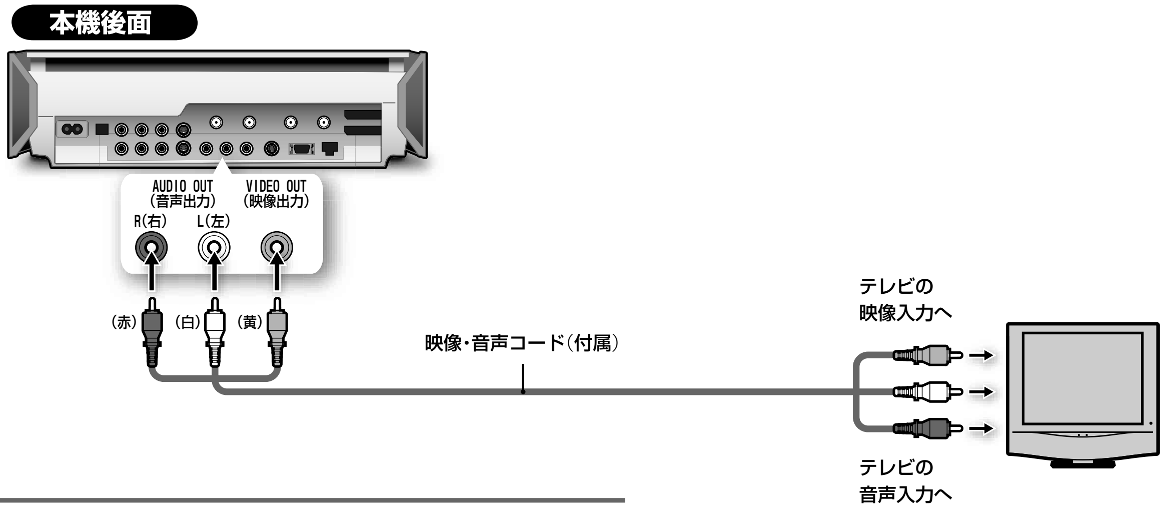
⚠警告

BS IF入力端子には専用の同軸ケーブルをつながないでください

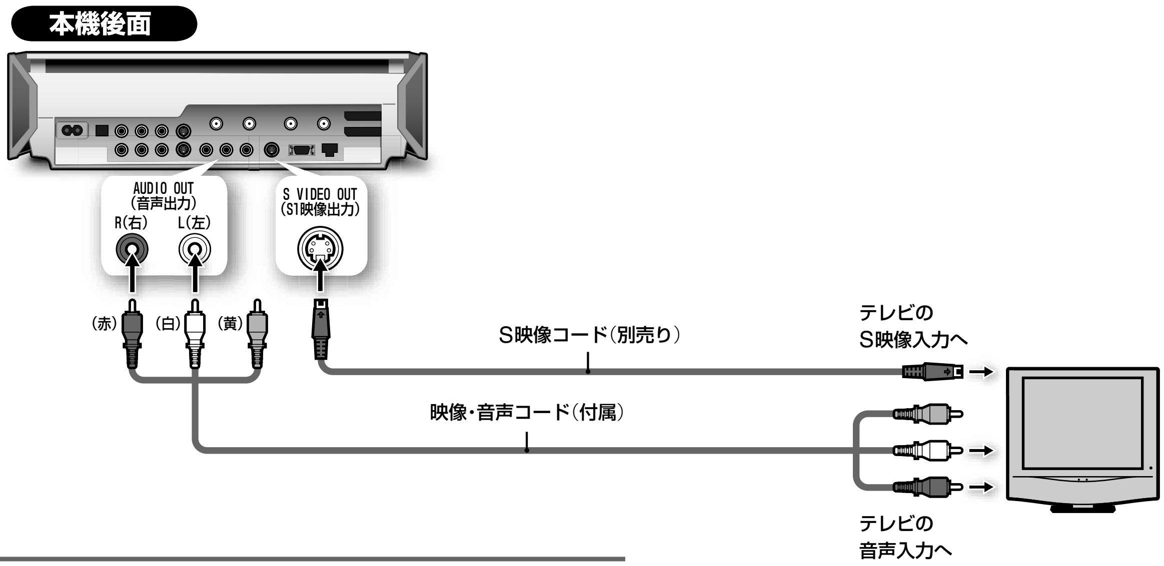
サテライト(BS)用同軸ケーブル以外のケーブルをBS-IF入力端子に絶対につながないでください。BS-IF入力端子からはBSコンバーター用の電源が供給されているため、専用のケーブルをつながないとショートして火災などの事故の原因となることがあります。

準備3　映像と音声のケーブルを接続する

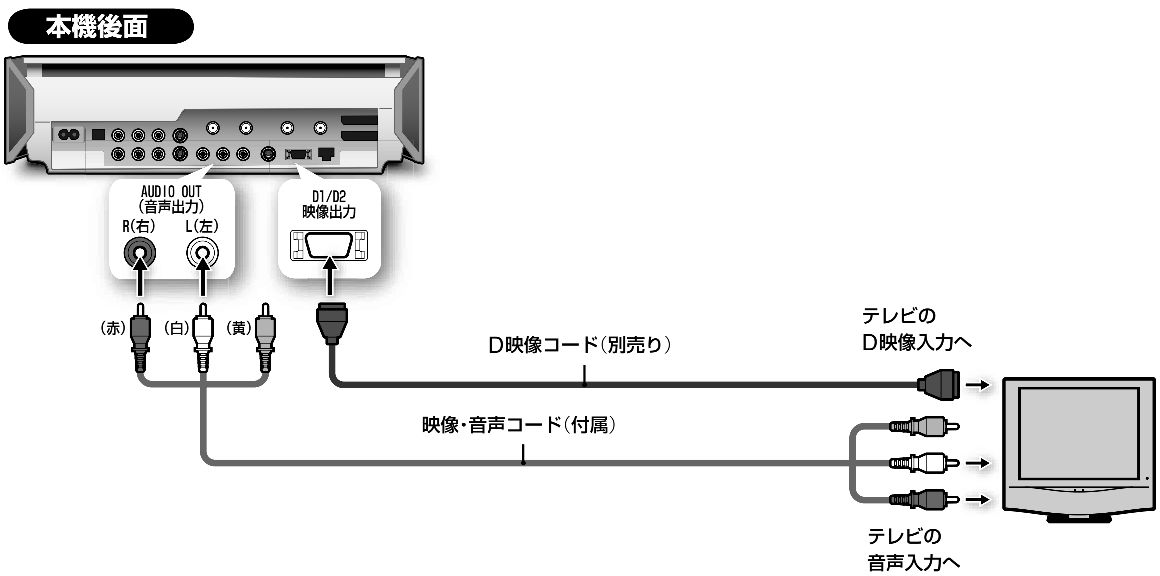
映像ケーブルを使って接続する



S映像ケーブルを使って接続する



D映像ケーブルを使って接続する

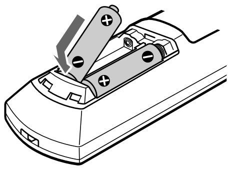


準備4　リモコンを準備する

ご注意はP31へ

リモコンに電池を入れる

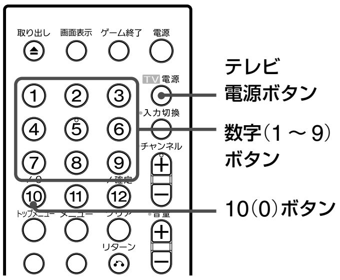
リモコン裏面のふたを開け、付属の電池を入れてください。
下図のように必ず⊖極側から電池を入れてください。



各社のテレビを操作できるように設定する

本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、電源を操作できます。お買い上げ時はソニーのテレビを操作できるように設定されています。

テレビ電源ボタンを押しながら、操作したいテレビのメーカー登録番号の数字ボタンを一つずつ押し、最後に電源ボタンを離す。



テレビの操作ができるボタン
テレビ電源ボタン
入力切換ボタン
チャンネル＋/－ボタン
音量＋/－ボタン

＊ 数字ボタンは、テレビの選局に使えません。

入力例

東芝　：テレビ電源ボタンを押しながら ⑩ → ③ 、電源ボタンを離す。

パイオニア：テレビ電源ボタンを押しながら ① → ⑩ 、電源ボタンを離す。

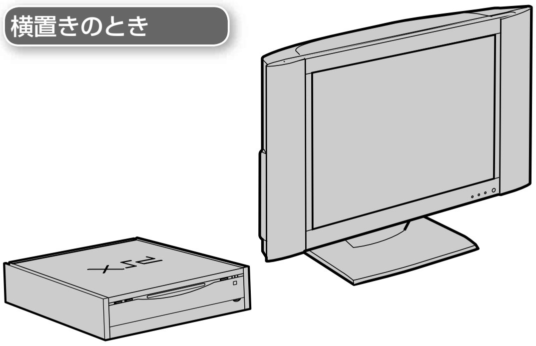
テレビのメーカー	登録番号
ソニー ＊1	01（お買い上げ時の設定）、12
松下電器産業＊1	02、13
東芝	03
日立製作所	04
三菱電機	05
日本ビクター	06
三洋電機＊1	07、15
シャープ＊1	08、16
NEC	09
パイオニア	10
富士通ゼネラル	11
フナイ	14
アイワ＊1	01、17
三星（SAMSUNG）＊1	18、19

＊1 メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できる番号を選んでください。

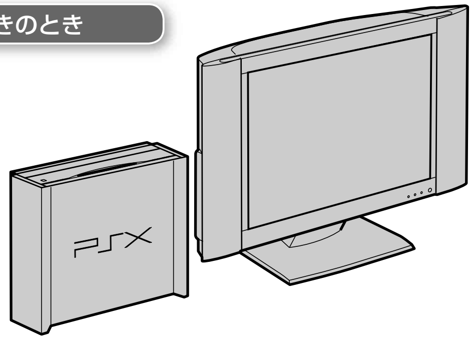
準備5　設置する

本機を設置するときは、下図の方法で平らな場所に設置してください。

横置きのとき



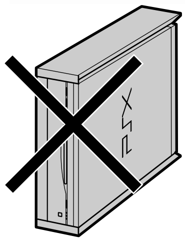
縦置きのとき



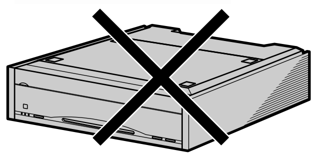
禁止されている設置方法について

本機を設置するときは、正しい設置方法以外の向きで設置しないでください。
誤った方法で設置すると、ディスクが読めなかったり、故障の原因になったりします。

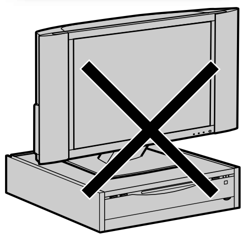
側面を下にして設置



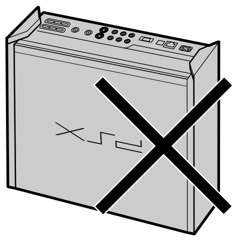
天面を下にして設置



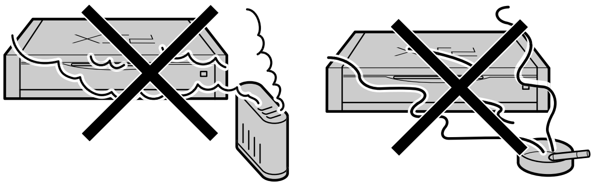
本機の上にテレビなどをのせて設置



前面を下にして設置



ほこりやタバコの煙が多い場所や加湿器の近くに本機を設置しないでください



ほこりやタバコのヤニ、加湿器の湯気などが、本機内部の部品(レンズなど)に付着すると、故障の原因となります。

本機の電源ランプが点灯・点滅しているときや、HDD ACCESSランプが点滅しているときに振動や衝撃を与えないでください

ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、誤った方法で使用すると、記録したデータが失われたり、故障の原因となります。
次の点に特に注意して使用してください。

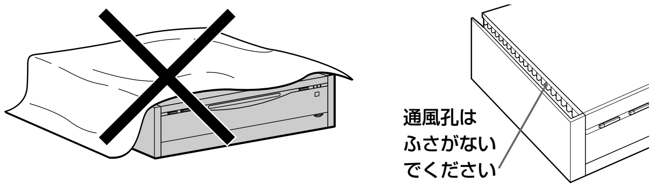
- 電源コードを差したまま本機を移動させたり、設置方向を変えない。電源ランプが赤く点灯しているときでも、電源コードをつないでいると、ハードディスクが動作する場合があります。
- 電源コードを抜き差ししたときや、電源を入り切りしたときはすぐに動かしたり、移動させたりしない。ハードディスク保護のため、電源を切ってから20秒程度お待ちください。
- 振動や衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 録画中や再生中には電源コードを抜かない。
- 専用アナログコントローラなどのケーブルを強く引っ張らない。縦置きしているとき、本機が倒れるおそれがあります。保護者の方は、お子様へのご注意をお願いします。

次のような場所には設置しないでください

- 直射日光が当たる場所や、湿度の高い場所(本機内部の温度が異常に高くなると、本機の電源が自動的に切断されます。)
- 極端に寒い場所
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い場所(チューナーやテレビ、ビデオデッキと一緒に使用するとき、近くに置くと雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)
- じゅうたんなどの上
- 水がかかる場所
- ほこりの多い場所
- 不安定な場所
- 風通しの悪い扉付のラックの中
- 本機の排熱がこもってしまう場所

また、故障の原因となりますので、次のようなことはしないでください

- 花瓶など水の入った容器を本機の上にのせる
- やかんなど高温の物をのせる
- 本機を傾けて設置する
- 本機の上に布などをかけて通風孔をふさぐ



本機の通風孔は本体の両側面にあります

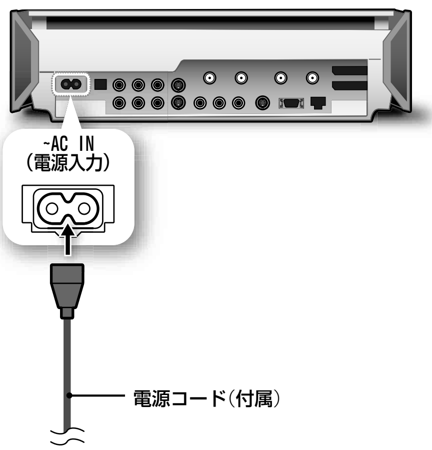
設置場所を変えるときは

ディスクを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクをいためることがあります。

準備6　電源コードを接続する

電源コードは必ず、すべての接続が終わってから下記手順に従って接続してください。
電源コードの接続手順を誤ると、本機が故障することがあります。

Step1

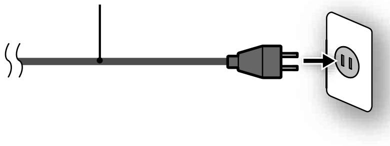


本機のAC IN端子に電源コードを接続する。

Step2

本機を正しい設置方法で設置する。
正しい設置方法については、「準備5　設置する」(13ページ)をご覧ください

Step3

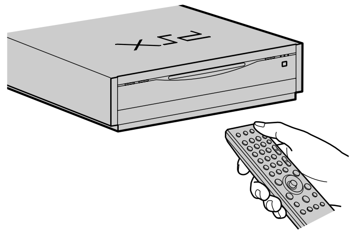


コンセントに電源コードを差し込む。

コンセントに電源コードをつないだ直後は、本機を絶対に動かさないでください。

電源コードをつなぐと、本機の冷却ファンとハードディスクが動作します。
HDD ACCESSランプが消えるまで待ってから電源を入れてください。

リモコンの電源ボタンで電源が入るか確認する



リモコンの電源ボタンを押し、本機の電源を入れる。
“PSX”のロゴが画面上に表示され、しばらくするとかんたん設定の画面が表示されます。
「準備7　かんたん設定をする」(16ページ)をご覧ください。

リモコンの電源ボタンで電源が入らないときは

リモコンのリモコンモードスイッチが“1”に設定されているか確認してください。
本機のリモコンモード(136ページ)とリモコンのリモコンモードスイッチの数字が異なっていると、リモコンで本機を操作することができません。
本機のリモコンモードはお買い上げ時に“1”に設定されていますので、リモコンのリモコンモードスイッチも“1”に合わせる必要があります。

1つのリモコンで複数の“PSX”を操作したいときは、本体とリモコンのリモコンモードを他の“PSX”と異なる番号に設定してください。
設定方法について詳しくは、「リモコンモードを変更する」(136ページ)をご覧ください。

リモコンが効きづらかったり、誤作動するときは

以下の点を確認してください。

- リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たると、リモコンの操作が効かなくなることがあります。リモコンが効きづらいときは、光が当たらないように設置場所を変えて、リモコンで操作できるか確認してください。
- “ PSX”専用アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)が接続されているときは、アナログコントローラのボタンが押されていないか、確認してください。
- 一時的に“ PSX”専用アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)をはずし、再度リモコンで操作できるか確認してください。

それでも効かないときは、「受光部の設定」(136ページ)で、横置きのときは「前面」に、縦置きのときは「天面」に受光部を切り換えてください。

準備

準備7　かんたん設定をする

「準備6　電源コードを接続する」(15ページ)で電源コードをつなぎ、初めて電源を入れると、かんたん設定が表示されます。「かんたん設定」で本機を使うための基本的な設定をすることができます。

Step1

電源を入れる。
簡単設定画面が表示されます。

Step2

(決定) を押す。
DESR-7700をお使いのかたは、(決定) を押すとBSアンテナ電源の設定画面が表示されます。Step3に進んでください。
DESR-5700をお使いのかたは、(決定) を押すと時刻設定画面が表示されます。Step4に進んでください。

Step3

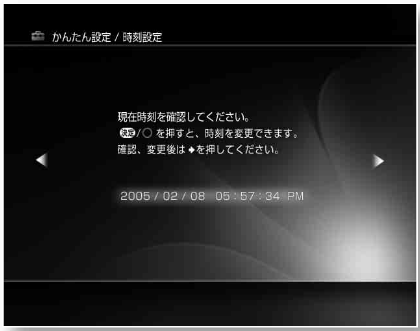
⬆⬇で設定を選び (決定) を押す。

入
BSアンテナに常に電源を供給します。

切
BSアンテナに電源を供給しません。マンションなどの共聴システムのBSアンテナを使用しているときは「切」を選択してください。

(決定) を押すと、時刻設定画面が表示されます。

Step4



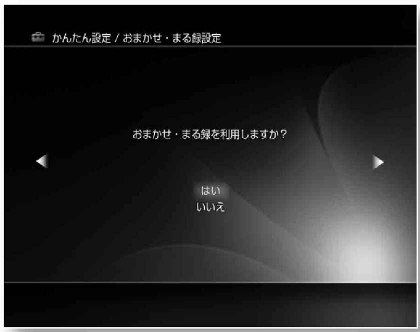
時刻が正しいことを確認し、➡を押す。
西暦や午前/午後も含めて、正しい現在時刻に設定されていることを確認してください。
時刻が正しく設定されていないと、番組表などが正しく動作しないことがあります。

➡を押すと、自動録画(x-おまかせ･まる録)の設定画面が表示されます。

時刻が正しくないときは

1 **時刻設定画面が表示されているときに (決定) を押す。**
2 **⬅➡で設定したい項目を選び、⬆⬇で正しい時刻を設定し (決定) を押す。**
3 **➡を押す。**

Step5



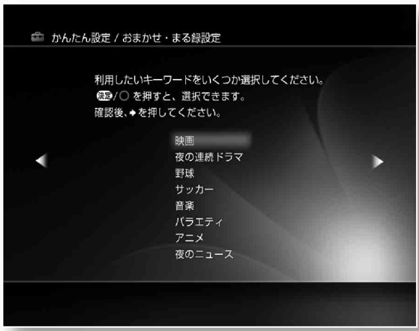
⬆⬇で自動録画の設定(x-おまかせ･まる録の設定)を選び (決定) を押す。
おまかせ･まる録を利用するときは、「はい」を選び、Step6に進んでください。

はい
x-おまかせ･まる録の機能を利用します。

いいえ
x-おまかせ･まる録の機能を利用しません。

「はい」を選ぶと、自動録画で録画する番組のキーワードを設定する画面が表示されます。
「いいえ」を選んだときはStep7に進んでください。
かんたん設定終了後に設定を追加変更することもできます。

Step6



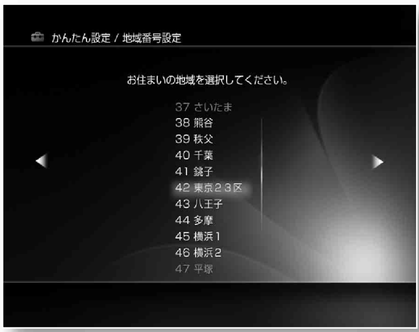
⬆⬇で自動録画(x-おまかせ･まる録)用のキーワードを選び (決定) を押す。

自動録画はあらかじめ設定されたキーワードをもとに行われます。例えばキーワード欄に「夜のニュース」という言葉を設定すると、夜のニュース番組を中心に本機が自動で録画します。

自動録画用キーワードは複数選ぶことができます。

➡を押すと、地域番号設定画面が表示されます。

Step7

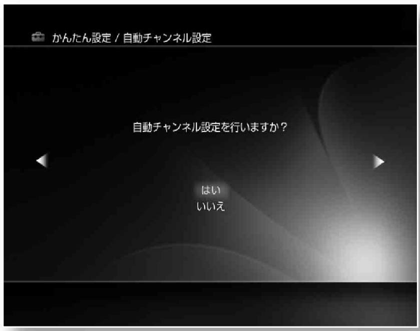


⬆⬇で地域を選び (決定) を押す。

本機の番組表などに表示される放送局の組み合わせは、地域番号によって異なります。「地域番号一覧」(19ページ)から、お住まいの地域で受信できる放送局の組み合わせにもっとも近いものを選んでください。

(決定) を押すと、自動チャンネル設定の画面が表示されます。

Step8



⬆⬇で「はい」を選び (決定) を押す。

自動チャンネル設定をすると、番組表の番組情報を取得するための時刻やチャンネルも自動的に設定されます。

はい

受信するチャンネルを自動的に設定します。自動設定が終了するまで、しばらく時間がかかります。

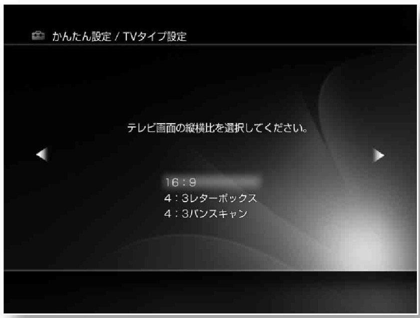
いいえ

自動チャンネル設定を行いません。

お買い上げ時や、初めて地域番号を設定したとき、本機を使用する地域を変更したときは、必ず「はい」を選び自動チャンネル設定を行ってください。

(決定) を押すと、TVタイプ設定画面が表示されます。

Step9



⬆⬇でテレビの横縦比を選び (決定) を押す。

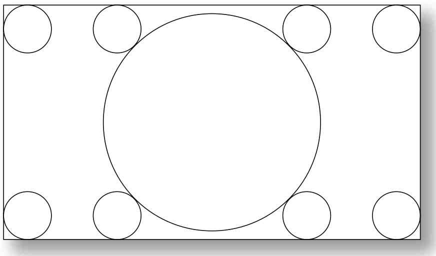
お使いのテレビの横縦比にあった映像を表示するように設定することができます。

16:9

テレビ画面の横縦比が16:9のテレビのときに選択してください。

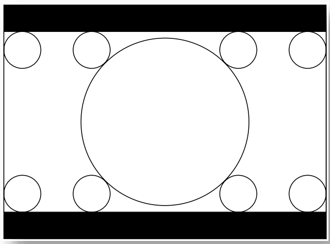
4:3レターボックス

テレビの画面の横縦比が4:3で、16:9の映像をオリジナルの比率のまま見たいときに選択します。



オリジナル映像(16:9)の映像

⬇

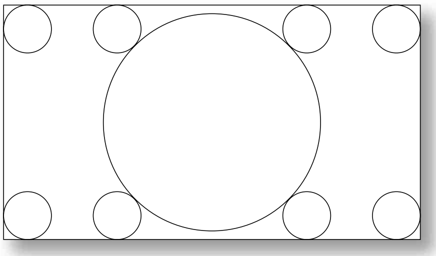


4:3レターボックス設定時

上下に黒い帯が表示され、オリジナル映像の横縦比を維持したまま表示されます。

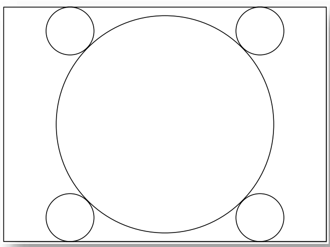
4:3パンスキャン

テレビの画面の横縦比が4:3で、16:9の映像を4:3の画面比率に合わせて見たいときに選択します。



オリジナル映像(16:9)の映像

⬇



4:3パンスキャン設定時

オリジナルの映像を4:3の画面にあわせて表示します。

決定 を押すと、ドルビーデジタルの設定画面が表示されます。

Step 10

⬆⬇でドルビーデジタル*の設定を選び 決定 を押す。

入

ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しているオーディオ機器を光デジタルケーブル(別売り)で接続するときに選びます。

ドルビーデジタルデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器と接続しているときに、ドルビーデジタルの設定を「入」にすると、音声が出なくなることがありますのでご注意ください。

切

ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続するときに選びます。

* ドルビーラボラトリーからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

決定 を押すと、DTSの設定画面が表示されます。

Step 11

↑↓でDTSの設定を選び （決定） を押す。**

入

DTSデコーダーを内蔵しているオーディオ機器を光デジタルケーブル(別売り)で接続するときに選びます。

DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器と接続しているときに、DTSの設定を「入」にすると、音声が出なくなることがありますのでご注意ください。

切

DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続するときに選びます。

DTSの設定を「入」に設定したときは、DVDメニューの音声切換でDTSを選択してください。

**DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

（決定） を押すと、「かんたん設定」は終了です。本機の機能を使うことができます。

ただし、番組表はお買い上げ時に番組表を使うための番組情報が入っていないため、すぐに利用することができません。「番組表を使うための準備をする」(22ページ)で番組表が正しく受信できているか確認してください。

お買い上げ時の設定

項目	お買い上げ時の設定
BSアンテナ電源 (DESR-7700のみ)	切
おまかせ・まる録	する
地域番号設定	42東京23区
TVタイプ	16:9
ドルビーデジタル	切
DTS	切

地域番号一覧

現在お住まいの地域

札幌 (江別)

001

地域番号

「準備7 かんたん設定をする」のStep7(17ページ)で選択する番号

例: 本機を3チャンネルにすると、NHK総合(識別番号80)が映る

3 (NHK総合)

放送局名

表示チャンネル

画面に表示されるチャンネルです。手動チャンネル設定の画面の行の番号が表示チャンネルになります(23ページ)。

都道府県	地域番号	地域名を選んだときに、設定される表示チャンネル放送局名		
北海道	札幌 (江別) 001	3 (NHK総合) 5 (札幌テレビ) 17 (テレビ北海道)	12 (NHK教育) 35 (北海道テレビ)	1 (北海道放送)● 27 (北海道文化放送)
	小樽 002	11 (NHK総合) 7 (札幌テレビ) 24 (テレビ北海道)	2 (NHK教育) 4 (北海道テレビ)	9 (北海道放送)● 26 (北海道文化放送)
	旭川 003	9 (NHK総合) 7 (札幌テレビ) 33 (テレビ北海道)	2 (NHK教育) 39 (北海道テレビ)	11 (北海道放送)● 37 (北海道文化放送)
	名寄 004	4 (NHK総合) 6 (札幌テレビ) 33 (テレビ北海道)	12 (NHK教育) 24 (北海道テレビ)	10 (北海道放送)● 26 (北海道文化放送)
	稚内 005	28 (NHK総合) 22 (札幌テレビ) 33 (テレビ北海道)	30 (NHK教育) 24 (北海道テレビ)	10 (北海道放送)● 26 (北海道文化放送)
	室蘭 006	9 (NHK総合) 7 (札幌テレビ) 29 (テレビ北海道)	2 (NHK教育) 39 (北海道テレビ)	11 (北海道放送)● 37 (北海道文化放送)
	苫小牧 007	51 (NHK総合) 57 (札幌テレビ) 47 (テレビ北海道)	49 (NHK教育) 61 (北海道テレビ)	55 (北海道放送)● 53 (北海道文化放送)
	函館 008	4 (NHK総合) 12 (札幌テレビ) 21 (テレビ北海道)	10 (NHK教育) 35 (北海道テレビ)	6 (北海道放送)● 27 (北海道文化放送)
	帯広 009	4 (NHK総合) 10 (札幌テレビ)	12 (NHK教育) 34 (北海道テレビ)	6 (北海道放送)● 32 (北海道文化放送)
	釧路 010	9 (NHK総合) 7 (札幌テレビ) 29 (テレビ北海道)	2 (NHK教育) 39 (北海道テレビ)	11 (北海道放送)● 41 (北海道文化放送)
	網走 011	3 (NHK総合) 5 (札幌テレビ)	12 (NHK教育) 35 (北海道テレビ)	1 (北海道放送)● 27 (北海道文化放送)
	北見 012	9 (NHK総合) 7 (札幌テレビ)	2 (NHK教育) 61 (北海道テレビ)	53 (北海道放送)● 59 (北海道文化放送)
青森	青森 (弘前) 013	3 (NHK総合) 38 (青森テレビ)●	5 (NHK教育) 34 (青森朝日放送)	1 (青森放送)
	八戸 014	9 (NHK総合) 33 (青森テレビ)●	7 (NHK教育) 31 (青森朝日放送)	11 (青森放送)
	むつ 015	4 (NHK総合) 58 (青森テレビ)●	12 (NHK教育) 56 (青森朝日放送)	10 (青森放送)
岩手	盛岡 016	4 (NHK総合) 35 (テレビ岩手)	8 (NHK教育) 33 (岩手めんこいテレビ)	6 (岩手放送)● 31 (岩手朝日テレビ)
	釜石 017	2 (NHK総合) 58 (テレビ岩手)	12 (NHK教育) 60 (岩手めんこいテレビ)	10 (岩手放送)● 62 (岩手朝日テレビ)
	二戸 018	5 (NHK総合) 37 (テレビ岩手)	12 (NHK教育) 29 (岩手めんこいテレビ)	2 (岩手放送)● 27 (岩手朝日テレビ)
宮城	仙台 019	3 (NHK総合) 12 (仙台放送)	5 (NHK教育) 34 (宮城テレビ)	1 (東北放送)● 32 (東日本放送)
	石巻 020	51 (NHK総合) 57 (仙台放送)	49 (NHK教育) 55 (宮城テレビ)	59 (東北放送)● 61 (東日本放送)
	気仙沼 021	2 (NHK総合) 6 (仙台放送)	10 (NHK教育) 37 (宮城テレビ)	4 (東北放送)● 43 (東日本放送)
秋田	秋田 022	9 (NHK総合) 37 (秋田テレビ)●	2 (NHK教育) 31 (秋田朝日放送)	11 (秋田放送)
	大館 023	4 (NHK総合) 57 (秋田テレビ)●	8 (NHK教育) 59 (秋田朝日放送)	6 (秋田放送)
	大曲 024	45 (NHK総合) 51 (秋田テレビ)●	43 (NHK教育) 41 (秋田朝日放送)	47 (秋田放送)

都道府県	地域番号	地域名を選んだときに、設定される表示チャンネル放送局名		
山形	山形 025	8（NHK総合） 38（山形テレビ）	4（NHK教育） 36（テレビユー山形）●	10（山形放送） 30（さくらんぼテレビ）
	鶴岡 （酒田） 026	3（NHK総合） 39（山形テレビ）	6（NHK教育） 22（テレビユー山形）●	1（山形放送） 24（さくらんぼテレビ）
	米沢 027	52（NHK総合） 58（山形テレビ）	50（NHK教育） 56（テレビユー山形）●	54（山形放送） 60（さくらんぼテレビ）
福島	福島 （郡山） 028	9（NHK総合） 33（福島中央テレビ）	2（NHK教育） 35（福島放送）	11（福島テレビ） 31（テレビユー福島）●
	いわき 029	4（NHK総合） 58（福島中央テレビ）	10（NHK教育） 60（福島放送）	8（福島テレビ） 62（テレビユー福島）●
	会津若松 030	1（NHK総合） 37（福島中央テレビ）	3（NHK教育） 41（福島放送）	6（福島テレビ） 47（テレビユー福島）●
茨城	水戸 031	44（NHK総合） 40（TBSテレビ）● 32（テレビ東京）	46（NHK教育） 38（フジテレビ） 39（千葉テレビ）	42（日本テレビ） 36（テレビ朝日） 14（東京メトロポリタン）
	日立 032	52（NHK総合） 56（TBSテレビ）● 62（テレビ東京）	50（NHK教育） 58（フジテレビ） 39（千葉テレビ）	54（日本テレビ） 60（テレビ朝日） 14（東京メトロポリタン）
栃木	宇都宮 033	29（NHK総合） 23（TBSテレビ）● 17（テレビ東京）	27（NHK教育） 21（フジテレビ） 31（とちぎテレビ）	25（日本テレビ） 19（テレビ朝日） 14（東京メトロポリタン）
	矢板 034	51（NHK総合） 55（TBSテレビ）● 61（テレビ東京）	49（NHK教育） 57（フジテレビ） 31（とちぎテレビ）	53（日本テレビ） 59（テレビ朝日） 14（東京メトロポリタン）
群馬	前橋 （伊勢崎・ 高崎） 035	52（NHK総合） 56（TBSテレビ）● 62（テレビ東京） 48（群馬テレビ）	50（NHK教育） 58（フジテレビ） 14（東京メトロポリタン）	54（日本テレビ） 60（テレビ朝日） 38（テレビ埼玉）
	桐生 036	43（NHK総合） 37（TBSテレビ）● 41（群馬テレビ） 38（テレビ埼玉）	45（NHK教育） 35（フジテレビ） 31（テレビ東京）	39（日本テレビ） 33（テレビ朝日） 14（東京メトロポリタン）
埼玉	さいたま 037	1（NHK総合） 6（TBSテレビ）● 12（テレビ東京）	3（NHK教育） 8（フジテレビ） 38（テレビ埼玉）	4（日本テレビ） 10（テレビ朝日） 14（東京メトロポリタン）
	熊谷 038	33（NHK総合） 23（TBSテレビ）● 17（テレビ東京）	35（NHK教育） 21（フジテレビ） 28（テレビ埼玉）	25（日本テレビ） 19（テレビ朝日）
	秩父 039	51（NHK総合） 55（TBSテレビ）● 61（テレビ東京）	49（NHK教育） 57（フジテレビ） 47（テレビ埼玉）	53（日本テレビ） 59（テレビ朝日）
千葉	千葉 040	1（NHK総合） 6（TBSテレビ）● 12（テレビ東京） 14（東京メトロポリタン）	3（NHK教育） 8（フジテレビ） 46（千葉テレビ）	4（日本テレビ） 10（テレビ朝日） 42（tvk）
	銚子 041	51（NHK総合） 55（TBSテレビ）● 61（テレビ東京）	49（NHK教育） 57（フジテレビ） 39（千葉テレビ）	53（日本テレビ） 59（テレビ朝日） 42（tvk）
東京	23区 042	1（NHK総合） 6（TBSテレビ）● 12（テレビ東京） 38（テレビ埼玉）	3（NHK教育） 8（フジテレビ） 46（千葉テレビ） 14（東京メトロポリタン）	4（日本テレビ） 10（テレビ朝日） 42（tvk）
	八王子 043	51（NHK総合） 55（TBSテレビ）● 61（テレビ東京） 38（テレビ埼玉）	49（NHK教育） 57（フジテレビ） 46（千葉テレビ） 14（東京メトロポリタン）	53（日本テレビ） 59（テレビ朝日） 42（tvk）
	多摩 044	30（NHK総合） 24（TBSテレビ）● 18（テレビ東京） 38（テレビ埼玉）	32（NHK教育） 22（フジテレビ） 46（千葉テレビ） 28（東京メトロポリタン）	26（日本テレビ） 20（テレビ朝日） 42（tvk）
神奈川	横浜1* 045	52（NHK総合） 56（TBSテレビ）● 62（テレビ東京）	50（NHK教育） 58（フジテレビ） 48（tvk）	54（日本テレビ） 60（テレビ朝日） 14（東京メトロポリタン）
	横浜2* 046	1（NHK総合） 6（TBSテレビ）● 12（テレビ東京）	3（NHK教育） 8（フジテレビ） 42（tvk）	4（日本テレビ） 10（テレビ朝日） 14（東京メトロポリタン）
	平塚 （茅ヶ崎） 047	33（NHK総合） 37（TBSテレビ）● 43（テレビ東京）	29（NHK教育） 39（フジテレビ） 31（tvk）	35（日本テレビ） 41（テレビ朝日） 14（東京メトロポリタン）
	秦野 048	47（NHK総合） 53（TBSテレビ）● 59（テレビ東京）	49（NHK教育） 55（フジテレビ） 61（tvk）	51（日本テレビ） 57（テレビ朝日） 14（東京メトロポリタン）
	小田原 049	52（NHK総合） 56（TBSテレビ）● 62（テレビ東京）	50（NHK教育） 58（フジテレビ） 46（tvk）	54（日本テレビ） 60（テレビ朝日） 14（東京メトロポリタン）
山梨	甲府 050	1（NHK総合） 37（テレビ山梨）●	3（NHK教育）	5（山梨放送）
長野	長野1** 051	44（NHK総合） 42（長野放送）	46（NHK教育） 40（テレビ信州）	48（信越放送）● 50（長野朝日放送）
	長野2** 052	2（NHK総合） 38（長野放送）	9（NHK教育） 30（テレビ信州）	11（信越放送）● 20（長野朝日放送）
	松本 053	44（NHK総合） 40（信越放送）●	46（NHK教育） 42（長野放送）	48（テレビ信州） 50（長野朝日放送）
	飯田 054	4（NHK総合） 40（長野放送）	3（NHK教育） 42（テレビ信州）	6（信越放送）● 44（長野朝日放送）
	岡谷・ 諏訪 055	4（NHK総合） 6（信越放送）●	8（NHK教育） 47（長野放送）	59（テレビ信州） 61（長野朝日放送）
新潟	新潟 （長岡） 056	8（NHK総合） 35（新潟総合テレビ）	12（NHK教育） 29（テレビ新潟）	5（新潟放送）● 21（新潟テレビ21）
	上越 057	3（NHK総合） 33（新潟総合テレビ）	1（NHK教育） 27（テレビ新潟）	10（新潟放送）● 37（新潟テレビ21）
富山	富山 058	3（NHK総合） 34（富山テレビ）	10（NHK教育） 32（チューリップテレビ）●	1（北日本放送）
	高岡 059	48（NHK総合） 44（富山テレビ）	46（NHK教育） 42（チューリップテレビ）●	50（北日本放送）
石川	金沢 （小松） 060	4（NHK総合） 37（石川テレビ）	8（NHK教育） 33（テレビ金沢）	6（北陸放送）● 25（北陸朝日放送）
	七尾 061	9（NHK総合） 55（石川テレビ）	5（NHK教育） 57（テレビ金沢）	11（北陸放送）● 59（北陸朝日放送）
福井	福井 062	9（NHK総合） 39（福井テレビ）●	3（NHK教育）	11（福井放送）
	敦賀 063	6（NHK総合） 38（福井テレビ）●	12（NHK教育）	8（福井放送）
岐阜	岐阜 （大垣） 064	39（NHK総合） 1（東海テレビ） 37（岐阜放送）	9（NHK教育） 11（名古屋テレビ） 25（テレビ愛知）	5（中部日本放送）● 35（中京テレビ） 33（三重テレビ）
	高山 065	4（NHK総合） 8（東海テレビ） 38（岐阜放送）	2（NHK教育） 12（名古屋テレビ） 25（テレビ愛知）	6（中部日本放送）● 26（中京テレビ） 33（三重テレビ）
	中津川 066	4（NHK総合） 10（東海テレビ） 28（岐阜放送）	12（NHK教育） 6（名古屋テレビ） 25（テレビ愛知）	8（中部日本放送）● 26（中京テレビ） 33（三重テレビ）
静岡	静岡 （清水・ 焼津） 067	9（NHK総合） 35（テレビ静岡）	2（NHK教育） 33（静岡朝日テレビ）	11（静岡放送）● 31（静岡第一テレビ）
	浜松 068	4（NHK総合） 34（テレビ静岡）	8（NHK教育） 28（静岡朝日テレビ）	6（静岡放送）● 30（静岡第一テレビ）
	富士 （富士宮） 069	52（NHK総合） 39（テレビ静岡）	54（NHK教育） 29（静岡朝日テレビ）	41（静岡放送）● 27（静岡第一テレビ）
	三島・沼津 070	53（NHK総合） 59（テレビ静岡）	51（NHK教育） 57（静岡朝日テレビ）	55（静岡放送）● 61（静岡第一テレビ）
	島田 071	1（NHK総合） 58（テレビ静岡）	3（NHK教育） 50（静岡朝日テレビ）	5（静岡放送）● 48（静岡第一テレビ）
	藤枝 072	42（NHK総合） 38（テレビ静岡）	44（NHK教育） 26（静岡朝日テレビ）	40（静岡放送）● 24（静岡第一テレビ）
愛知	名古屋 073	3（NHK総合） 1（東海テレビ） 25（テレビ愛知）	9（NHK教育） 11（名古屋テレビ） 33（三重テレビ）	5（中部日本放送）● 35（中京テレビ） 37（岐阜放送）
	豊橋 （豊川） 074	54（NHK総合） 56（東海テレビ） 52（テレビ愛知）	50（NHK教育） 60（名古屋テレビ） 33（三重テレビ）	62（中部日本放送）● 58（中京テレビ） 37（岐阜放送）
	豊田 075	53（NHK総合） 57（東海テレビ） 49（テレビ愛知）	51（NHK教育） 61（名古屋テレビ） 33（三重テレビ）	55（中部日本放送）● 59（中京テレビ） 37（岐阜放送）
三重	津 076	31（NHK総合） 1（東海テレビ） 33（三重テレビ）	9（NHK教育） 11（名古屋テレビ） 25（テレビ愛知）	5（中部日本放送）● 35（中京テレビ）
	伊勢 077	53（NHK総合） 57（東海テレビ） 59（三重テレビ）	49（NHK教育） 61（名古屋テレビ） 25（テレビ愛知）	55（中部日本放送）● 47（中京テレビ）
	名張 078	52（NHK総合） 62（東海テレビ） 58（三重テレビ）	50（NHK教育） 56（名古屋テレビ） 25（テレビ愛知）	60（中部日本放送）● 54（中京テレビ）
滋賀	大津 079	28（NHK総合） 38（朝日放送） 30（びわ湖放送）	46（NHK教育） 40（関西 34（京都テレビ）	36（毎日放送）● 42（読売テレビ）
	彦根 080	52（NHK総合） 58（朝日放送） 56（びわ湖放送）	50（NHK教育） 60（関西テレビ） 34（京都テレビ）	54（毎日放送）● 62（読売テレビ）

* NHK総合を52チャンネルでご覧の方は「横浜1」を、それ以外の方は「横浜2」を選んでください。どちらかわからない方は「横浜2」を選び、受信状態を確認してください。正しく受信できないときは、「横浜1」を選び直してください。

**NHK総合を44チャンネルでご覧の方は「長野1」を、それ以外の方は「長野2」を選んでください。どちらかわからない方は「長野2」を選び、受信状態を確認してください。正しく受信できないときは、「長野1」を選び直してください。

都道府県	地域番号	地域名を選んだときに、設定される表示チャンネル放送局名		
京都	京都 （宇治） 081	2（NHK総合） 6（朝日放送） 34（京都テレビ）	12（NHK教育） 8（関西テレビ） 19（テレビ大阪）	4（毎日放送）● 10（読売テレビ） 36（サンテレビ）
	舞鶴 082	51（NHK総合） 55（朝日放送） 57（京都テレビ）	49（NHK教育） 59（関西テレビ） 19（テレビ大阪）	53（毎日放送）● 61（読売テレビ） 36（サンテレビ）
	福知山 083	50（NHK総合） 58（朝日放送） 56（京都テレビ）	52（NHK教育） 60（関西テレビ） 19（テレビ大阪）	54（毎日放送）● 62（読売テレビ） 36(サンテレビ)
大阪	大阪 084	2（NHK総合） 6（朝日放送） 19（テレビ大阪）	12（NHK教育） 8（関西テレビ） 34（京都テレビ）	4（毎日放送）● 10（読売テレビ） 36（サンテレビ）
兵庫	神戸 085	28（NHK総合） 20（朝日放送） 36（サンテレビ）	26（NHK教育） 22（関西テレビ） 19（テレビ大阪）	18（毎日放送）● 24（読売テレビ）
	神戸灘 086	52（NHK総合） 56（朝日放送） 62（サンテレビ）	50（NHK教育） 58（関西テレビ） 19（テレビ大阪）	54（毎日放送）● 60（読売テレビ）
	川西 087	29（NHK総合） 37（朝日放送） 33（サンテレビ）	31（NHK教育） 39（関西テレビ） 19（テレビ大阪）	35（毎日放送）● 41（読売テレビ）
	三木 088	44（NHK総合） 38（朝日放送） 36（サンテレビ）	46（NHK教育） 40（関西テレビ） 19（テレビ大阪）	34（毎日放送）● 42（読売テレビ）
	姫路 089	50（NHK総合） 58（朝日放送） 56（サンテレビ）	52（NHK教育） 60（関西テレビ） 19（テレビ大阪）	54（毎日放送）● 62（読売テレビ）
	明石 （加古川） 090	51（NHK総合） 57（朝日放送） 55（サンテレビ）	49（NHK教育） 59（関西テレビ） 19（テレビ大阪）	53（毎日放送）● 61（読売テレビ）
奈良	奈良 091	51（NHK総合） 6（朝日放送） 55（奈良テレビ） 19（テレビ大阪）	12（NHK教育） 8（関西テレビ） 36（サンテレビ）	4（毎日放送）● 10（読売テレビ） 34（京都テレビ）
	五條 092	43（NHK総合） 35（朝日放送） 41（奈良テレビ） 19（テレビ大阪）	45（NHK教育） 37（関西テレビ） 36（サンテレビ）	33（毎日放送）● 39（読売テレビ） 34（京都テレビ）
和歌山	和歌山 093	32（NHK総合） 44（朝日放送） 30（テレビ和歌山）	26（NHK教育） 46（関西テレビ）	42（毎日放送）● 48（読売テレビ）
	海南・ 田辺 094	50（NHK総合） 58（朝日放送） 56（テレビ和歌山）	52（NHK教育） 60（関西テレビ）	54（毎日放送）● 62（読売テレビ）
鳥取	鳥取 095	3（NHK総合） 22（山陰放送）●	4（NHK教育） 24（山陰中央テレビ）	1（日本海テレビ）
島根	松江 096	6（NHK総合） 34（山陰中央テレビ）	12（NHK教育） 30（日本海テレビ）	10（山陰放送）●
	浜田 097	2（NHK総合） 58（山陰中央テレビ）	9（NHK教育） 54（日本海テレビ）	5（山陰放送）●
岡山	岡山 （倉敷） 098	5（NHK総合） 35（岡山放送） 25（瀬戸内海放送）	3（NHK教育） 23（テレビせとうち）	11（山陽放送）● 9（西日本放送）
	津山 099	2（NHK総合） 60（岡山放送） 62（瀬戸内海放送）	12（NHK教育） 56（テレビせとうち）	7（山陽放送）● 58（西日本放送）
	笠岡 100	2（NHK総合） 60（岡山放送） 21（瀬戸内海放送）	4（NHK教育） 19（テレビせとうち）	6（山陽放送）● 17（西日本放送）
広島	広島 101	3（NHK総合） 12（広島テレビ）	7（NHK教育） 35（広島ホームテレビ）	4（中国放送）● 31（テレビ新広島）
	福山 102	5（NHK総合） 11（広島テレビ）	3（NHK教育） 57（広島ホームテレビ）	7（中国放送）● 54（テレビ新広島）
	尾道 103	1（NHK総合） 12（広島テレビ）	7（NHK教育） 24（広島ホームテレビ）	10（中国放送）● 26（テレビ新広島）
	呉 104	11（NHK総合） 5（広島テレビ）	1（NHK教育） 24（広島ホームテレビ）	9（中国放送）● 26（テレビ新広島）
山口	山口 （徳山・ 防府） 105	9（NHK総合） 38（テレビ山口）●	1（NHK教育） 28（山口朝日放送）	11（山口放送）
	下関 106	39（NHK総合） 33（テレビ山口）●	41（NHK教育） 21（山口朝日放送）	4（山口放送）
	宇部 107	16（NHK総合） 20（テレビ山口）●	14（NHK教育） 31（山口朝日放送）	18（山口放送）
	岩国 108	9（NHK総合） 22（テレビ山口）●	1（NHK教育） 28（山口朝日放送）	11（山口放送）
徳島	徳島 109	3（NHK総合） 4（毎日放送）●	38（NHK教育） 6（朝日放送）	1（四国放送） 8（関西テレビ）
香川	高松 110	37（NHK総合） 41（西日本放送） 19（テレビせとうち）	39（NHK教育） 29（山陽放送）●	33（瀬戸内海放送） 31（岡山放送）
	丸亀 111	44（NHK総合） 20（西日本放送） 16（テレビせとうち）	40（NHK教育） 18（山陽放送）●	42（瀬戸内海放送） 22（岡山放送）
愛媛	松山 112	6（NHK総合） 37（テレビ愛媛）	2（NHK教育） 29（あいテレビ）●	10（南海放送） 25（愛媛朝日テレビ）
	新居浜 113	2（NHK総合） 36（テレビ愛媛）	4（NHK教育） 27（あいテレビ）●	6（南海放送） 14（愛媛朝日テレビ）
	今治 114	32（NHK総合） 36（テレビ愛媛）	30（NHK教育） 27（あいテレビ）●	34（南海放送） 17（愛媛朝日テレビ）
	宇和島 115	6（NHK総合） 32（テレビ愛媛）	1（NHK教育） 34（あいテレビ）●	10（南海放送） 16（愛媛朝日テレビ）
高知	高知 116	4（NHK総合） 38（テレビ高知）●	6（NHK教育） 40（高知さんさんテレビ）	8（高知放送）
福岡	福岡 117	3（NHK総合） 1（九州朝日放送） 19（TVQ）	6（NHK教育） 9（テレビ西日本）	4（RKB毎日放送）● 37（福岡放送）
	久留米 118	46（NHK総合） 57（九州朝日放送） 14（TVQ）	54（NHK教育） 60（テレビ西日本）	48（RKB毎日放送）● 52（福岡放送）
	大牟田 119	53（NHK総合） 58（九州朝日放送） 19（TVQ）	50（NHK教育） 55（テレビ西日本）	61（RKB毎日放送）● 43（福岡放送）
	北九州 120	6（NHK総合） 2（九州朝日放送） 23（TVQ）	12（NHK教育） 10（テレビ西日本）	8（RKB毎日放送）● 35（福岡放送）
	行橋 121	49（NHK総合） 57（九州朝日放送） 19（TVQ）	46（NHK教育） 54（テレビ西日本）	60（RKB毎日放送）● 43（福岡放送）
佐賀	佐賀 122	38（NHK総合） 11（熊本放送）● 48（RKB毎日放送）●	40（NHK教育） 52（福岡放送） 57（九州朝日放送）	36（サガテレビ） 14（TVQ）
長崎	長崎 123	3（NHK総合） 37（テレビ長崎）	1（NHK教育） 27（長崎文化放送）	5（長崎放送）● 25（長崎国際テレビ）
	佐世保 124	8（NHK総合） 35（テレビ長崎）	2（NHK教育） 31（長崎文化放送）	10（長崎放送）● 17（長崎国際テレビ）
	諫早 125	47（NHK総合） 42（テレビ長崎）	45（NHK教育） 24（長崎文化放送）	49（長崎放送）● 20（長崎国際テレビ）
熊本	熊本 126	9（NHK総合） 34（テレビ熊本）	2（NHK教育） 22（熊本県民テレビ）	11（熊本放送）● 16（熊本朝日放送）
大分	大分 （別府） 127	3（NHK総合） 36（テレビ大分）	12（NHK教育） 24（大分朝日放送）	5（大分放送）●
	中津 128	48（NHK総合） 37（テレビ大分）	45（NHK教育） 17（大分朝日放送）	51（大分放送）●
宮崎	宮崎 129	8（NHK総合） 35（テレビ宮崎）	12（NHK教育）	10（宮崎放送）●
	延岡 130	4（NHK総合） 39（テレビ宮崎）	2（NHK教育）	6（宮崎放送）●
鹿児島	鹿児島 131	3（NHK総合） 38（鹿児島テレビ）	5（NHK教育） 32（鹿児島放送）	1（南日本放送）● 30（鹿児島読売テレビ）
	阿久根 132	8（NHK総合） 35（鹿児島テレビ）	12（NHK教育） 23（鹿児島放送）	10（南日本放送）● 17（鹿児島読売テレビ）
	鹿屋 133	4（NHK総合） 33（鹿児島テレビ）	2（NHK教育） 31（鹿児島放送）	6（南日本放送）● 25（鹿児島読売テレビ）
沖縄	沖縄 134	2（NHK総合） 8（沖縄テレビ）	12（NHK教育） 28（琉球朝日放送）	10（琉球放送）●

BS放送のガイドチャンネルについて

BS放送局名	ガイドチャンネル
NHK衛星第一	74
NHK衛星第二	76
WOWOW	73

準備

番組表を使うための準備をする

番組表（Gガイド）とは、新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているような番組の一覧をテレビ画面に表示したものです。本機では、番組表から見たい番組や録画したい番組を選ぶことができます。
番組表に表示される番組情報は、特定の放送局（ホスト局）から一日に数回配信されますので、本機のかんたん設定が終了してから、半日から1日程度経つと利用できるようになります。
ここでは、以下の手順に従って番組表の番組情報を受信し、番組表が正しく使えるかどうか確認します。

番組表の番組情報を受信する

Step1 **かんたん設定をする。**
詳しくは、「かんたん設定をする」（16ページ）をご覧ください。

Step2 **以下の5つのポイントを守って、番組表の番組情報を受信するまで1日程度待つ。**

「かんたん設定」が正しく行われていない場合、番組表に番組情報が表示されないことがあります。以下のポイントをもう一度確認してください。

番組表を受信するためのポイント

Point1 **アンテナ線と電源コードが正しく接続されているかもう一度確認してください。**
番組表の番組情報はホスト局からテレビの電波を使って送られてきます。アンテナ線や電源コードが正しく接続されていないと、番組情報を受信できませんのでご注意ください。

Point2 **「かんたん設定」が正しく設定されているかもう一度確認してください。**
かんたん設定の「時刻設定」や「地域番号設定」が正しく設定されていない場合、番組表が受信できません。「かんたん設定」で本機を正確な時刻に設定し、お住まいの地域で、チャンネル表示と放送局の組み合わせがもっとも近い地域番号を選択してください。

Point3 **ガイドチャンネルが正しく設定されているか確認してください。**
CATV（ケーブルテレビ）でVHF/UHF放送を受信している場合、ガイドチャンネルが正しく設定されていない場合があります。「ガイドチャンネルを設定する」（24ページ）をご覧になり、受信している放送局に対応したガイドチャンネルを設定してください。

Point4 **番組情報を取得するときに、以下のような状態になっていないか確認してください。**
本機が以下のような状態の場合、番組情報取得時刻になっても、番組情報を取得しません

- 本機でテレビ番組を視聴している状態
- 本機でテレビ番組を録画している状態
- 本機でテレビ番組を視聴しているときに、ホームメニューを表示している状態
- HDD→DVDダビング中の状態
- DV→HDDダビング中の状態
- 映像の最適化実行中の状態
- x-Pict Storyの作成中の状態

番組情報取得中に以下の操作を行うと、番組情報の取得が中止されます

- 電源を「入」にした場合
- ゲームやDVDのオートプレイを開始した場合
- （テレビ）からチャンネルを選び（決定）を押した場合

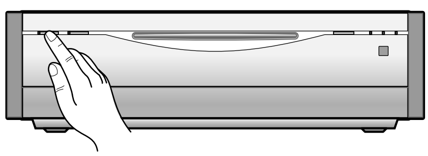
また、ネットワークアップデート中は、番組情報を取得できないことがあります。

Point5 **上記ポイント4を守り、半日から1日程度お待ちください。**
番組情報は特定の放送局（ホスト局）が一日に数回送信しています。時間帯によっては、受信できるようになるまで、最大半日から1日程度かかりますので、ご注意ください。

番組情報が正しく受信できたか確認する

Step1

本機前面

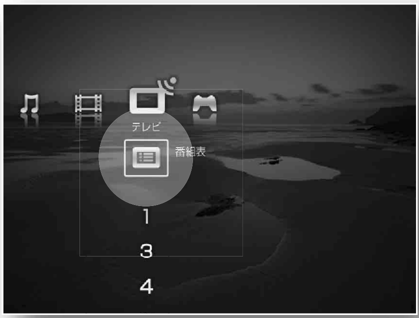


本機の電源を入れる。

Step2

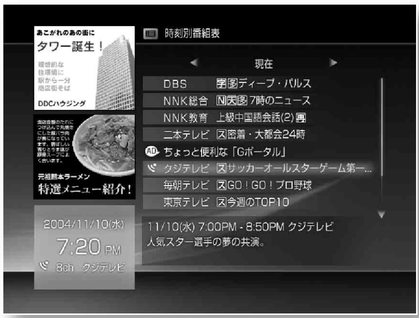
（ホーム）を押してホームメニューを表示し、←→で（テレビ）を選択する。

Step3



↑↓で（番組表）を選び（決定）を押す。

時刻別番組表が表示されます。各放送局の行に番組名が表示されていれば、番組情報は正しく受信できています。



番組情報が表示されないときは、上記ポイント1からポイント5までをもう一度確認して、番組情報を受信し直してください。

手動でチャンネルを設定する

「準備７　かんたん設定をする」でチャンネルの設定は自動的に行われますが、CATV（ケーブルテレビ）などの場合、受信したチャンネルと、表示チャンネルの設定がずれることがあります。このようなときは、手動でチャンネルの設定を変更してください。

受信チャンネルの設定を変更する

Step1

（ホーム）を押してホームメニューを表示し、←で（設定）を選択する。

Step2

↑↓で[テレビの設定]を選び（決定）を押す。

Step3

[手動チャンネル設定]を選び（決定）を押す。

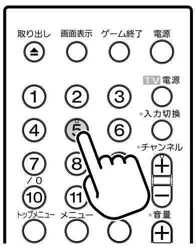
Step4

↑↓でチャンネルを登録したい行を選び (決定) を押す。

画面上に表示されている行の番号がそのままチャンネルの表示順になります。
またこの行の番号がそのまま、リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶときのチャンネル番号になります。
例えば、5行目に受信チャンネル「8」を登録すると、リモコンの「5」を押したときに、受信チャンネル「8」の番組が表示されます。

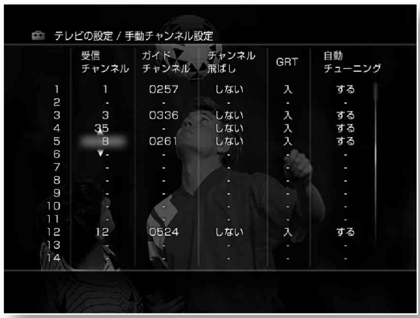
5行目に受信チャンネル「8」を設定すると

▼



リモコンの「5」を押したときに、受信チャンネル「8」の番組を表示します。

Step5



←→で受信チャンネルを選び、↑↓で登録したいチャンネルを選ぶ。

Step6

(決定) を押す。

これでチャンネルの設定は終了です。
引き続き「ガイドチャンネルを設定する」のStep4に進んでください。

ガイドチャンネルを設定する

ガイドチャンネルとは、番組表を表示するための識別番号です。各チャンネルに対して、誤ったガイドチャンネルが設定されていると、番組表を表示したときに、そのチャンネルの番組情報が表示できなくなる可能性があります。
ここでは、受信チャンネル「35」に北海道テレビのガイドチャンネルを設定するときの例を見ながら進めます。

Step1

(ホーム) を押してホームメニューを表示し、←で (設定) を選択する。

Step2

↑↓で［テレビの設定］を選び (決定) を押す。

Step3

［手動チャンネル設定］を選び 決定 を押す。

Step4

↑↓で誤ったガイドチャンネルが設定されている行を選び 決定 を押す。

北海道テレビが設定されている4行目を選択します。

Step5

地域	放送局名	ガイドチャンネル
北海道	NHK総合	336
	北海道放送 ●	257
	北海道テレビ	291
	テレビ北海道	273
	NHK教育	346
	札幌テレビ	261
	北海道文化放送	283

「ガイドチャンネル一覧」（26ページ）から、受信している放送局のガイドチャンネルを探す。

北海道テレビのガイドチャンネルは「291」になります。

Step6

←→でガイドチャンネル欄を選び、Step5で見つけたガイドチャンネルを↑↓で選ぶ。

ガイドチャンネル欄に「291」を入力します。

Step7

決定 を押す。

Step8

設定が終了したら ⊗ を押す。

以上でガイドチャンネルの設定は終了です。

準備

ガイドチャンネル一覧

地域	放送局名	ガイドチャンネル
北海道	NHK総合	336
	NHK教育	346
	北海道放送 ●	257
	北海道テレビ	291
	テレビ北海道	273
	札幌テレビ	261
	北海道文化放送	283
青森	NHK総合	592
	NHK教育	602
	青森放送	513
	青森テレビ ●	294
	青森朝日放送	290
岩手	NHK総合	848
	NHK教育	858
	岩手放送 ●	262
	テレビ岩手	547
	岩手めんこいテレビ	289
	岩手朝日テレビ	276
宮城	NHK総合	1104
	NHK教育	1114
	東北放送 ●	769
	仙台放送	268
	宮城テレビ	546
	東日本放送	288
秋田	NHK総合	1360
	NHK教育	1370
	秋田放送	267
	秋田テレビ ●	293
	秋田朝日放送	287
山形	NHK総合	1616
	NHK教育	1626
	山形放送	266
	山形テレビ	550
	テレビユー山形 ●	292
	さくらんぼテレビ	286
福島	NHK総合	1872
	NHK教育	1882
	福島テレビ	523
	福島中央テレビ	545
	福島放送	803
	テレビユー福島 ●	543
茨城	NHK総合	2128
栃木	NHK教育	2138
群馬	日本テレビ	260
埼玉	TBSテレビ ●	518
千葉	フジテレビ	264
東京	テレビ朝日	522
神奈川	テレビ東京	524
	とちぎテレビ	535
	群馬テレビ	304
	テレビ埼玉	806
	千葉テレビ	302
	東京メトロポリタン	270
	tvk	298
山梨	NHK総合	2896
	NHK教育	2906
	山梨放送	773
	テレビ山梨 ●	549
長野	NHK総合	2640
	NHK教育	2650
	信越放送 ●	779
	長野放送	1062
	テレビ信州	542
	長野朝日放送	532
新潟	NHK総合	2384
	NHK教育	2394
	新潟放送 ●	517
	新潟総合テレビ	1059
	テレビ新潟	285
	新潟テレビ21	277

地域	放送局名	ガイドチャンネル
富山	NHK総合	3152
	NHK教育	3162
	北日本放送	1025
	富山テレビ	802
	チューリップテレビ ●	544
石川	NHK総合	3408
	NHK教育	3418
	北陸放送 ●	774
	石川テレビ	805
	テレビ金沢	801
	北陸朝日放送	281
福井	NHK総合	3664
	NHK教育	3674
	福井放送	1035
	福井テレビ ●	295
静岡	NHK総合	3920
	NHK教育	3930
	静岡放送 ●	1291
	テレビ静岡	1315
	静岡朝日テレビ	1057
	静岡第一テレビ	799
岐阜	NHK総合	4176
愛知	NHK教育	4186
三重	中部日本放送 ●	1029
	東海テレビ	1281
	名古屋テレビ	1547
	中京テレビ	1571
	岐阜放送	1061
	テレビ愛知	537
	三重テレビ	1313
滋賀	NHK総合	4432
京都	NHK教育	4442
大阪	毎日放送 ●	516
兵庫	朝日放送	1030
奈良	関西テレビ	520
和歌山	読売テレビ	778
	びわ湖放送	798
	京都テレビ	1058
	テレビ大阪	275
	サンテレビ	548
	奈良テレビ	311
	テレビ和歌山	1054
鳥取	NHK総合	4688
	NHK教育	4698
	日本海テレビ	1537
	山陰放送 ●	1034
	山陰中央テレビ	1314
島根	NHK総合	4944
	NHK教育	4954
	山陰放送 ●	1034
	山陰中央テレビ	1314
	日本海テレビ	1537
岡山	NHK総合	5200
	NHK教育	5210
	山陽放送 ●	1803
	岡山放送	1827
	テレビせとうち	279
	西日本放送	265
	瀬戸内海放送	1569
広島	NHK総合	5456
	NHK教育	5466
	中国放送 ●	772
	広島テレビ	780
	広島ホームテレビ	2083
	テレビ新広島	1055
山口	HNK総合	5712
	NHK教育	5722
	山口放送	2059
	テレビ山口 ●	1318
	山口朝日放送	284

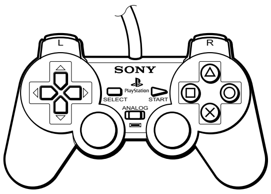
地域	放送局名	ガイドチャンネル
徳島	NHK総合	5968
	ＮＨＫ教育	5978
	四国放送	1793
	毎日放送 ●	516
	朝日放送	1030
	関西テレビ	520
香川	NHK総合	6224
	NHK教育	6234
	瀬戸内海放送	1569
	西日本放送	265
	山陽放送 ●	1803
	岡山放送	1827
	テレビせとうち	279
愛媛	NHK総合	6480
	NHK教育	6490
	南海放送	1290
	テレビ愛媛	1317
	あいテレビ ●	541
	愛媛朝日テレビ	793
高知	NHK総合	6736
	NHK教育	6746
	高知放送	776
	テレビ高知 ●	1574
	高知さんさんテレビ	296
福岡	NHK総合	6992
	NHK教育	7002
	RKB毎日放送 ●	1028
	九州朝日放送	2049
	テレビ西日本	521
	福岡放送	1573
	TVQ	531
佐賀	NHK総合	7760
	NHK教育	7770
	サガテレビ	804
	熊本放送 ●	2315
	福岡放送	1573
	TVQ	531
	RKB毎日放送 ●	1028
	九州朝日放送	2049
長崎	NHK総合	7248
	NHK教育	7258
	長崎放送 ●	1285
	テレビ長崎	1829
	長崎文化放送	539
	長崎国際テレビ	1049
熊本	NHK総合	7504
	NHK教育	7514
	熊本放送 ●	2315
	テレビ熊本	1570
	熊本県民テレビ	278
	熊本朝日放送	528
大分	NHK総合	8016
	NHK教育	8026
	大分放送 ●	1541
	テレビ大分	1060
	大分朝日放送	280
宮崎	NHK総合	8272
	NHK教育	8282
	宮崎放送 ●	1546
	テレビ宮崎	2339
鹿児島	NHK総合	8528
	NHK教育	8538
	南日本放送 ●	2305
	鹿児島テレビ	1830
	鹿児島放送	800
	鹿児島読売テレビ	1310
沖縄	NHK総合	8784
	NHK教育	8794
	琉球放送 ●	1802
	沖縄テレビ	1032
	琉球朝日放送	540

* 「•」の付いている放送局(ホスト局)から番組表の番組情報が送信されています(2005年3月現在)。

ゲームの準備をする

本機でゲームを楽しむ前に、以下の別売りアクセサリーを用意してください。

“PSX”専用アナログコントローラ(DESR-10)

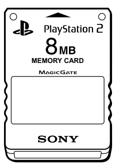


本機後面のコントローラ端子1の端子に接続してください。ゲームによっては特定の端子でしか動作しないものがあります。詳しくはゲームソフトに付属の解説書などをご覧ください。

本機後面

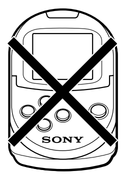
**“PlayStation 2”専用メモリーカード(8MB)または
メモリーカード(本機は両方のカードに対応しています。)**

本機は“PocketStation”に対応していません。



”PlayStation 2”専用
メモリーカード(8MB)

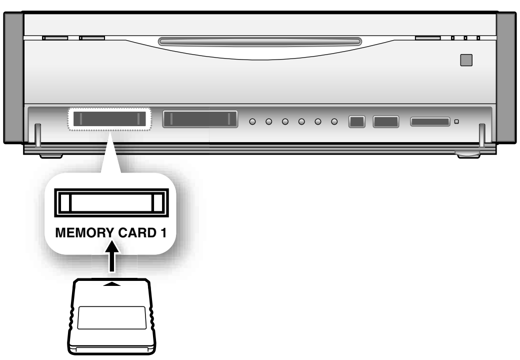
メモリーカード



“PocketStation”

本機前面のふたの中にある、MEMORY CARD1またはMEMORY CARD2に差し込んでください。

本機前面



“PlayStation 2”専用メモリーカード(8MB)について

“PlayStation 2”規格ソフトウェアのゲームデータをセーブまたはロードできます。
ゲームデータの確認やコピー、削除は、ゲームの「オプション機能の説明」(121ページ)をご覧ください。
1枚の“PlayStation 2”専用メモリーカードにつき、約8MBのゲームデータをセーブできます。
ただし、ファイル管理情報として使用される容量の分だけ空き容量が少なくなる場合があります。

メモリーカードについて

“PlayStation”規格ソフトウェアのゲームデータをセーブまたはロードできます。
ゲームデータの確認やコピー、削除は、ゲームの「オプション機能の説明」(121ページ)をご覧ください。
1枚のメモリーカードにつき、120KB(15ブロック)のゲームデータをセーブできます。
“PlayStation 2”規格ソフトウェアのゲームデータを、メモリーカードにコピーすることはできません。

ゲームデータのセーブについて

“PlayStation 2”専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードの空き容量を超える容量を必要とするゲームデータをセーブしようとしても、セーブできません。ゲームで遊ぶ前に、データのセーブに必要な容量とカード内の空き容量を確認してください。データのセーブに必要な容量は、ゲームソフトに付属の解説書などをご覧ください。

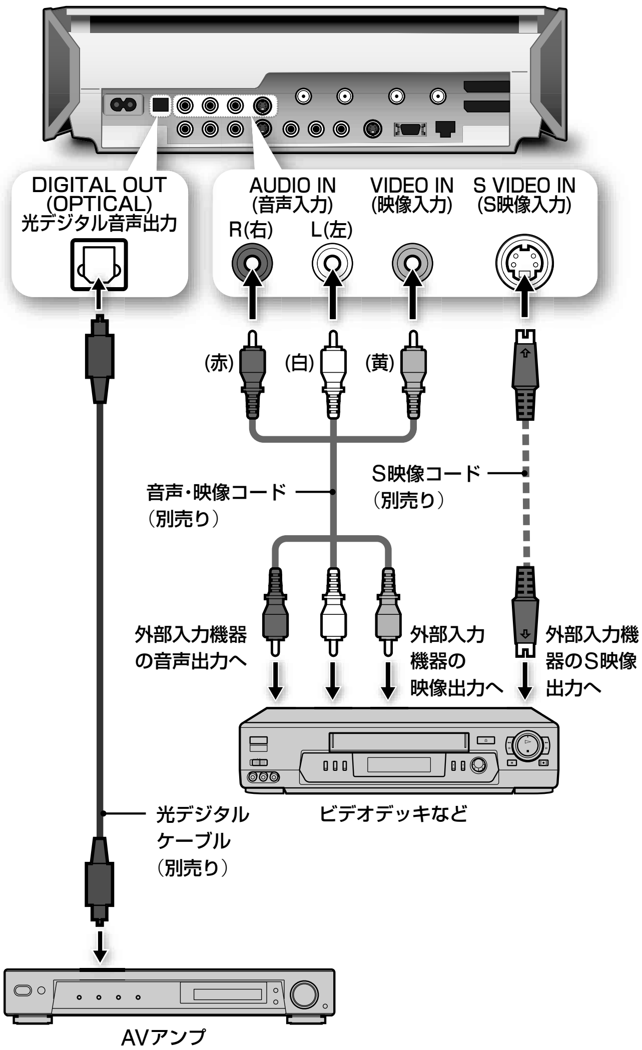
外部機器をつなぐ

ご注意はP32へ

映像入力やS映像入力、光デジタル音声出力端子に接続する

ビデオやデジタルチューナーなどの外部入力機器、AVアンプなどの外部出力機器を本機後面に接続します。

本機後面



接続した外部入力機器を見るには

↑↓でホームメニューの（テレビ）から LINE1（外部入力1）または LINE2（外部入力2）を選び 決定 を押す。

詳しくは「テレビを楽しむ」（50ページ）をご覧ください。

外部入力にガイドチャンネルを設定するには

外部チューナーなどを本機に接続した場合、これらの機器に対してガイドチャンネルを設定することができます。

詳しくは「外部入力にガイドチャンネルを設定する」（128ページ）をご覧ください。

S映像コードで外部入力機器を接続したときは

「ビデオの設定をする」の「外部映像を入力する端子を設定する」で「S映像」を選んでください（128ページ）。

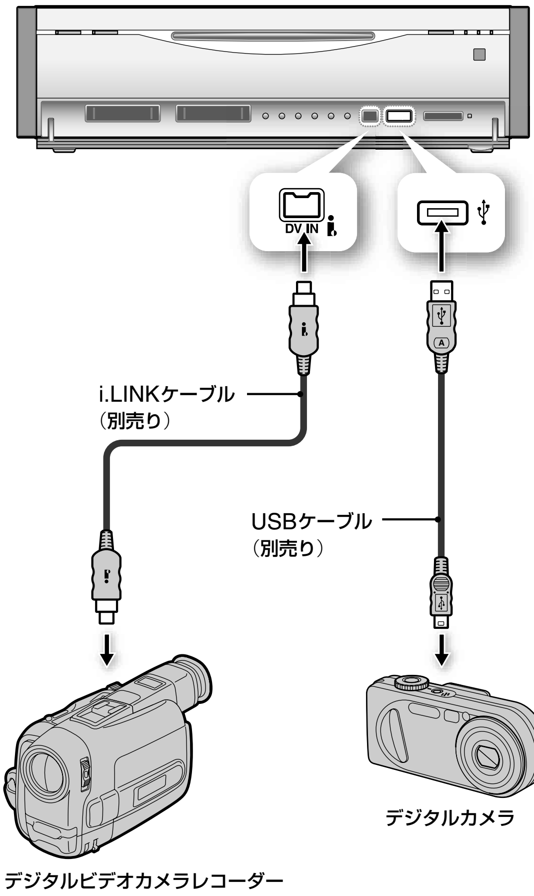
DV入力やUSB端子に接続する

デジタルビデオカメラレコーダーやデジタルカメラを本機前面に接続します。

USB端子にUSBケーブルを接続するときは、USBケーブルの端子の上下を必ず確認して接続してください。

誤って接続しよとすると、本機の故障の原因となります。

本機前面



接続したDV機器を見るには（DESR-7700のみ）

↑↓でホームメニューの（テレビ）から DV（DV）を選び 決定 を押す。

詳しくは「テレビを楽しむ」（50ページ）をご覧ください。

接続したデジタルビデオカメラレコーダーの映像を本機のハードディスクにダビングするには（DESR-7700のみ）

↑↓でホームメニューの（ビデオ）から（DV→HDDダビング）を選び 決定 を押す。

詳しくは「DV端子につないだ機器の映像を本機に自動的にダビングする（おまかせDVダビング）」（83ページ）をご覧ください。

i.LINKについては142ページを参照してください。

接続したデジタルカメラの写真を見るには

デジタルカメラを本機に接続すると がホームメニューに表示されるようになります。

1 ↑↓でホームメニューの フォト（フォト）から （デジタルカメラ）を選び 決定 を押す。

2 ↑↓で表示させたいフォルダを選び 決定 を押す。

3 ↑↓で見たい写真を選び 決定 を押す。

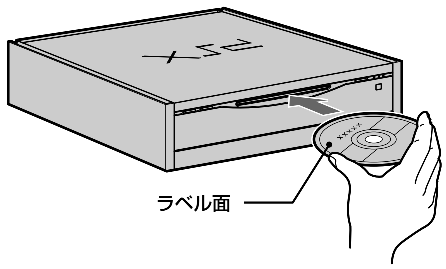
詳しくは「写真を再生する」（106ページ）をご覧ください。
本機はソニー製デジタルカメラに対応しています。本機に接続できるソニー製デジタルカメラの種類については、以下のホームページでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

ディスクや“メモリースティック”の取扱いかた

ご注意はP32へ

ディスクの入れかた

ディスクを入れる



ディスクのラベル面（タイトルなどが印刷されている面）を表に向けてディスク挿入口に入れる。
上図の矢印の向きに沿ってまっすぐ入れてください。

電源が切れている状態で、市販のDVDビデオやゲームのディスクを入れると、自動的に電源が入りディスクが再生されます。市販のDVDビデオやゲームのディスク以外のディスクを挿入すると、電源のみ入ります。

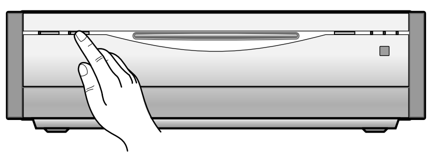
8cmディスクを入れるときは

本機は8cmディスクのアダプターを使わずに再生できます。ディスクをディスク挿入口の中央に合わせ、まっすぐ入れてください。
8cmディスクにアダプターをつけて本機に挿入すると、故障の原因となります。

ディスクを取り出す

本機の⏏（取り出しボタン）を押すと、ディスクが自動的に出ます。

本機前面



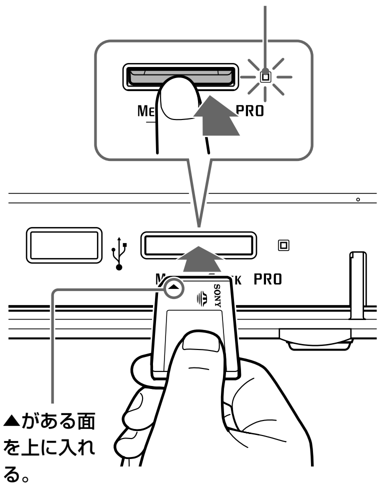
⏏（取り出し）ボタンを押しても、ディスクが取り出せないときは、お客様ご相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

“メモリースティック”の入れかた

“メモリースティック”を入れる

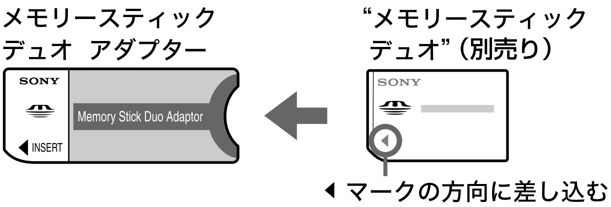
“メモリースティック”の▲の向きを確認し、MEMORY STICK挿入口にしっかり入れます。

奥へ押し込むとアクセスランプが点灯して消えます。



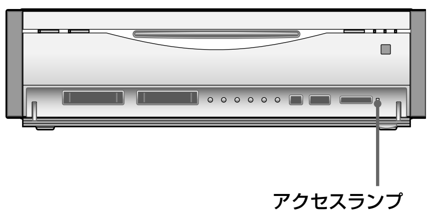
“メモリースティック デュオ”を使うときは

“メモリースティック デュオ”にメモリースティック デュオ アダプターを取り付けてから本機のMEMORY STICK挿入口に入れてください。



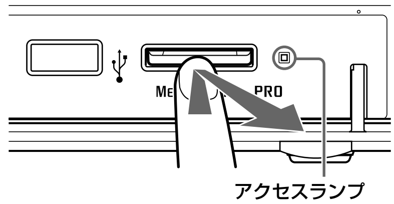
“メモリースティック”を取り出す

Step1



アクセスランプが点灯していないことを確認する。

Step2



“メモリースティック”をゆっくり奥に押し込んでから取り出す。

次のとき“メモリースティック”や“メモリースティック”コネクタが破損することがあります

- オレンジのアクセスランプが点灯中のときに、電源コードを抜く。
- “メモリースティック”を無理に引っ張り出す。
- “メモリースティック”挿入口に“メモリースティック”以外の異物を入れる。
- “メモリースティック”を逆向きに無理に入れる。
- オレンジのアクセスランプが点滅中のときに取り出す。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”には、標準サイズのものとその小型サイズの“メモリースティック デュオ”があります。“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れると、標準サイズの“メモリースティック”と同じサイズになり、標準サイズの“メモリースティック”対応機器でもお使いいただけます。さらに、大容量のデータを扱える“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”も用意されています。

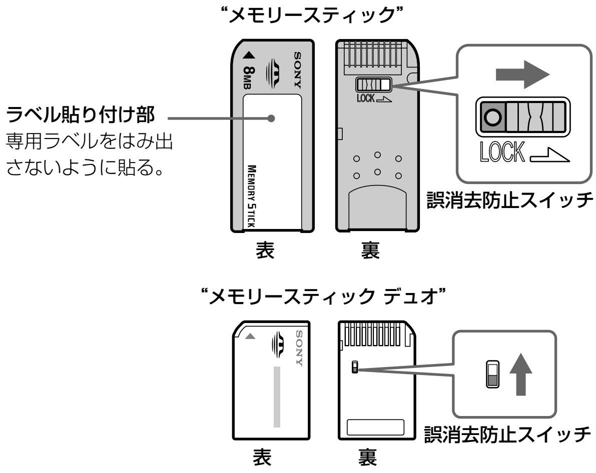
本機で利用できる“メモリースティック”の種類について

“メモリースティック”の種類	本機での対応
“メモリースティック” “メモリースティック デュオ”	○ △（アダプタが必要）
“メモリースティック（マジックゲート）” “メモリースティック デュオ（マジックゲート）”	○ △（アダプタが必要）
“マジックゲート　メモリースティック” “マジックゲート メモリースティック デュオ”	○ △（アダプタが必要）
“メモリースティック PRO” “メモリースティック PRO デュオ”	○ △（アダプタが必要）

- パラレルインターフェースを利用した高速データ転送には対応していません。
- マジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。

本機では、1GBまでのソニー製“メモリースティック”で動作確認を行っています。ただし、全ての“メモリースティック”での動作を保証するものではありません。（2005年3月現在）

“メモリースティック”に記録されている映像や音楽、写真などが消えないように保護する



誤消去防止スイッチをスライドさせて、「LOCK」する。

一部のメモリースティックには、誤消去防止スイッチが付いていないものもあります。

“メモリースティック”に記録されている内容の補償について

“メモリースティック”に記録されているデータが破壊された場合の内容の補償については、ご容赦ください。大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。

以下の場合、静止画や動画のファイルが破壊されることがあります

- 静止画·動画ファイルの読み込み中(アクセスランプ点灯中)に、“メモリースティック”を取り出したり、電源コードを抜いた場合
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

“メモリースティック”のフォーマットについて

すでにデータが書き込まれている“メモリースティック”をフォーマットすると、そのデータは消去されます。誤って大切なデータを消去することがないようご注意ください。

「接続と準備」に関するご注意

「準備2 アンテナを接続する」のご注意

- ハイビジョン専用コンポーネントビデオ入力(Y/P_B/P_R)には対応していません。

  本機をプログレッシブ(525p)方式に対応するテレビなどにつないでプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、通常のテレビ(インターレース)方式でご覧になることをお勧めします。プログレッシブ方式について詳しくは、「プログレッシブ出力を設定する」(131ページ)をご覧ください。

  本機とテレビとの接続については、お客様ご相談センター(裏表紙)にお問い合わせください。
- 本機は525i(480i)の標準テレビ放送信号で出力された映像のみ録画できます。ハイビジョン信号は録画できません。
- 画像の乱れを防ぐために、本機の上にテレビを直接置かないでください。
- アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してお使いください。特にフィーダー線は同軸ケーブルにくらべて雑音電波などの影響を受けやすいため、本機からできる限り離してください。
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  - お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社のある地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  - BSアンテナに雪が付着しているとき
  - 強風などでアンテナの向きが変わったとき(BSアンテナの向きを調整してください。)

「準備4 リモコンを準備する」のご注意

リモコンを使うときは、リモコン受光部に直接日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

「各社のテレビを操作できるよう設定する」のご注意

- テレビによってはメーカー登録番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- メーカー登録番号を新たに入力すると、それまで設定していたメーカー登録番号は消えます。
- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー登録番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、メーカー登録番号をもう一度入力し直してください。

「外部機器をつなぐ」のご注意

「映像入力やS映像入力、光デジタル音声出力端子に接続する」のご注意

- ドルビーデジタル方式、DTS方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。
- “PlayStation 2”規格ソフトウェアの一部には、DIGITAL OUT（OPTICAL）（光デジタル出力）端子からの音声出力に対応していないものがあり、その場合オーディオ用光デジタル接続コードで接続しても音声が出力されません。そのようなソフトウェアの音声を楽しむには、本機と音響機器を付属の音声コードで接続する必要があります。

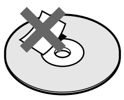
「DV入力やUSB端子に接続する」のご注意

他社製のデジタルカメラやUSB経由の記憶メディアは本機には対応していません。

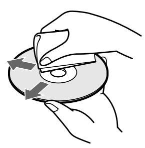
「ディスクや“メモリースティック”の取扱いかた」のご注意

ディスクの取扱いに関するご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ってください。



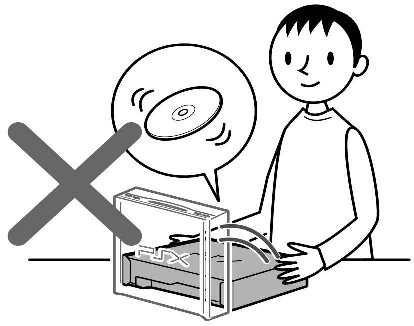
- 直射日光が当たるところなど温度の高い場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- ディスクはケースに入れて保管してください。
- ディスクはいつもきれいに保ってください。指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。
- ディスクを拭くときは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。



- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクをいためることがありますので、使用しないでください。
- ディスクに鉛筆やボールペンなどで書き込みをしないでください。
- 次のようなディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
  - 紙やシールの貼られたディスク
  - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
  - 特殊な形状をしたディスク

- ディスクを挿入する際は、ゆっくり挿入してください。本機の故障の原因となります。
- ディスクを入れたまま、本機を絶対に動かさないでください。

  ≙（取り出し）ランプ点灯中に本機を動かすと、ディスクに傷が付くことがあります。本機の設置方法（縦置き⇔横置き）を変更するときなどは、必ずディスクを取り出してから行ってください。



音量を調節するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

“メモリースティック”の取り扱いに関するご注意

- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”を付属の収納ケースに入れてください。
- “メモリースティック”の端子部に触れたり、金属を接触させないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたりしないでください。
- 落としたりしないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所に保管しないでください。
- 直射日光の当たる場所に保管しないでください。
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所に保管しないでください。
- “メモリースティック”を取り出すときに、指で横にはじいて出さないでください。目などに入って怪我をすることがあります。
- “メモリースティック デュオ”を本機で使用するときは、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてから使用してください。

  メモリースティック デュオ アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。

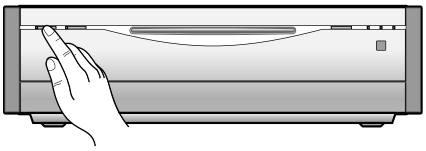
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは正しい挿入方向を確認してください。間違った方法で使用すると機器の破損の原因となりますので、ご注意ください。
- “メモリースティック デュオ”は、メモリースティック デュオ アダプターに装着されていない状態で“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

PSX入門

電源を入れる

本体のI/⏻（電源）スイッチまたはリモコンの電源ボタンを押す。

本機前面



電源を入れると以下の順で画面が切り換わります。

▼

しばらくすると画面右上に青いマークが表示されます。

▼

前回電源を切ったときに表示していたテレビのチャンネルが表示され、しばらくすると画面右上の青いマークが消えます。

（ホーム）を押してホームメニューを表示し、本機を利用してください。

電源を切るには

本体のI/⏻（電源）スイッチを押してください。

I/⏻（電源）スイッチを押してから、本機の電源が切れるまで数秒間かかります。故障の原因となりますので、I/⏻（電源）スイッチを続けて押さないでください。

基本的な操作のしかた

本機は以下のリモコンのボタンだけで基本的な操作ができます。

Step1 ホーム を押す

Step2 ←→でカテゴリを選ぶ

△ボタン
- オプションメニューを表示したいときに押します。
- 操作パネルを表示させたいときに押します。

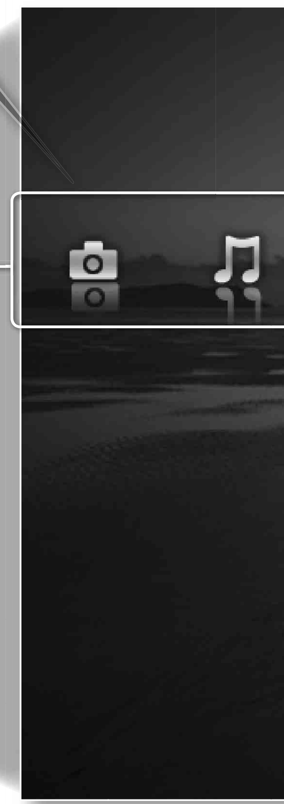
ホームボタン
ホームメニューを表示させたいときに押します。

○/決定ボタン
メニュー上で選んだ項目を確定するときに押します。

↑/↓/←/→/決定ボタン
- メニュー上の項目を選択するときに使います。
- ウィザードメニューの画面を切り換えるとき に使います。

✕ ボタン
- 再生を停止するときに使います。
- 1つ前のメニューに戻るときに押します。

ホームメニュー



横軸:カテゴリ

リモコンのその他のボタンの説明については、「各部のなまえ」(152ページ)をご覧ください。

Step3 ↑↓でコンテンツや機能を選び 決定 を押す

縦軸：コンテンツ

各カテゴリで選べるコンテンツや機能について

テレビ

- テレビ番組を見る。（50ページ）
- 番組表を使って録画予約する。（55ページ）
- 今見ているテレビ番組を録画する。（57ページ）

ビデオ

- 日時を指定して録画予約する。（61ページ）
- DVDや録画した映像を再生する。（52ページ）
- あらかじめ設定したキーワードで自動録画する（x-おまかせ･まる録）。（66ページ）
- 録画した映像を編集する。（71ページ）
- 録画した映像をDVDや"メモリースティック"にダビングする。（76、81ページ）
- DV IN端子に接続したデジタルビデオカメラレコーダーの映像を本機にダビングする（おまかせDVダビング）（DESR-7700のみ）。（83ページ）

ミュージック

- CDやCD-Rに記録されている曲を再生する。（93ページ）
- 曲を本機のハードディスクに保存する。（94ページ）
- 本機に保存した曲を使って演奏する（x-DJ）。（97ページ）

フォト

- "メモリースティック"やデジタルカメラ、CD-Rに保存されている写真や動画を再生する。（106ページ）
- 写真や動画を本機のハードディスクに保存する。（108ページ）
- 本機に保存した写真を使いフォト作品を作成する（x-Pict Story）。（109ページ）

ゲーム

- "PlayStation"や"PlayStation 2"のゲームで遊ぶ。（118ページ）

主なメニュー画面の紹介

オプションメニュー画面

↑↓←→でホームメニュー上に表示されている、コンテンツやディスク、フォルダに対して操作をしたいときに利用します。

このメニューの基本的な操作方法

↑↓で利用したい機能を選び、(決定) を押します。

操作パネルの画面

再生中のコンテンツを操作したいときに利用します。

このメニューの基本的な操作方法

↑↓←→で利用したい機能を選び、(決定) を押します。

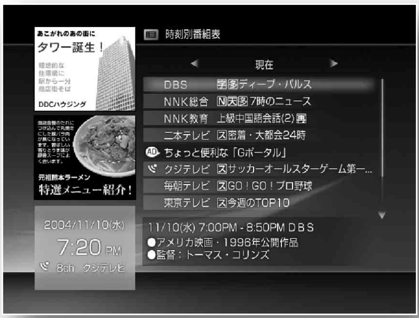
ウィザードメニュー画面

ダビングや本機の設定を行うときに利用します。

このメニューの基本的な操作方法

画面上の指示に従って項目の選択や設定を行い、→で次のページに移動します。

番組表画面



テレビ番組の録画予約などを行うときに利用します。

操作方法について詳しくは「番組表を利用する」（39ページ）をご覧ください。

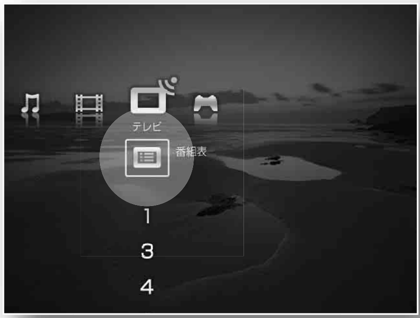
番組表を利用する

ご注意はP49へ

番組表（Gガイド）とは、新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているような番組の一覧をテレビ画面に表示したものです。番組表から見たい番組を選ぶだけで録画予約などができます。

番組表の表示のしかた

Step 1



ホームメニューの（テレビ）から（番組表）を選び 決定 を押す。

リモコンの番組表ボタンを押して番組表を表示することもできます。

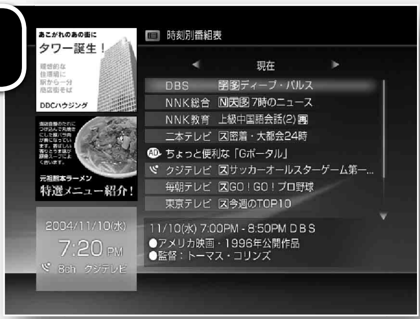
番組表を終了するには

番組表を表示しているときに ⊗ や ホーム（ホーム）を押します。

番組表画面の種類について

本機には4種類の番組表とトピックスがあります。

時刻別番組表

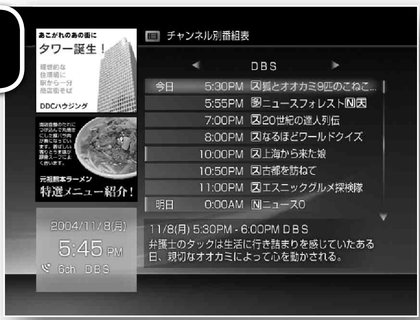


各放送局のテレビ番組一覧を時間ごとに表示します。

ジャンル別番組表

各放送局で放送されている番組の一覧をスポーツやドラマなどのジャンルごとに表示します。

チャンネル別番組表



テレビ番組の一覧を放送局ごとに表示します。

キーワード別番組表

あらかじめ設定したキーワードで検索された番組を一覧表示します。
キーワード別番組表の使いかたについては、「キーワード別番組表を使う」(42ページ)をご覧ください。

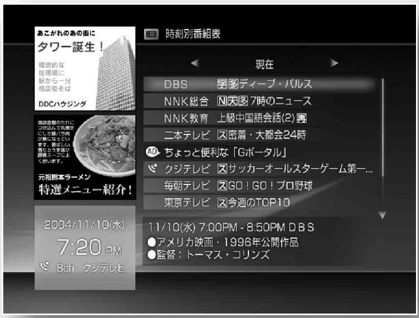
トピックス

放送局からのお知らせや便利な情報などを表示します。表示する内容は定期的に更新されます。

番組表の種類を切り換える

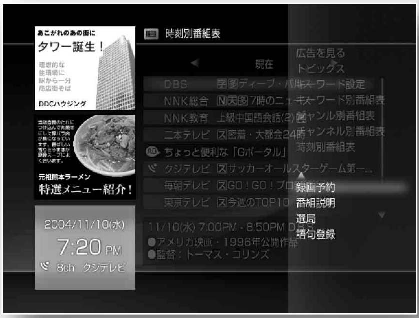
番組表のオプションメニューを使って切り換えるには

Step1



番組表を表示しているときに △ を押す。
番組表のオプション画面が表示されます。

Step2



↑↓で切り換えたい番組表を選び 決定 を押す。

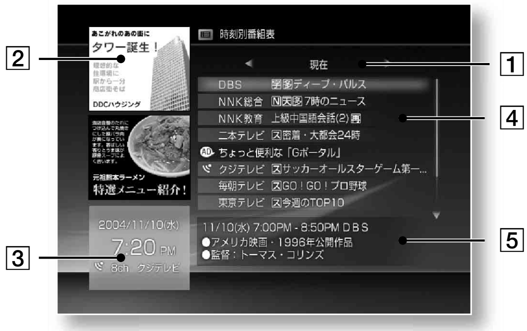
リモコンの番組表ボタンで切り換えるには

番組表表示中に、リモコンの番組表ボタンを繰り返し押すと、番組表の種類を以下の順番で切り換えることができます。

時刻別番組表 → チャンネル別番組表 → ジャンル別番組表 → キーワード別番組表 → トピックス → （時刻別番組表に戻る）

番組表画面の各部名称

番組表画面の見かた



1 **時刻（または放送局名、ジャンル、キーワード）欄**
←→で表示したい時刻、または放送局、ジャンル、キーワードを選ぶことができます。

2 **パネル広告画面**
広告画面を選ぶと、広告の詳細が表示されます。

3 **現在日時**
アイコンの説明
- （アイコン）：番組表を表示する直前に本機で表示していた放送局名とチャンネルが表示されます。

4 **放送開始日時または放送局と番組名**
選んだ放送局、時間、またはジャンル/サブジャンルで放送予定の番組と、放送局のテキスト広告（時刻別番組表のみ）が表示されます。↑↓で番組を選べます。
次のアイコンが表示されます。
アイコンの説明
- （白時計）：録画予約が設定されている番組に表示されます。
- ●（赤丸）：録画中の番組に表示されます。
- ▌（赤線）：放送時間が重なる別の番組が録画中（x-おまかせ・まる録を含む）の場合に表示されます。
- ▯（白線）：放送時間の重なる別の番組が録画予約されているときに表示されます。ただしx-おまかせ・まる録の予約と重なっていても表示されません。
- AD：テキスト広告です（時刻別番組表画面のみ）。
- （アイコン）：番組表を表示する直前に本機で表示していた放送局名とチャンネルが表示されます。

5 **番組説明**
選択している番組に関する説明が表示されます。

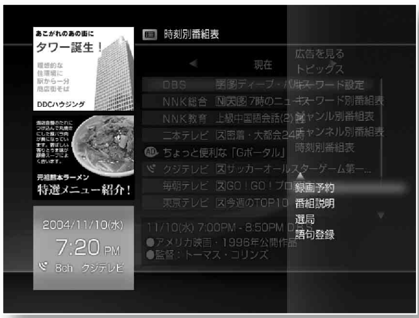
番組表の機能を利用する

番組表の機能は、番組表のオプション画面から利用します。

Step1

番組表画面で番組を選び △ を押す。
番組表のオプション画面が表示されます。

Step2



↑↓で利用したい機能を選び 決定 を押す。

本機の番組表では以下のオプション機能を利用することができます。

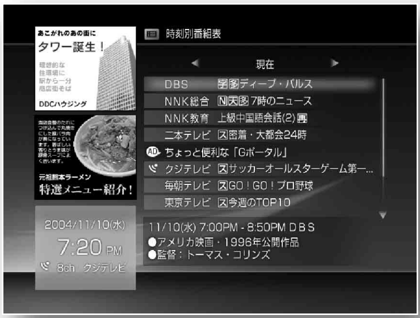
番組表のオプションで使える機能

機能名	選んで 決定 を押すと
広告を見る	広告の詳細な内容を表示します。
トピックス	トピックス画面を表示します。
キーワード設定	キーワード別番組表用にキーワードを設定することができます。
キーワード別番組表	キーワード別番組表に切り換わります。
ジャンル別番組表	ジャンル別番組表に切り換わります。サブジャンル選択ができます。
サブジャンル選択	より細かいジャンルを選択することができます。ジャンル別番組表を表示しているときのみ選択することができます。
チャンネル別番組表	チャンネル別番組表に切り換わります。
時刻別番組表	時刻別番組表に切り換わります。
録画予約	選んだ番組を録画予約します。
番組説明	選んだ番組の詳細な説明を表示します。
選局	選んだ番組のチャンネルが表示されます。
語句登録	番組表などに含まれている語句でよく利用する語句を、あらかじめ語句一覧に登録することができます。

キーワード別番組表を使う

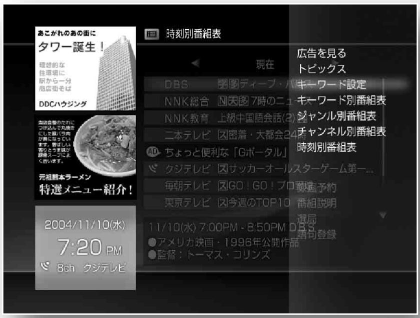
キーワード別番組表を使うと、あらかじめ設定したキーワードと一致する番組のみを抽出し表示します。
ここではキーワードの登録方法と登録したキーワードを使って番組を選び、予約録画するための方法を説明します。

Step1



番組表を表示しているときに △ を押す。

Step2



↑↓で[キーワード設定]を選び 決定 を押す。

Step3

↑↓で空いている欄を選び 決定 を押す。

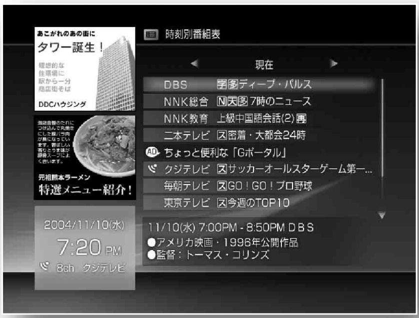
Step4

画面上のキーボードでキーワードを入力する。

キーボードの入力方法については、44ページをご覧ください。

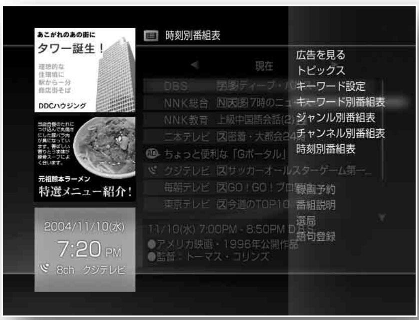
キーボードの入力が完了すると、キーワード設定の画面に戻ります。

Step5



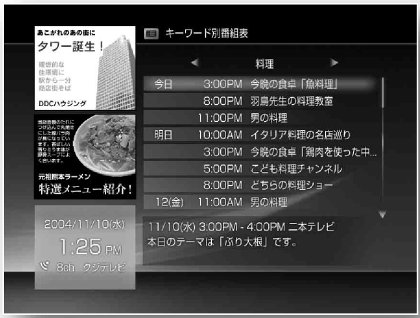
番組表を表示しているときに △ を押す。

Step6



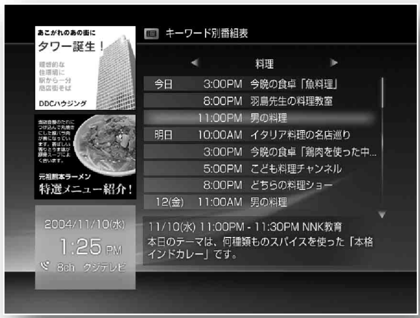
↑↓で［キーワード別番組表］を選び 決定 を押す。

Step7



←→で検索したいキーワードを選ぶ。

Step8



↑↓で番組を選び 決定 を押す。

決定 を押すと、選んだ番組を予約録画することができます。詳しくは「録画を予約する」(59ページ)をご覧ください。

PSX入門

文字入力方法を確認する

本機では画面上に表示されるキーボードを使って文字入力を行います。入力する文字により、使用するキーボードが異なります。入力したい文字に合わせてキーボードを切り換えてください。

文字を入力する

例として「日曜ドラマ」の入力方法を説明します。

Step1

↑↓←→でキーボードの「に」を選び 決定 を押す。

続けて「ち」、「よ」、「う」、「と」、「゛」、「ら」、「ま」を入力します。間違えたときは[BS]を選び 決定 を押します。

Step2

△ を押す。

「日曜ドラマ」に変換されます。他の変換候補を選ぶにはもう一度 △ を押します。

確定するには 決定 を押します。

Step3

↑↓←→でキーボードの[完了]を選び 決定 を押す。
「日曜ドラマ」が名前として登録されます。

文字を削除するには

Step1

↑↓←→でキーボードの[←]や[→]を選び、決定 を押してカーソルを削除したい文字の右側に移動させる。

Step2

↑↓←→でキーボードの[BS]を選び 決定 を押す。

キーボードの種類を切り換える

キーボード表示中にリモコンのL1ボタンを押すと、ひらがな入力用キーボード→カタカナ入力用キーボード→英字入力用キーボード→記号入力用画面→ひらがな入力用キーボードの順に切り換わります。

ひらがな入力用キーボード

小さい「っ」などを入力するには

↑↓←→でキーボードの[Shift]を選び 決定 を押します。
小さい文字を1文字入力すると、大きい文字のキーボードに切り換わります。

漢字などに変換するには

Step1

ひらがなを入力する。
ひらがなが反転した状態で表示されます。

Step2

△ を2回押す。
変換候補が表示されます。

Step3

↑↓で変換したい文字を選び（決定）を押す。

カタカナ入力用キーボード

リモコンのL1ボタンを押し、以下のキーボードを表示させます。

小さい「ッ」などを入力するには

↑↓←→でキーボードの[Shift]を選び（決定）を押します。
小さい文字を1文字入力すると、大きい文字のキーボードに切り換わります。

半角文字を入力するには

↑↓←→でキーボードの［全｜半］を選び（決定）を押すと半角文字を選ぶことができます。
もう一度［全｜半］を選ぶと全角に戻ります。

英字入力用キーボード

リモコンのL1ボタンを押し、以下のキーボードを表示させます。

大文字を入力するには

一時的に大文字を入力する場合

↑↓←→でキーボードの[Shift]を選び（決定）を押すと大文字の入力ができます。
大文字を1文字入力すると小文字のキーボードに切り換わります。

継続して大文字を入力する場合

↑↓←→でキーボードの[CapsLock]を選び（決定）を押すと大文字の入力ができます。
もう一度[CapsLock]を選ぶまで大文字が入力されます。

全角文字を入力するには

↑↓←→でキーボードの［全｜半］を選び（決定）を押すと全角文字を選ぶことができます。
もう一度［全｜半］を選ぶと半角に戻ります。

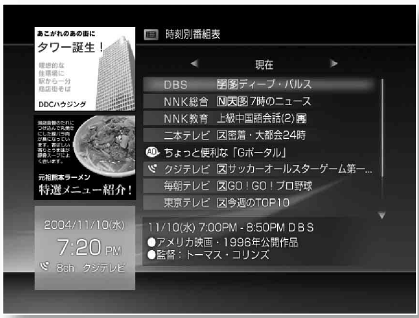
キーボードの配列を変更するには

↑↓←→で［キーボード］を選び（決定）を押します。
もう一度［キーボード］を選ぶと、もとの配列に戻ります。

語句を登録する

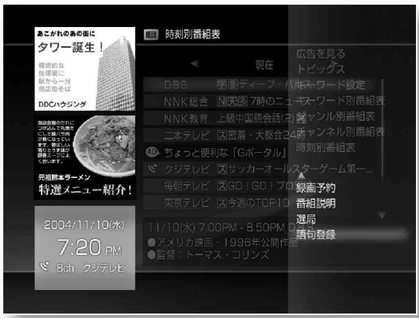
番組表などに含まれている語句を登録することができます。

Step1



番組表から登録したい語句が含まれている番組を選び △ を押す。

Step2

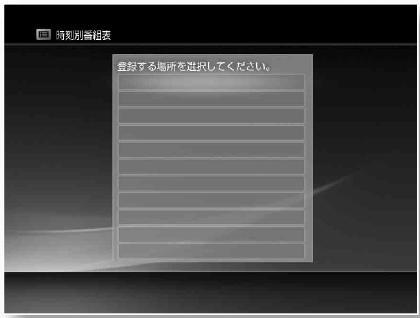


↑↓で［語句登録］を選び 決定 を押す。
キーボードが表示され、文字入力欄に、選んだ番組の番組情報が表示されます。

Step3

キーボードを使って、登録したい語句以外の文字を削除し、編集が終了したら［完了］を選び 決定 を押す。

Step4



↑↓で登録したい場所を選び 決定 を押す。

登録した語句を利用するには

登録した語句は、キーワード別番組表やx-おまかせ･まる録のキーワード登録などで使用できます。

Step1

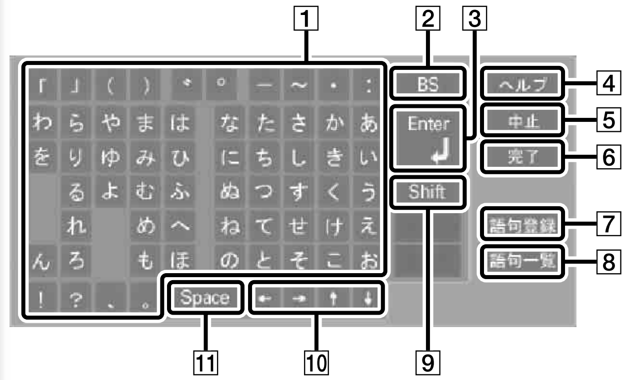
キーボード表示中に↑↓←→で［語句一覧］を選び 決定 を押す。

Step2

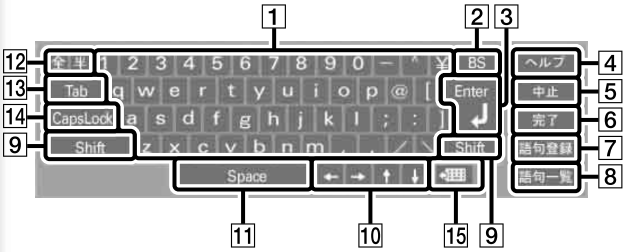
↑↓で入力したい語句を選び 決定 を押す。

キーボードの各部名称

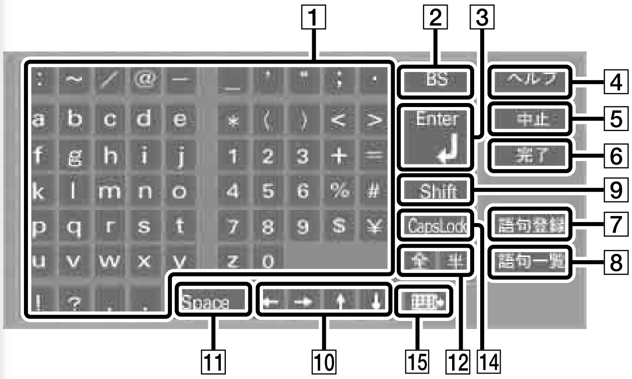
日本語キーボード



英語キーボード(その1)



英語キーボード(その2)

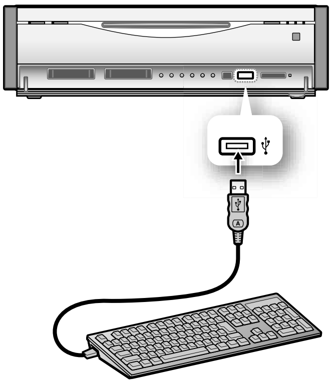


	名称	説明
1	文字キー	文字を入力します。
2	バックスペースキー/デリートキー	バックスペースキーは一文字削除します。 シフトキーを選択したときはデリートキーになります。デリートキーは後ろ一文字を削除します。
3	エンターキー	入力した文字、または変換した文字を確定します。
4	ヘルプキー	キーボードのヘルプ画面を表示します。
5	中止キー	文字入力を中止してもとの画面に戻ります。
6	完了キー	文字入力を完了してもとの画面に戻ります。
7	語句登録キー	よく入力する文字があるときに登録しておくと便利です。 登録語句の編集時などは「語句登録キー」は表示されません。
8	語句一覧キー	語句登録で登録した文字を一覧表示します。入力したい文字を一覧から選んでください。 登録語句の編集時などは「語句一覧キー」は表示されません。
9	シフトキー	一時的に大文字/小文字の切り替えができます。
10	←→↑↓キー	文字入力用のカーソルを左右上下に移動します。
11	スペースキー	一文字分空白を挿入します。未変換のひらがなや、カタカナ入力時には、文字変換を行います。
12	全角/半角キー	全角/半角を切り換えます。
13	タブキー	使用しません。
14	CapsLockキー	大文字/小文字を切り換えます。
15	キーボード切り換えキー	英語キーボードのとき、英語キーボードのその1、その2を切り換えます。

別売りの外付けキーボードを接続して文字を入力する

USB端子を使って本機に"PlayStation 2"対応キーボードをつなぐと、画面上に表示されるキーボードを使わずに、文字の入力ができるようになります。

Step 1 **キーボードを接続する。**
以下の図の通りに接続してください。



Step 2 **キーボードの設定をする。**
必要に応じてキーボードの設定や文字入力の設定をしてください。設定方法について詳しくは、「キーボードの設定をする」(136ページ)と「文字入力の設定をする」(135ページ)をご覧ください。

「PSX入門」に関するご注意

「番組表を利用する」のご注意

- 番組表の番組情報は、特定の放送局から1日に数回送信されます。このため、かんたん設定(16ページ)が終わってから番組表の受信が終了するまでに、半日〜1日程度かかることがあります。
- お住まいの地域や電波状況などにより、番組表の受信や更新ができないことがあります。その場合、番組表の一部や全体が空欄になったりする可能性があります。
- 放送局側の都合により、番組の内容や放送時間が変更になることがあります。本機での予約は、放送局側の都合による変更には対応できません。
- 引越しした場合は、受信する放送局が同じであっても、最適な番組表を表示するために必ず「かんたん設定」をし直してください。
- 番組表では8日先の番組まで予約できます。
- 本機は電源の「入」「切」にかかわらず番組表の番組情報取得時刻になると、番組情報を取得します。ただし、本機の状態によっては番組情報を取得できないことがあります。詳しくは「番組を受信するためのポイント」(22ページ)をご覧ください。

テレビを楽しむ

本機でテレビ番組を見ることができます。また、テレビ番組を本体のハードディスクに録画することもできます。

Step1 （ホーム）を押す。

Step2

←→で（テレビ）を選ぶ。

Step3

↑↓でチャンネルを選び（決定）を押す。

で選べるアイコンの説明

アイコン	選んで（決定）を押すと
番組表	番組表から選局や録画予約ができます（39ページ）。
チャンネル	テレビ番組を表示します。
BS BS	BS IF IN端子に接続したBS放送のテレビ番組を表示します。（DESR-7700のみ）
LINE1 外部入力1 LINE2 外部入力2	外部入力端子1や外部入力端子2に接続した機器の映像を表示します。
DV DV	DV IN端子に接続したデジタルビデオカメラレコーダーの映像を表示します。（DESR-7700のみ）

番組表は、リモコンの番組表ボタンでも表示することができます。
テレビ視聴中にリモコンの①～⑫を押すと、本機のテレビチャンネルを切り替えることができます。
GG はGガイドから番組情報を取得している情報に対して表示されます。

チャンネルの自動切り換えに関するお知らせが表示されたら

本機でテレビ番組を見ているときに、チャンネルの切り換えを確認するお知らせが出てくることがあります。

はい
自動録画（x-おまかせ･まる録）開始約20秒前に、録画する番組のチャンネルに自動的に切り換わります。

いいえ
x-おまかせ･まる録の録画予約をキャンセルします。チャンネルは切り換わりません。

自動録画（x-おまかせ･まる録）で録画予約された番組の開始5分以内に、別のチャンネルの番組を見ていると確認の画面が表示されます。
手動で設定した録画予約では、確認の画面は表示されません。録画開始約20秒前に、録画する番組のチャンネルに自動的に切り換わります。

音声を切り換える

二カ国語音声に対応しているテレビ番組の音声を切り換えることができます。

Step1

主音声が流れているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2

操作パネル

←→で ♪（音声切り換え）を選び 決定 を押す。
副音声が流れます。

Step2で ♪（音声切り換え）を繰り返し選ぶと、音声が以下のように切り換わります。

主音声 ➡ 副音声 ➡ 主音声と副音声の混合

表示中のテレビ番組を操作する

Step1

テレビ番組を見ているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2

操作パネル

←→で利用したいアイコンを選び 決定 を押す。
テレビでは以下のアイコンが使えます。

操作パネルで使えるアイコン

アイコン		選んで 決定 を押すと
○	録画	現在視聴している番組を録画します（57ページ）。 ○（録画）を2回続けて選ぶとクイックタイマーの設定画面が表示されます（57ページ）。
❚❚	録画一時停止	録画を一時停止します。
□	録画停止	録画を停止します。
♪	音声切り換え	視聴しているテレビ番組の音声を切り換えます。
i+	画面表示	画面表示を切り換えます。 ハードディスクの容量などを確認するときに使います。

録画と録画一時停止、録画停止、画面表示は、リモコンの●録画ボタンと❚❚録画一時停止ボタン、■録画停止ボタン、画面表示ボタンでも同じ操作ができます。

ビデオを楽しむ

録画した映像やDVDビデオを再生する

ご注意はP89へ

DVDに記録されている映像を本機で再生し、楽しむことができます。また、ハードディスクに録画した映像をDVDや“メモリースティック”にダビングすることもできます。

Step1

←→で（ビデオ）を選ぶ。

Step2

↑↓で見たい映像や（DVD）を選び 決定 を押す。

Step2で、再生途中で停止した映像を選んだときは、続きの場面から再生します。

ビデオ で選べるアイコンの説明

アイコン		選んで 決定 を押すと
	DV→HDDダビング	DV IN端子に接続した機器の映像を本機のハードディスクにダビングします。（DESR-7700のみ）
	HDD→M.S.ダビング	ハードディスクの映像を“メモリースティック”にダビングします。
	HDD→DVDダビング	ハードディスクの映像をDVDにダビングします。
	時間指定予約	手動で日時を指定して録画予約ができます。
	x-おまかせ・まる録	自動で録画するための設定ができます。
	予約候補リスト	録画予約した番組や、x-おまかせ・まる録で録画される予定の番組の確認や変更ができます。
	映像	ハードディスクに保存されている映像を再生します。表示されるアイコンの意味は、下の表をご覧ください。 NEW（ゴールド） x-おまかせ・まる録で録画された番組の中で、特におすすめの未視聴の映像です。 NEW（青） 録画された未視聴の映像です。 REC 現在録画中の映像です。 Re-Rec 現在最適化中の映像です。 ☆ x-おまかせ・まる録で録画された番組の映像です。 （鍵） プロテクト設定された映像です。 （ごみ箱） 自動消去間近の映像です。自動消去について詳しくは「録画した映像の自動消去方法を設定する」（130ページ）をご覧ください。

DVDを入れているときに表示されるアイコン

アイコン		選んで 決定 を押すと
	DVD Video DVD-VR DVD+VR	DVDを再生します。 またはタイトルリストを表示します。

本機の電源が切れているときに市販のDVDビデオを挿入すると

電源が自動的に入り、しばらくすると、自動的に再生が始まります。

DVD-RWのVRモードで記録されたディスクを再生するには

Step2で ◉（DVD-VR）を選ぶと、DVDに記録されている映像のタイトルリストが表示されます。
再生したい映像をタイトルリストから選び 決定 を押すと、映像の再生が始まります。

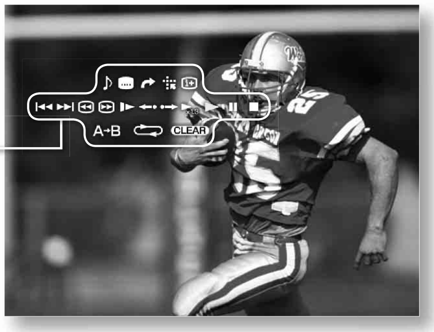
早送り・早戻しする

Step1

映像を再生しているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2

操作パネル



↑↓←→で ⏪（早戻し）または ⏩（早送り）を選び 決定 を押す。
映像が巻き戻しまたは早送りされます。

早送りや早戻しアイコンを選んで繰り返し 決定 を押すたびに、再生速度が切り換わります。

◀◀/▶▶ボタンを押し続けた場合、押している間だけ早送り/早戻し再生します。
なお、リモコンのL2･R2ボタンの設定を「フラッシュ」に変更している場合には、約15秒先（後ろ）の場面まで飛び（戻り）ます。

早送りや早戻しを解除するときは、▷（再生）を選び 決定 を押してください。

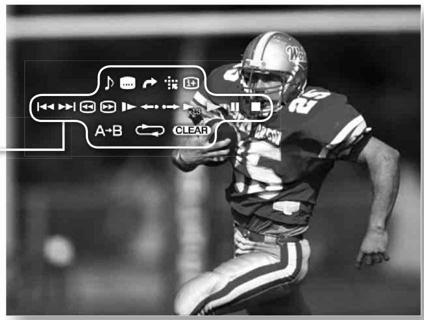
再生中の映像を操作する

Step1

映像を再生しているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2

操作パネル



↑↓←→で利用したいアイコンを選び 決定 を押す。
ビデオでは以下のアイコンが使えます。

操作パネルで使えるアイコン
使用状況により表示されないアイコンがあります。

アイコン	選んで 決定 を押すと
リターン	前の画面に戻ります。
音声切り換え	再生する映像の音声を切り換えます。
ジャンプ または 時間指定ジャンプ	指定した時間から映像を再生します。
サムネイル登録	を選んで 決定 を押すと、表示されていた画像がホームメニューのアイコンになります。
画面表示 または 時間表示	画面表示を切り換えます。 表示される内容はディスクや映像により異なります。
前	前のチャプターに戻ります。
次	次のチャプターへ移動します。
サーチ− （早戻し）	「早送り･早戻しする」（53ページ）をご覧ください。
サーチ+ （早送り）	「早送り･早戻しする」（53ページ）をご覧ください。
スロー	映像をゆっくり再生します。
スロー （逆スロー）	逆方向に映像をゆっくり再生します。

ビデオ

アイコン		選んで 決定 を押すと
⇦○	フラッシュ－	約15秒後ろの場面まで戻して再生します。
○⇨	フラッシュ＋	約15秒先の場面まで飛ばして再生します。
▷x1.3	早見再生	映像を音声つきで1.3倍速再生します。
▷	再生	停止中の映像を再生します。
❚❚	一時停止/ 一時停止解除	再生中の映像を一時停止したり、一時停止している映像を再生します。
□	停止	再生中の映像を停止します。
A→B	A-Bリピート	指定したシーンを繰り返し再生します(右記)。
	アングル 切り換え	アングル(角度)の異なる映像が収録されているときに、切り換えることができます。
	字幕切り換え	字幕で表示する言語を切り換えます。
1	チャプター ジャンプ	指定したチャプターから映像を再生します。
	メニュー	DVDのメニューを表示します。
	トップ メニュー	DVDのトップメニューを表示します。
CLEAR	クリア	リピートやA-Bリピートの設定を解除します。
	リピート	繰り返し再生します。押すたびに以下のように切り換わります。 **ハードディスクの映像を再生しているとき** タイトルリピート→チャプターリピート→リピート 切 **DVDを再生しているとき** ディスクリピート→タイトルリピート→チャプターリピート DVD-ROM以外でディスクリピートを選ぶことはできません。
設定	設定	映像のノイズを軽減したり、輪郭を強調したりします。

再生や停止、一時停止はリモコンの▷再生ボタン、■停止ボタン、❚❚一時停止ボタンでも同じ操作ができます。

A-Bリピートを設定するには

1 映像を再生中に △ を押す。
操作パネルが表示されます。

2 繰り返し再生させたい場面の始点が表示されたら、A→B(A-Bリピート)を選び 決定 を押す。
決定 を押したときの場面がA-Bリピートの始点として登録されます。

3 繰り返し再生させたい場面の終点が表示されたら 決定 を押す。
決定 を押したときの場面がA-Bリピートの終点として登録され、始点から終点を繰り返し再生します。映像の冒頭と最後に、始点や終点を設定することはできません。

市販のDVDビデオの再生を終了するには

1 ホーム を押す。

2 ←→で[はい]を選び 決定 を押す。
DVDの再生が停止し、画面が一度黒くなります。しばらくすると、テレビ画面が表示されます。

録画中の映像を再生する(追いかけ再生)

録画中の映像を、録画を止めずに再生することができます。録画中の番組はホームメニューの ビデオ (ビデオ)の中に表示されます。

Step 1

↑↓←→でホームメニューの ビデオ (ビデオ)から REC と表示されている番組を選び 決定 を押す。
録画中の番組が始めから再生されます。

早送りで映像を進めた場合、録画中の場面まで追いつくと追いかけ再生は解除され、録画中の映像を表示します。

録画する

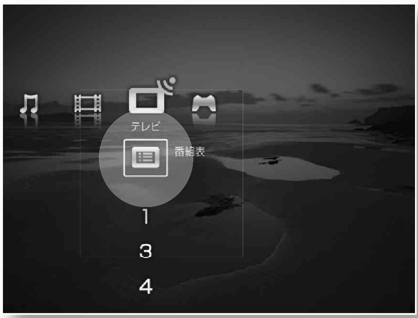
ご注意はP89へ

今見ているテレビ番組を本機のハードディスクに録画したいときに使います。録画中にビデオの映像を再生することも可能です。
本機は最長6時間まで連続して録画することができます。録画を開始してから6時間たつと録画が自動的に停止します。

番組表から録画する

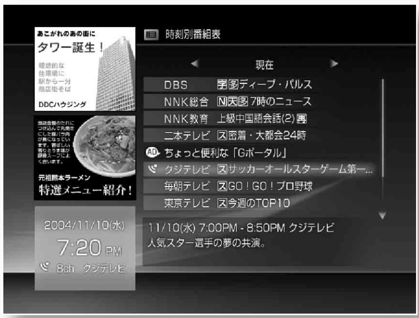
番組表から録画すると、番組が終わった時点で自動的に録画が停止します。

Step1



↑↓←→でホームメニューの テレビ（テレビ）から 番組表（番組表）を選び 決定 を押す。

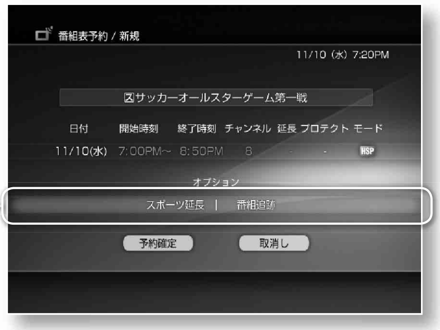
Step2



↑↓で録画したい番組を選び 決定 を押す。

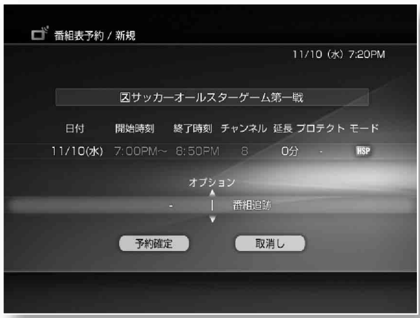
Step3

オプション欄



↑↓でオプション欄を選び 決定 を押す。

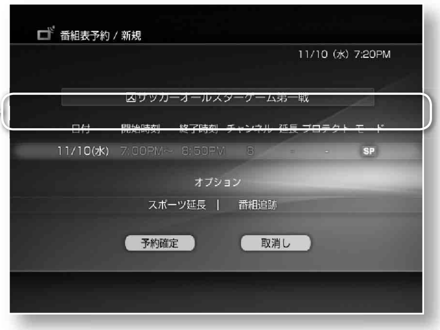
Step4



↑↓で選び 決定 を押す。
「スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する」(63ページ)、「放送時刻の変更に合わせて録画時間を修正する(番組追跡録画)」(64ページ)をご覧ください。

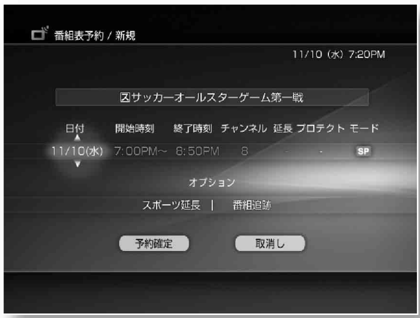
Step5

設定項目欄



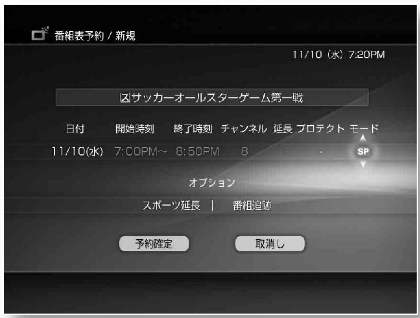
↑↓で設定項目欄を選び 決定 を押す。

Step6



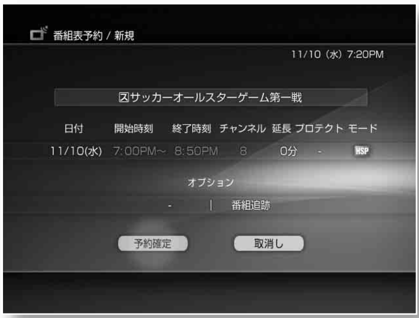
←→で変更したい項目を選択し、↑↓で項目を変更する。

Step7



すべての項目の設定が終了したら 決定 を押す。

Step8



↑↓で[予約確定]を選び (決定) を押す。
録画が始まります。

Step4で設定できる項目

項目名	説明
オプション	スポーツ延長、番組追跡を設定します。

Step6で設定できる項目

項目名	説明
日付	録画する日付を設定します。↑↓を繰り返し押すと、以下のように切り換わります。 日付* → 毎週 → 毎日 → 月〜土 → 月〜金 → 日付* * 設定できる日付は限定されます。
開始時刻	録画を開始する時刻を設定します。オプション欄で番組追跡を選択した場合は変更できません。
終了時刻	録画を終了する時刻を設定します。オプション欄で番組追跡を選択した場合は変更できません。
延長	録画を延長したいときに設定します。延長設定したときは、番組が終了した後も録画を続けます。オプション欄でスポーツ延長を選択した場合、延長時間を指定することはできません。
プロテクト	録画した映像を保護します。
モード	録画モードを設定します(56ページ)。

録画モードについて

本機には6つの録画モードがあります。高画質で記録したいときは、HQなどの高い画質の録画モードを選んでください。本機のハードディスクにより多くの映像を録画したいときは、SLPなどの録画モードを選んでください。

録画モード		ハードディスクに記録できる時間*	
		DESR-7700	DESR-5700
HQ	高画質	約53時間	約33時間
HSP		約81時間	約51時間
SP(標準)		約107時間	約67時間
LP		約164時間	約103時間
EP		約217時間	約137時間
SLP	長時間	約325時間	約204時間

* ゲーム領域を0GBに設定したときの録画時間です。ハードディスクの領域を変更すると、録画可能時間も変わります。

HQモードのときは、LPCM(リニアPCM)で音声が記録されます。HQモード以外のときは、ドルビーデジタルの2チャンネルで音声が記録されます。
本機は最長6時間まで連続して録画することができます。録画を開始してから6時間たつと録画が自動的に停止します。

録画するタイトル名を変更したいときは

タイトル名を変更すると、番組追跡録画できなくなることがあります。また、1文字以下のタイトル名は番組追跡録画できませんのでご注意ください。

1 **Step7が終わった後に、↑↓でタイトル欄を選び (決定) を押す。**

2 **↑↓←→で番組名を変更する。**
キーボードの入力方法については、「文字入力方法を確認する」(44ページ)をご覧ください。

3 **↑↓←→でキーボードの[完了]を選び (決定) を押す。**

録画中の番組を見ながら録画を停止するには

操作パネルから □ (録画停止)を選び (決定) を押します(51ページ)。

ホームメニューから録画を停止するには

1 **ホームメニューの (テレビ)から REC と表示されているチャンネルを選び (決定) を押す。**
録画中のチャンネルが表示されます。

2 **(△) を押す。**
操作パネルが表示されます。

3 **←→で操作パネルから □ (録画停止)を選び (決定) を押す。**
録画を停止します。

今見ているテレビ番組を録画する

Step 1

テレビ番組を見ているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step 2

操作パネル

リモコンの 録画モード を繰り返し押す。
録画したい録画モードが表示されるまで 録画モード を繰り返し押してください。録画モードについて詳しくは「録画モードについて」(56ページ)をご覧ください。

Step 3

←→で ○ (録画)を選び 決定 を押す。
録画が始まります。

録画中は本機のチャンネルを切り換えることはできません。

録画中の番組を見ながら録画を停止するには

操作パネルから □ (録画停止)を選び 決定 を押します(51ページ)。

ホームメニューから録画を停止するには

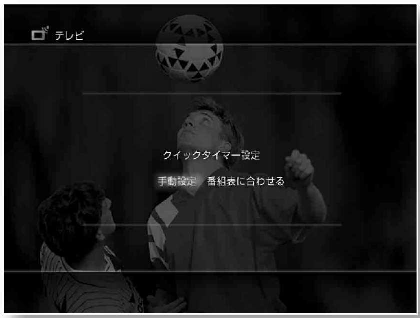
1 **ホームメニューの テレビ (テレビ)から REC と表示されているチャンネルを選び 決定 を押す。**
録画中のチャンネルが表示されます。

2 **△ を押す。**
操作パネルが表示されます。

3 **←→で操作パネルから □ (録画停止)を選び 決定 を押す。**
録画を停止します。

クイックタイマーで録画する

「今見ているテレビ番組を録画する」のStep2で ○ (録画)を2回続けて選ぶと、以下のような画面が表示され、クイックタイマーを設定することができます。
DV 入力ではクイックタイマーは使用できません。
本機のクイックタイマーには、手動で設定する方法と、番組表の時刻に合わせて設定する方法があります。



項目一覧

項目名	説明
手動設定	録画する時間を手動で設定することができます。30分単位で時間を設定することができます。
番組表に合わせる	現在録画している番組の情報を番組表から取得し、番組が終了するのに合わせて録画を自動的に終了させることができます。 スポーツ延長対応機能には対応していません。

二カ国語放送(二重音声放送)を録画する

本機では二カ国語放送などの番組を録画するときに、音声を3通りの方法で記録することができます。

Step 1

↑↓←→でホームメニューの 設定 (設定)から[ビデオの設定]を選び 決定 を押す。

Step2

↑↓で「HDD二カ国語記録音声」を選び 決定 を押す。

Step3

↑↓で「主音声」または「副音声」、「主＋副音声」を選び 決定 を押す。

項目一覧

音声	説明
主音声	録画時に主音声のみ録音します。
副音声	録画時に副音声のみ録音します。
主＋副音声	録画時に主音声･副音声両方を録音するため、再生時に主音声･副音声を切り換えることができます。

外部入力を使って外部機器の二カ国語放送を録画する

二カ国語放送の設定に加え、「外部入力音声設定」の設定を「二重音声」に変更してください。

LINE1（外部入力１）または LINE2（外部入力２）を使って二カ国語放送を録画するときの録画方法を設定します。

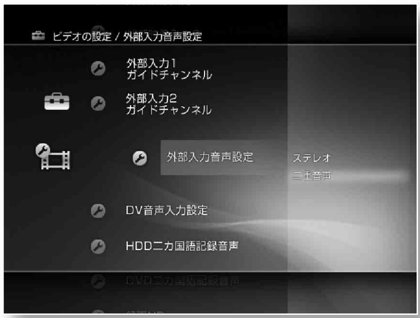
Step1

↑↓←→でホームメニューの （設定）から［ビデオの設定］を選び 決定 を押す。

Step2

↑↓で「外部入力音声設定」を選び 決定 を押す。

Step3



↑↓で「二重音声」を選び 決定 を押す。

録画可能な残り時間を確認する

Step1

テレビを見ているときに △（オプション）を押す。

操作パネルが表示されます。

Step2

操作パネル

←→で （画面表示）を選び 決定 を押す。

Step3

再び （画面表示）を選び 決定 を押す。
ハードディスクの空き容量（ディスク残量）と各録画モードでの録画可能時間を確認することができます。

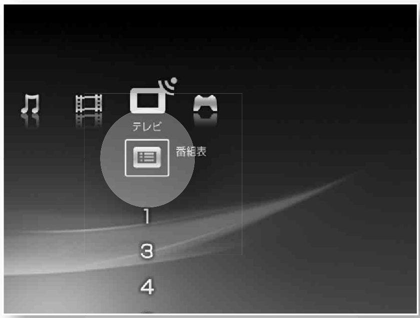
録画を予約する

ご注意はP89へ

本機の録画予約の方法には、番組表を使って予約する方法と、手動で日時を指定して予約する方法（61ページ）の2種類があります。

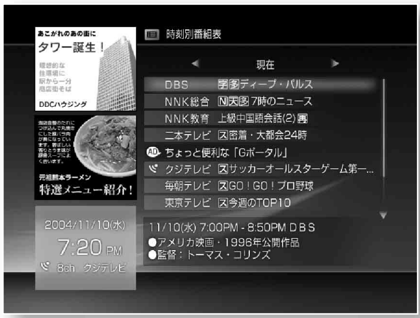
番組表で予約をする

Step1



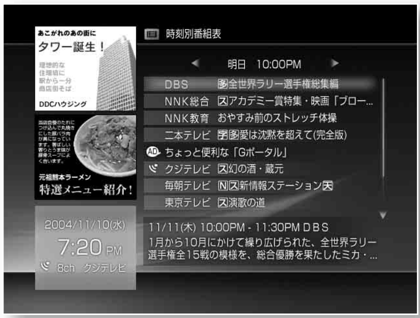
↑↓←→でホームメニューの （テレビ）から （番組表）を選び 決定 を押す。

Step2



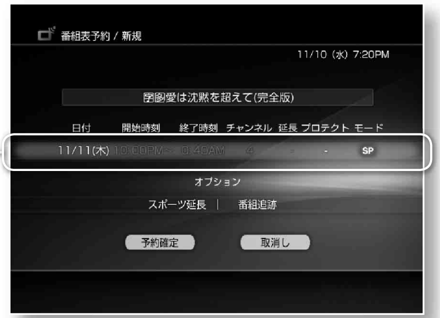
←→で予約したい時間を選ぶ。

Step3



↑↓で予約したい番組を選び 決定 を押す。
番組予約画面が表示されます。
各項目を確認し、設定を変更する必要がない場合はStep9に進んでください。

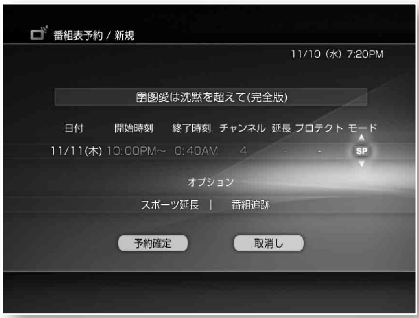
Step4



設定項目欄

↑↓で設定項目を選び (決定) を押す。

Step5

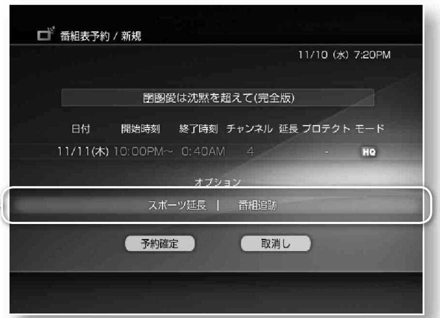


←→で変更したい項目を選択し、↑↓で項目を変更する。

Step6

すべての項目の設定が終了したら (決定) を押す。

Step7



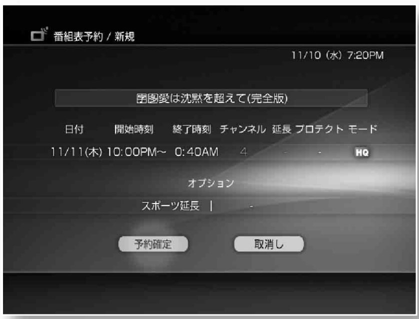
オプション欄

↑↓でオプション欄を選び (決定) を押す。

Step8

↑↓で変更したい項目を選択し (決定) を押す。
詳しくは「スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する(スポーツ延長対応)」(63ページ)と「放送時間の変更に合わせて録画時間を修正する(番組追跡録画)」(64ページ)をご覧ください。

Step9



↑↓で[予約確定]を選び (決定) を押す。
録画予約が設定されます。

Step5で設定できる項目

項目名	説明
日付	録画する日付を設定します。↑↓を繰り返し押すと、以下のように切り換わります。 日付* → 毎週 → 毎日 → 月～土 → 月～金 → 日付* * 設定できる日付は限定されます。
開始時刻	録画を開始する時刻を設定します。オプション欄で番組追跡を選択した場合は変更できません。
終了時刻	録画を終了する時刻を設定します。オプション欄で番組追跡を選択した場合は変更できません。
延長	録画を延長したいときに設定します。延長設定したときは、番組が終了した後も録画を続けます。オプション欄でスポーツ延長を選択した場合、延長時間を指定することはできません。
プロテクト	録画した映像を保護します。
モード	録画モードを設定します(56ページ)。

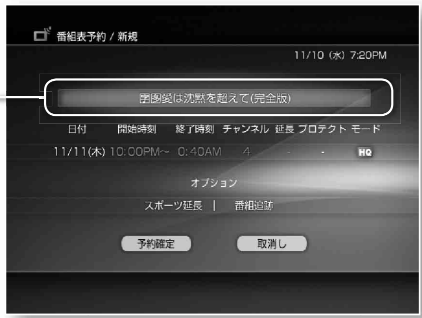
Step7で設定できる項目

項目名	説明
オプション	スポーツ延長、番組追跡を設定します。

録画予約のタイトル名を変更したいときは

タイトル名を変更すると、番組追跡録画できなくなることがあります。また、1文字以下のタイトル名は番組追跡録画できませんので、ご注意ください。

Step1



タイトル欄

「番組表で予約をする」のStep7が終わった後に、↑↓でタイトル欄を選び (決定) を押す。
画面上にキーボードが表示されます。

Step2

キーボードでタイトル名を変更する。
キーボードの入力方法については、「文字入力方法を確認する」(44ページ)をご覧ください。

Step3

キーボードの[完了]を選び 決定 を押す。

日時を指定して予約をする

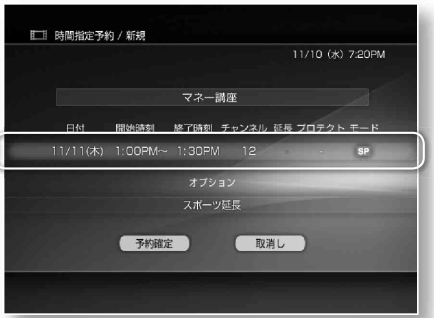
番組表を使わずに、手動で録画予約することもできます。

Step1

↑↓←→でホームメニューの (ビデオ)から (時間指定予約)を選び 決定 を押す。

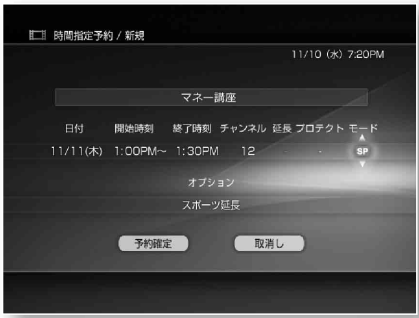
Step2

設定項目欄



↑↓で設定項目欄を選び 決定 を押す。

Step3



←→で変更したい項目を選択し、↑↓で項目を変更する。

Step4

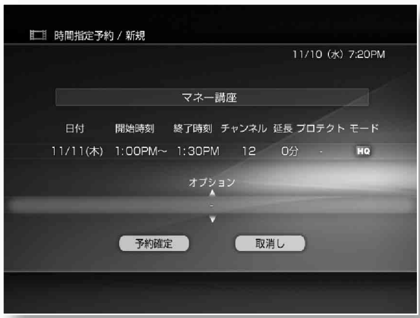
すべての項目の設定が終了したら 決定 を押す。
番組情報が取得できていれば、番組名が表示されます。

Step5

オプション欄

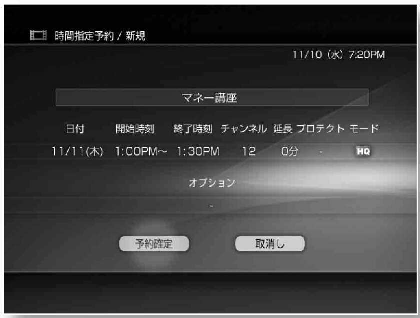
↑↓でオプション欄を選び 決定 を押す。

Step6



↑↓で選び 決定 を押す。
詳しくは「スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する(スポーツ延長対応)」(63ページ)をご覧ください。

Step7



↑↓で[予約確定]を選び 決定 を押す。
録画予約が設定されます。

Step3で設定できる項目

項目名	説明
日付	録画する日付を設定します。 ↑↓を繰り返し押すと、以下のように切り換わります。 日付 → 毎週 → 毎日 → 月~土 → 月~金 → 日付
開始時刻	録画を開始する時刻を設定します。
終了時刻	録画を終了する時刻を設定します。
チャンネル	録画するチャンネルを設定します。

項目名	説明
延長	録画を延長したいときに設定します。 オプション欄でスポーツ延長を選択した場合、延長時間を指定することはできません。 なお、延長設定した予約録画が実行されているときは、延長を再設定します。
プロテクト	録画した映像を保護します。
モード	録画モードを設定します(56ページ)。

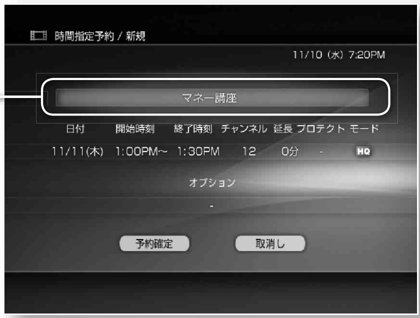
Step6で設定できる項目

項目名	説明
オプション	スポーツ延長を設定します。

予約録画のタイトル名を変更したいときは

Step1

タイトル欄



「日時を指定して予約をする」のStep4が終わった後に、↑↓でタイトル欄を選び (決定) を押す。
画面上にキーボードが表示されます。

Step2

キーボードでタイトル名を変更する。
キーボードの入力方法については、「文字入力方法を確認する」(44ページ)をご覧ください。

Step3

キーボードの[完了]を選び (決定) を押す。

予約した録画を録画中に停止するには

操作パネルから □ (録画停止)を選び (決定) を押します(51ページ)。

録画した番組を見るには

ホームメニューの (ビデオ)から録画した映像を選び (決定) を押します(52ページ)。

予約内容を変更する・取り消す

一度予約した内容を確認したり、設定を変更したりすることができます。

Step1

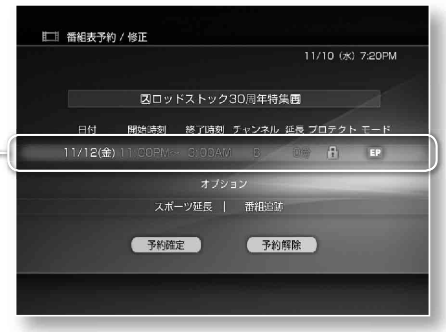
↑↓←→でホームメニューの (ビデオ)から (予約候補リスト)を選び (決定) を押す。

Step2

↑↓で変更したい番組を選び (決定) を押す。
予約候補リストに表示されるのは実際に録画される内容です。
番組追跡などにより、予約時の内容と異なることがあります。

Step3

設定項目欄



↑↓で設定項目欄を選び (決定) を押す。
録画予約の内容を取り消すには、[予約解除]を選びます。
録画予約の内容を変更するには、Step4へ進みます。

Step4

←→で変更したい項目を選ぶ。
各項目について詳しくは、「Step5で設定できる項目」(60ページ)をご覧ください。

Step5

↑↓で選んだ項目を変更する。

Step6

すべての項目の設定が終了したら (決定) を押す。

Step7

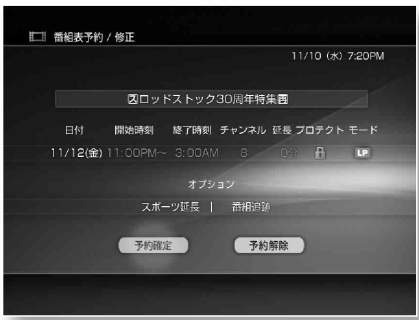
オプション欄

↑↓でオプション欄を選び (決定) を押す。

Step8

↑↓で変更したい項目を選択し (決定) を押す。
詳しくは「スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する(スポーツ延長対応)」(63ページ)と「放送時間の変更に合わせて録画時間を修正する(番組追跡録画)」(64ページ)をご覧ください。

Step9



↑↓で[予約確定]を選び (決定) を押す。

予約候補リストの並び順を変更したいときは

Step1

↑↓←→でホームメニューの (ビデオ)から (予約候補リスト)を選び (決定) を押す。

Step2

(△) を押す。

Step3

↑↓で[並び順変更]を選び (決定) を押す。
「並び順変更」で (決定) を押すたびに、予約候補リストの並び順が切り換わります。

項目一覧

項目名	説明
手動予約	手動で設定した予約(日付の近い順)→x-おまかせ·まる録で設定した予約(日付の近い順)の並び順で表示されます。
おまかせ予約	x-おまかせ·まる録で設定した予約(日付の近い順)→手動で設定した予約(日付の近い順)の並び順で表示されます。
日付順	日付が近い順で表示されます。

スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する(スポーツ延長対応)

スポーツ延長対応を設定すると、スポーツ番組の放送時刻の変更に対応し、放送時刻が変更になったスポーツ番組の録画時間や、スポーツ番組の放送時間の変更によって影響を受けるそれ以降の番組の録画時間を自動的に延長します。

Step1

「番組表で予約する」(59ページ)のStep1から5までを行い、Step7でオプション欄を選ぶ。

Step2

↑↓で「スポーツ延長」を選ぶ。

Step3

全ての項目の設定が終了したら (決定) を押す。

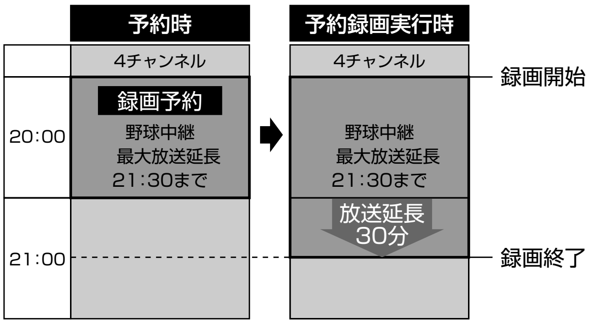
Step4

↑↓で「予約確定」を選び (決定) を押す。

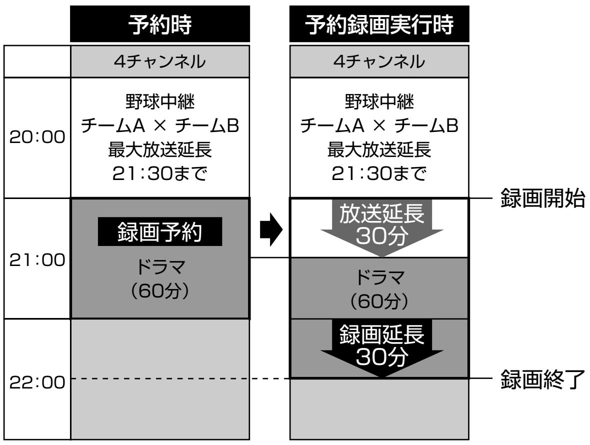
スポーツ延長対応が有効になる番組について

A ①と②の条件を満たす“スポーツ”ジャンルの番組

① 19:00 ～ 21:00の間に放送される番組
② 番組表データに放送時間延長についての情報がある番組（延長に関する情報はあるが、延長時間についての情報がない番組については、60分延長します。）



B Aの番組と同一チャンネルで、Aの番組の放送終了後から朝5:00までに放送される番組

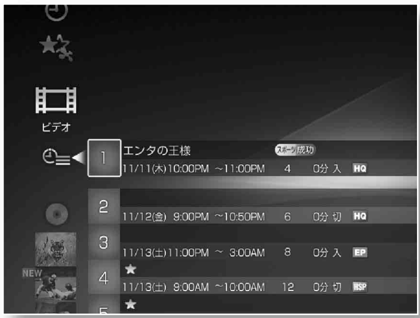


21:00から22:00まで放送予定のドラマを録画予約しても、このドラマの前の時間帯で放送されている野球中継が30分延長される可能性があります。このような場合、ドラマの録画開始時刻はそのままで、ドラマでの録画終了時刻を30分延長してくれます。ただし、延長した時間帯に他のチャンネルでの予約の開始時間が含まれているときは、他の録画予約が優先されます。

スポーツ延長対応の対応結果を確認するには

録画する前に確認する

予約候補リストを確認すると、スポーツ延長対応を設定した録画予約に対して、以下のいずれかのマークが表示されます。



画面に表示されるアイコンの説明

アイコン	説明
スポーツ成功	スポーツ延長対応が成功の場合
スポーツ失敗	スポーツ延長対応が失敗の場合

録画したあとに確認する

録画した番組の「情報」を確認すると、スポーツ延長に成功したか、しなかったかを確認することができます。

放送時刻の変更に合わせて録画時間を修正する（番組追跡録画）

番組追跡録画を設定すると、録画予約した番組の放送時刻が前後1時間の範囲で変更になっても、該当する番組を追いかけて、自動的に録画時刻を変更してくれます。番組追跡録画を設定しておくと、ドラマの最終回などで放送時間が通常の放送よりも1時間長くなるようなときに、自動的に録画時刻を変更してくれるので便利です。

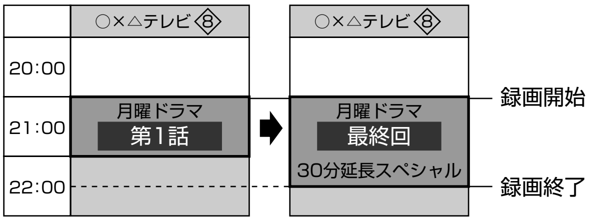
Step1 「録画を予約する」（59ページ）のStep1から7までを行い、Step7のオプション欄を選ぶ。

Step2 ↑↓で［番組追跡］を選ぶ。

Step3 全ての項目の設定が終了したら (決定) を押す。

Step4 ↑↓で［予約確定］を選び (決定) を押す。

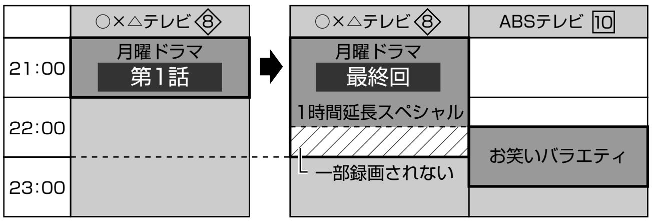
番組追跡録画成功の例



番組追跡録画失敗の例

番組追跡録画を設定した録画と、他の録画予約が重なると番組追跡録画が一部失敗または完全に失敗してしまいます。

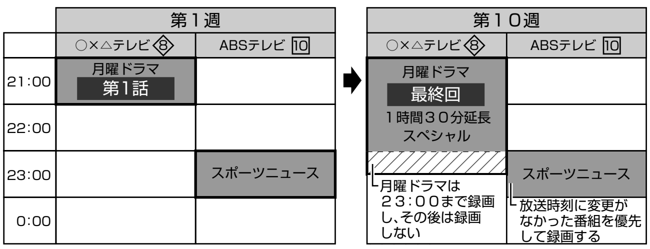
A 他の録画予約に番組追跡録画が設定されていない場合



この場合、バラエティ番組が22:30から始まるため、ドラマは22:30まで録画されます。
ドラマの放送は、23:00までありますが、22:30まで録画します。

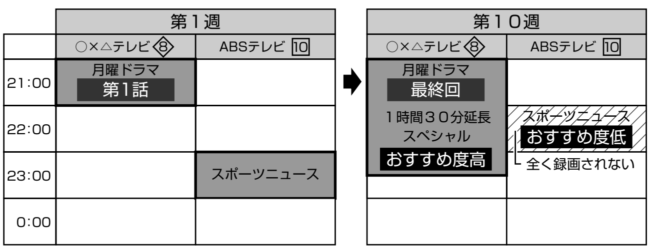
B 他の録画予約にも番組追跡録画が設定されている場合

放送時刻に変更がなかった番組を優先して録画します。

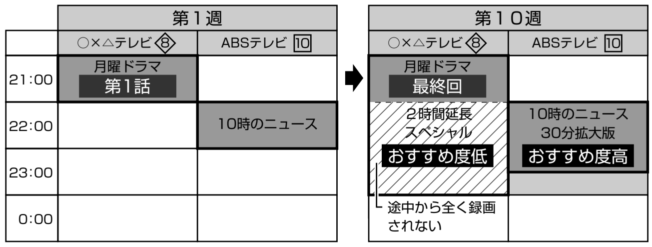


上記の場合、スポーツニュースの放送時刻に変更がなかったので、スポーツニュースの録画が優先されます。
月曜ドラマは23:30まで放送されていたとしても、スポーツニュースが始まる23:00までしか録画されません。
ただし、両方の番組の放送時刻が変更になったときは「おすすめ度」が高い番組を優先して録画します。
おすすめ度が低い番組は、すべて録画されなかったり、番組の一部だけが録画されたりします。

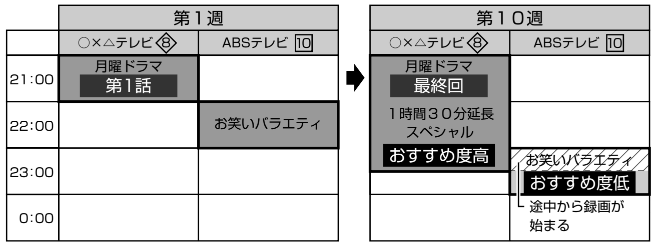
おすすめ度低の番組が完全に録画されない場合



おすすめ度低の番組が途中まで録画される場合



おすすめ度低の番組が途中から録画される場合



番組追跡録画の結果を確認する

録画する前に確認する

予約候補リストを確認すると、番組追跡を設定した録画予約に対して、以下のいずれかのマークが表示されます。

画面に表示されるアイコンの説明

アイコン	説明
追跡 成功	番組追跡録画が成功の場合
追跡 失敗	番組追跡録画が一部失敗した場合
追跡 失敗	番組追跡録画が完全に失敗した場合

録画したあとに確認する

録画した番組の「情報」を確認すると、番組追跡録画が成功したかしなかったか、確認することができます。

自動的に録画する（x-おまかせ・まる録）

ご注意はP90へ

x-おまかせ・まる録とは

本機に録画したい番組のキーワードなどを登録すると、そのキーワードと一致するような番組や、あいまい検索を行い関連する番組を本機が自動的に探して録画する機能です。
また、本機でのいろいろな操作をもとにお客様の好きな番組を学び、おすすめ度の高い番組を探して録画します。

おすすめ度とは

本機はお客様が行った本機の操作情報などをもとに、お客様の好きな番組を判断し、おすすめ度を決めます。本機では、主に以下の情報を参考にして、お客様におすすめする番組を抽出します。

- 録画時の操作
- ダビング時の操作
- 録画した映像の視聴状況

x-おまかせ・まる録の準備をする

手順1 x-おまかせ・まる録機能を「入」にする

x-おまかせ・まる録機能を「入」にする方法は2通りあります。

方法1

「ビデオの設定」の「おまかせ・まる録最大録画時間」を「録画しない」以外に設定します。
「おまかせ・まる録最大録画時間」は130ページをご覧ください。

方法2

かんたん設定の「準備７　かんたん設定をする」でx-おまかせ・まる録機能を「入」にします。
かんたん設定について詳細は、「準備７　かんたん設定をする」（16ページ）をご覧ください。かんたん設定で設定できるキーワードは、本機にあらかじめ登録されているキーワードの一部です。その他のキーワードを設定したいときは、x-おまかせ・まる録の準備が終わったあとに、設定したいキーワードを登録してください。詳しくは「自動録画用キーワードを新たに作成する」（69ページ）をご覧ください。

▼

手順2 録画した映像の自動消去設定をする

x-おまかせ・まる録を「入」にすると、映像がハードディスクに自動的に保存されます。ハードディスクがいっぱいになったときは、映像の自動消去設定に従って本機が自動的に映像を消去します。消去したくない映像は、プロテクトをかけてください。

もうすぐ自動消去される予定のタイトルには マークが表示されます。

映像の自動消去方法には2種類ありますので、自動消去方法を選んでください。
自動消去対象タイトルを「すべて」に設定しているときには、手動で録画した映像も消去していきます。ご注意ください。
自動消去設定について詳しくは「録画した映像の自動消去方法を設定する」（130ページ）をご覧ください。
自動消去の対象にしたくないタイトルはプロテクトをかけて保護してください。x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルも、手動で録画したタイトルも、プロテクトをかければ自動消去されません。

▼

手順3 自動的に録画するための条件を設定する

（ビデオ）の （x-おまかせ・まる録）でキーワードと録画モードを設定します。

- キーワードは最大10個まで登録することができます。
- x-おまかせ・まる録機能には、常にスポーツ延長対応機能が働きます。

▼

自動録画開始！

x-おまかせ・まる録の設定について

キーワード登録以外にも、以下のような設定があります。

自動録画の最大録画時間設定

x-おまかせ・まる録で一日に録画できる最大時間を設定します。

x-おまかせ・まる録対象チャンネル設定

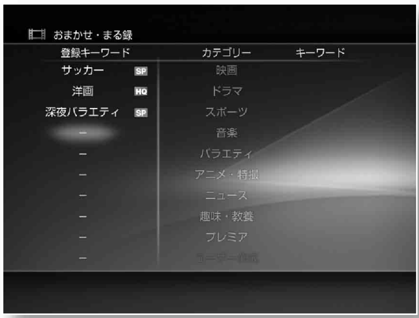
x-おまかせ・まる録の対象となるチャンネルを設定します。「しない」を選ぶと、このチャンネルはx-おまかせ・まる録による録画対象外となります。
これらの操作について詳しくは「ビデオの設定をする」（130ページ）をご覧ください。

自動的に録画するための条件を設定する

Step1

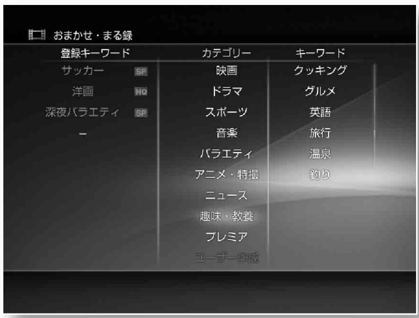
↑↓←→でホームメニューの（ビデオ）から（x-おまかせ・まる録）を選び 決定 を押す。
x-おまかせ・まる録のキーワード登録画面が表示されます。

Step2



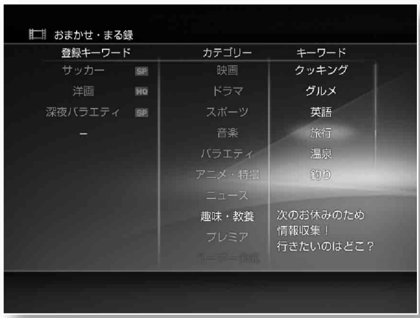
↑↓で「登録キーワード欄」の空欄を選び 決定 を押す。

Step3



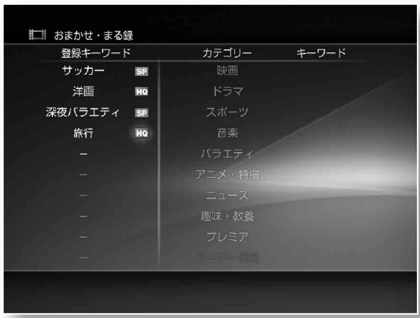
↑↓で「カテゴリー欄」から登録したいキーワードのカテゴリーを選び 決定 を押す。
ここでユーザー作成を選ぶと、自分で作成したキーワードを使うことができます。詳しくは、「自動録画用キーワードを新たに作成する」(69ページ)をご覧ください。

Step4



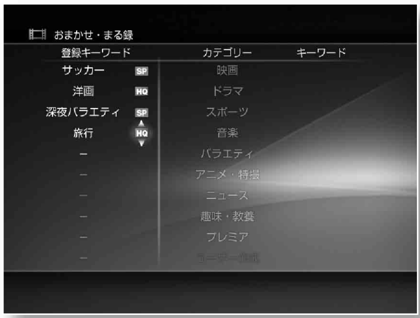
↑↓で「キーワード欄」から、設定したいキーワードを選び 決定 を押す。

Step5



→で「録画モード欄」を選び 決定 を押す。
選択しているキーワードで番組を録画するときの録画モードを設定します。

Step6



↑↓で録画モードを選び 決定 を押す。

Step7

⊗ を押す。

登録したキーワードをもとに、本機が自動的に録画予約候補を作成します。

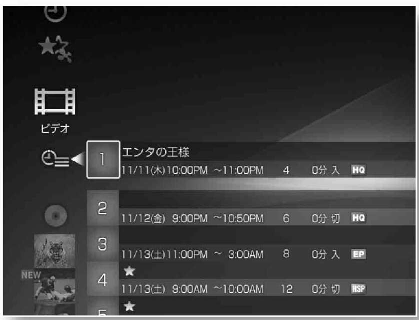
キーワード一覧

カテゴリー	キーワード
映画	映画 洋画 邦画
ドラマ	ドラマ 夜の連続ドラマ 昼の連続ドラマ 海外ドラマ 時代劇 サスペンス スペシャルドラマ ドラマ新番組
スポーツ	野球 大リーグ サッカー ゴルフ テニス 競馬 マラソン・駅伝 バレーボール モーター スポーツ 格闘技 バスケットボール ラグビー
音楽	音楽 ランキング音楽 J-POP 洋楽 クラシック 演歌・歌謡曲

カテゴリー	キーワード
バラエティ	バラエティ お笑い 深夜バラエティ 超常現象 密着レポート 芸能情報
アニメ・特撮	アニメ こどもアニメ 深夜アニメ 特撮・怪獣
ニュース	夜のニュース 朝のニュース 二ヵ国語 ニュース スポーツ ニュース 政治・経済
趣味・教養	クッキング グルメ 英語 旅行 温泉 釣り 幼児・キッズ インテリア・園芸 芸術 健康・医療 ドキュメンタリー
プレミア	ビッグイベント ビジネスマン必見 流行スタイル 名作ミニ番組 夢をつかめ

x-おまかせ・まる録で録画する番組を確認するには

（ビデオ）の（予約候補リスト）を選ぶと、予約候補のリストが表示されます。



x-おまかせ・まる録の設定でリストに掲載された番組には ☆ マークがつきます。

x-おまかせ・まる録がおすすめする番組を確実に録画する

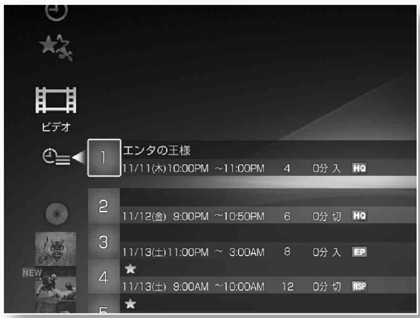
x-おまかせ・まる録で設定した録画予約を確定することができます。

手動予約を設定したときに録画時間が重なった場合など、x-おまかせ・まる録で設定した録画予約がキャンセルされることがあります。

x-おまかせ・まる録がおすすめする番組を確実に録画したいときは、以下の操作で録画予約を確定してください。

Step1 ↑↓←→でホームメニューの（ビデオ）から（予約候補リスト）を選び（決定）を押す。

Step2



☆ マークがついた予約候補の中から、↑↓で確定したい番組を選び（決定）を押す。

予約候補の並び順を[おまかせ予約]にすると選びやすくなります。詳しくは「予約候補リストの並び順を変更したいときは」（63ページ）をご覧ください。

Step3 **↑↓で[予約確定]を選び（決定）を押す。**

予約が確定されます。

登録キーワードを修正・削除する

Step1 **「登録キーワード欄」から修正または削除したいキーワードを選び △ を押す。**

Step2 **[修正]または[削除]を選び（決定）を押す。**

このときに[すべて削除]を選ぶと、登録キーワードがすべて削除されます。

自動録画用キーワードを新たに作成する

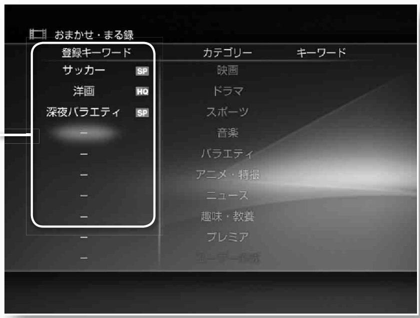
新しく作成するキーワードには、複数の語句を組み合わせたり条件を設定することができます。
ここで設定した項目(条件)をすべて満たす番組だけが録画されます。
新しいキーワードは最大10個まで作成することができます。
ビデオ設定画面のおまかせ･まる録最大録画時間が「多め」、「普通」、または「少なめ」になっていることを確認してください。「しない」の設定になっていると、おまかせ･まる録機能が働きません。

Step1

↑↓←→でホームメニューの（ビデオ）から（x-おまかせ･まる録）を選び 決定 を押す。

Step2

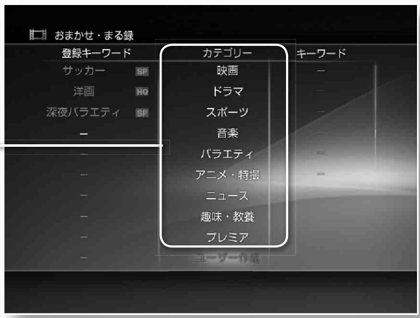
登録キーワード欄



↑↓で「登録キーワード欄」の空欄を選び 決定 を押す。

Step3

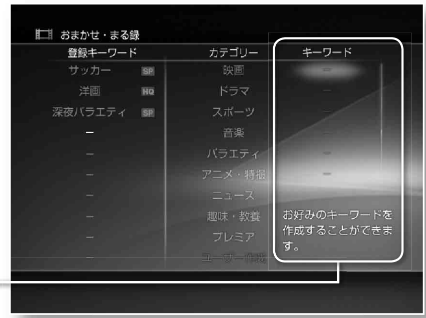
カテゴリー欄



↑↓で「カテゴリー欄」から「ユーザー作成」を選び 決定 を押す。

Step4

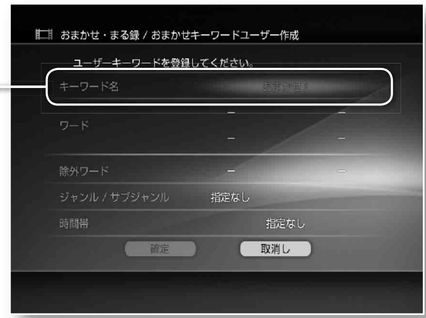
キーワード欄



↑↓で「キーワード欄」の空欄を選び 決定 を押す。
x-おまかせ･まる録のキーワードユーザー作成画面が表示されます。

Step5

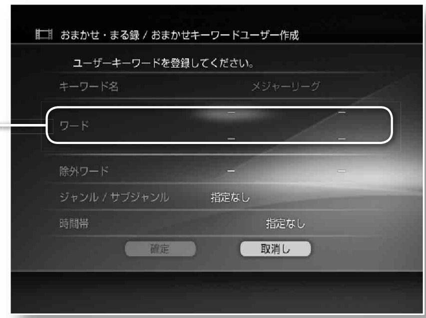
キーワード名欄



↑↓で「キーワード名欄」を選び 決定 を押す。
画面上にキーボードが表示されるので、キーワード名を入力してください。

Step6

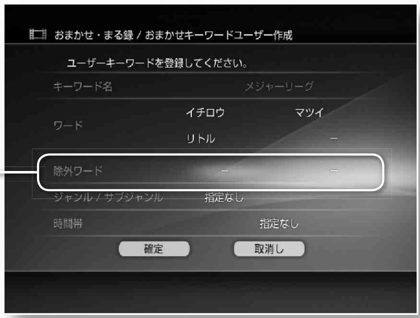
ワード欄



↑↓←→で「ワード欄」を選び 決定 を押す。
画面上にキーボードが表示されるので、語句を入力してください。
設定したワード(最大4個)のいずれかに関連する番組が対象となります。
半角の文字を設定すると、x-おまかせ･まる録機能が働かない場合があります。全角の文字で登録してください。

Step7

除外ワード欄



↑↓←→で「除外ワード欄」を選び 決定 を押す。

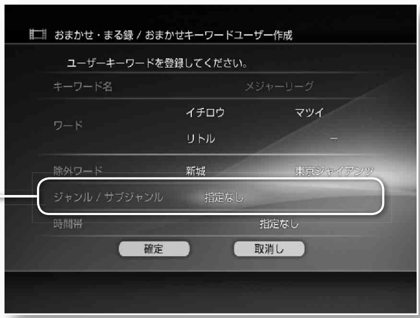
画面上にキーボードが表示されるので、除外したい語句を入力してください。

設定した除外ワード（最大2個）のいずれかに関連する番組は対象外となります。

半角の文字を設定すると、x-おまかせ·まる録機能が働かない場合があります。全角の文字で登録してください。

Step8

ジャンル/
サブジャンル欄

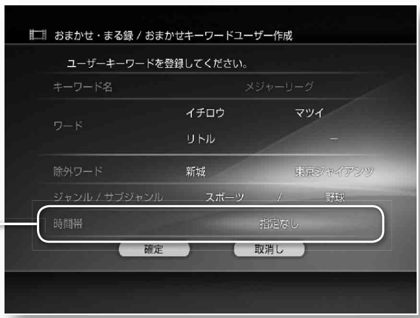


↑↓で「ジャンル/サブジャンル欄」を選び 決定 を押す。

↑↓でジャンルを選ぶことができます。→を押すと、サブジャンルの選択になります。↑↓で選んで、決定 を押してください。

Step9

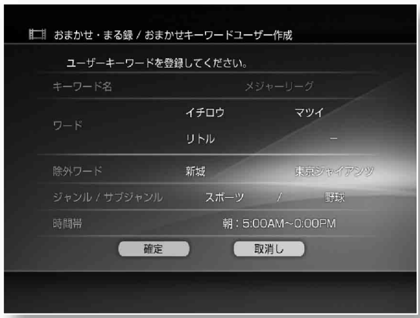
時間帯欄



↑↓で「時間帯欄」を選び 決定 を押す。

録画したい時間帯を指定してください。

Step10



↑↓で［確定］を選び 決定 を押す。

作成したキーワードを削除するには

1. **↑↓←→でホームメニューの （ビデオ）から （x-おまかせ·まる録）を選び 決定 を押す。**
2. **↑↓で「登録キーワード欄」から削除したいキーワードを選び 決定 を押す。**
3. **↑↓で「カテゴリー欄」からユーザー作成を選び 決定 を押す。**
4. **↑↓で「キーワード欄」から削除したいキーワードを選び 決定 を押す。**
   x-おまかせ·まる録のキーワード登録画面が表示されます。
5. **↑↓で［削除］を選び 決定 を押す。**

作成したキーワードを修正するには

1. **↑↓←→でホームメニューの （ビデオ）から （x-おまかせ·まる録）を選び 決定 を押す。**
2. **↑↓で「登録キーワード欄」から修正したいキーワードを選び 決定 を押す。**
3. **↑↓で「カテゴリー欄」からユーザー作成を選び 決定 を押す。**
4. **↑↓で「キーワード欄」から修正したいキーワードを選び 決定 を押す。**
   x-おまかせ·まる録のキーワード登録画面が表示されます。
5. **項目を修正し、［確定］を選び 決定 を押す。**

キーワードを確認するには

自動録画されるきっかけとなったキーワードを以下の方法で確認することができます。

1. **ホームメニューの （ビデオ）から録画された番組を選び △ を押す。**
2. **↑↓で［情報］を選び 決定 を押す。**
   情報画面が表示されます。“おまかせキーワード”の欄に自動録画のきっかけとなったキーワードが表示されます。

編集する

ご注意はP90へ

映像を一時停止して編集する

再生したくない場面を静止画で確認しながら設定することができます。
編集を行うタイトルは、プロテクトを設定しておくと、自動消去機能で削除されることがありません。

Step1

↑↓←→でホームメニューの（ビデオ）からハードディスクに保存されている映像を選び を押す。
オプション画面が表示されます。

Step2

↑↓で［編集］を選び を押す。
編集画面が表示されます。

Step3

←→で再生したくない場面の最初の画像を選び を押す。
始点マークが再生バー上に固定されます。

Step4

←→で再生したくない場面の最後の画像を選び を押す。
終点マークが再生バー上に固定されます。
再生したくない場面が複数あるときは、Step3と4を繰り返してからStep5に進んでください。

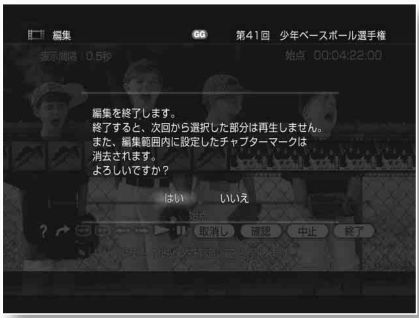
Step5

↑↓←→で［確認］を選び を押す。
映像が再生され、設定した内容を確認することができます。
正しく設定されていることを確認したら、［終了］を選び を押して、Step6に進んでください。

Step6

正しく再生されていることを確認したら、↑↓←→で［終了］を選び を押す。

Step7



←→で［はい］を選び 決定 を押す。

始点と終点の間の場面を飛ばして再生するようになります。

ビデオ

約15秒先（後ろ）の場面まで飛ばすには

○⇨（フラッシュ+）または ⇦○（フラッシュ−）を選び 決定 を押す。

表示間隔が変わると、○⇨ または ⇦○ を選んだときに飛ばせる時間も変わります。

表示間隔	フラッシュを押したときの飛ぶ場面の時間
0.5秒	15秒
15秒	150秒
6分	1時間

指定した時間の場面に移動するには

1 ↷（時間指定ジャンプ）を選び 決定 を押す。

2 ↑↓←→で時間を選び、決定 を押す。

直前の操作を取り消すには

⊗ を押す。

直前に設定した始点または終点が取り消されます。

設定した箇所の一部を取消したいときは

1 ↑↓←→で［取消し］を選び 決定 を押す。

2 ←→で取消したい設定箇所を選び 決定 を押す。

設定を中止して編集を終了するには

↑↓←→で［中止］を選ぶ。

画面上に表示する画像の表示間隔を変更するには

編集中に表示される画像の表示間隔を変更することができます。

1 編集画面表示中に ▢ を押す。

▢ を押すたびに以下の順で表示間隔が切り換わります。

→＜0.5秒＞ ➡ ＜15秒＞ ➡ ＜6分＞

2 ←→で目的の画像を選び 決定 を押す。

表示間隔が0.5秒に戻りますので、編集したい画面を選んでください。

映像を再生しながら編集する

映像を再生しながら、編集したい場面を設定します。

始点と終点の間の場面を飛ばして再生するように設定します。

Step1

↑↓←→でホームメニューの（ビデオ）からハードディスクに保存されている映像を選び △ を押す。

オプション画面が表示されます。

Step2

↑↓で［編集］を選び 決定 を押す。

編集画面が表示されます。

Step3

↑↓←→で▷（再生）を選び 決定 を押す。

Step4

再生バー

⬆で再生バーを選ぶ。

Step5

再生したくない場面の始点で (決定) を押す。
始点マークが再生バー上に固定されます。

Step6

再生したくない場面の終点で (決定) を押す。
終点マークが再生バー上に固定されます。
再生したくない場面が複数あるときは、Step5と6を繰り返してからStep7に進んでください。

Step7

⬆⬇⬅➡で［確認］を選び (決定) を押す。
映像が再生され、設定した内容を確認することができます。

Step8

正しく再生されていることを確認したら、⬆⬇⬅➡で［終了］を選び (決定) を押す。

Step9

⬆⬇⬅➡で［終了］を選び (決定) を押す。
始点と終点の間の場面を飛ばして再生するようになります。

直前の操作を取り消すには

ⓧ を押す。
直前に設定した始点または終点が取り消されます。

チャプターマークを設定する

本機で録画した映像にチャプターマークを加えることができます。チャプターマークを加えると、再生中に操作パネルの |◁◁ や ▷▷| のアイコンでチャプターマークを加えた場面まで飛ばしたり、戻したりすることができます。

Step1

⬆⬇⬅➡でホームメニューの (ビデオ)（ビデオ）からチャプターマークを加えたい映像を選び △ を押す。

ビデオ

Step2

⬆⬇で「編集」を選び (決定) を押す。
編集画面が表示されます。

Step3

チャプターマークを加えたい場面で (R3) を押す。
1つの映像に対して99個のチャプターマークを加えることができます。

Step4

チャプターマークの設定が終了したら、⬆⬇⬅➡で[終了]を選び (決定) を押す。

設定したチャプターマークを取り消すには

1 ⬆で再生バーを選ぶ。

2 L1またはR1で取り消したいチャプターマークを選択する。

3 R3を押す。
Step2で選んだチャプターマークが削除されます。
なお、L3を押すと表示されている場面の直前のチャプターが削除されます。

設定したチャプターマークをすべて取り消すには

1 ⬆⬇⬅➡でホームメニューの (ビデオ)（ビデオ）からチャプターマークを取り消したい映像を選び (△) を押す。

2 ⬆⬇で「編集取消し」を選び (決定) を押す。
「編集取消し」を選択すると、設定したチャプターマークと、飛ばし再生を設定した編集範囲がすべて取り消されます。

ビデオ

録画した映像を最適化する

ご注意はP90へ

映像のデータサイズを小さくしたり、編集で飛ばすように設定した場面を完全に削除することができます。
最適化を行うタイトルは、プロテクトを設定しておくと、自動消去機能で削除されることがありません。
なお、映像の最適化には時間がかかることがあります。その間は録画できません。

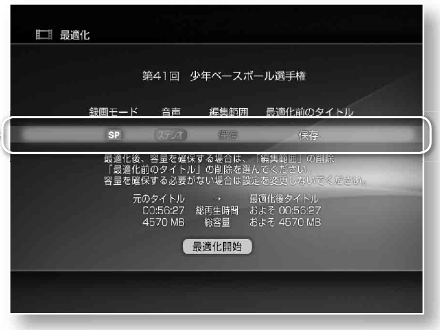
Step1

↑↓←→でホームメニューの（ビデオ）から映像を選び △ を押す。
オプション画面が表示されます。

Step2

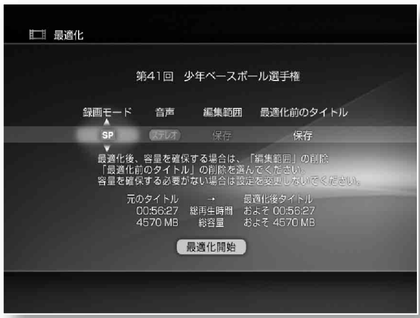
↑↓で［最適化］を選び 決定 を押す。
最適化画面が表示されます。

Step3



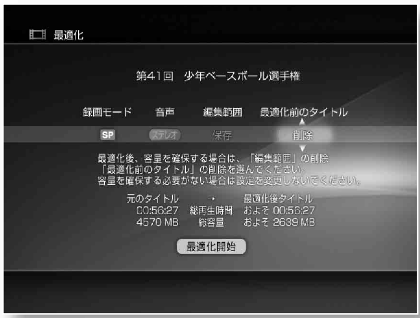
↑↓で「最適化設定欄」を選び 決定 を押す。

Step4



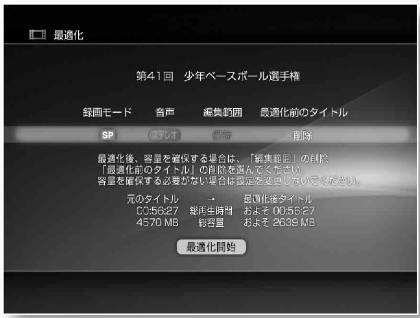
←→で設定する項目を選ぶ。

Step5



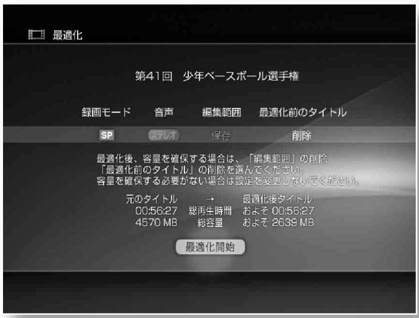
↑↓で選んだ項目を設定する。

Step6



すべての項目の設定が終了したら 決定 を押す。

Step7



↑↓で[最適化開始]を選び (決定) を押す。
最適化作業が始まります。

最適化中は映像の左上に Re-Rec マークが表示されます。

Step4で設定できる項目

項目名	説明
録画モード	最適化後の画質を設定します。画質を落とすと、データサイズは小さくなります。
音声	主＋副で録画された映像の音声を、DVD-RWのVideoモードやDVD-R、DVD+R、DVD+RWのディスクにダビングするときの音声記録方法を設定します。
編集範囲	編集で飛ばすように設定した箇所を、最適化時に完全に削除するかしないかを設定します。「保存」を選んだ場合でも、最適化後の映像に、編集やチャプターの設定は残りません。
最適化前の映像	最適化前の映像を残すか残さないかを設定します。 「1回だけ録画可能」なコピー制御信号を含んでいる映像を最適化するときは、[削除]を選択してください。

最適化を途中でやめたいときは

↑↓でオプションメニューの[最適化中止]を選び (決定) を押す。

DVDにダビングする

ご注意はP91へ

本機に録画した映像をDVDにダビングすることができます。ダビングを行う前に、目的に合ったDVDを用意してください。

DVDダビングを行う前に知っておきたいこと

本機でダビングできるディスクの種類について

本機でダビングできるディスクには、いくつかの種類があります。
本機でダビングできるディスクの種類について詳しくは、「ビデオで再生･ダビングできるディスク一覧」(88ページ)をご覧ください。

DVDに記録できる映像の長さについて

映像の録画モードにより、DVDにダビングできる映像の長さが異なります。

録画モード		長さ
HQ	高画質	1時間
HSP		1.5時間
SP（標準）		2時間
LP		3時間
EP		4時間
SLP		6時間

DVD-RWにVRモードでダビングするときは

DVD-RWにVRモードでダビングするときには、事前にプレイリストの設定を行う必要があります。詳しくは、「編集した映像をDVD-RWのVRモードにダビングするときのダビング方法を設定する」(128ページ)をご覧ください。

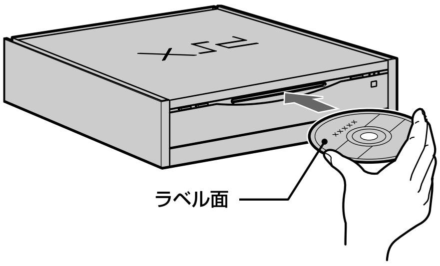
プレイリストとは

再生の順番など、映像を再生するための管理情報のことをプレイリストと呼びます。
プレイリストが記録されているDVD-RWのディスクのタイトルリストには、オリジナルの映像とプレイリストが表示されます。
プレイリストには、P LIST マークが表示されます。

オリジナルの映像を選ぶと、編集で再生しないように設定した箇所もそのまま再生します。
プレイリストを選ぶと、編集で再生しないように設定した箇所を飛ばして再生します。

手順1 ディスクの準備をする

Step1

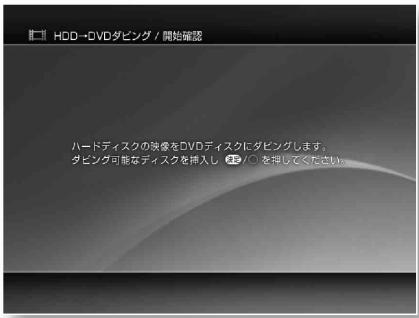


DVDディスクを本機に入れる。

Step2

⬆⬇で ➡◎（HDD→DVDダビング）を選び (決定) を押す。
ダビング開始確認画面が表示されます。

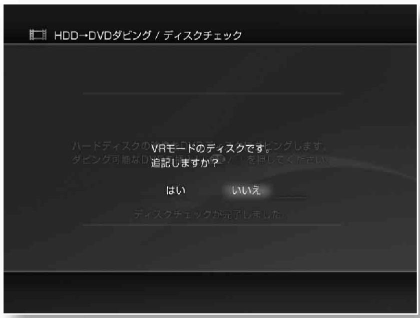
Step3



(決定) を押す。
初期化（フォーマット）開始画面が表示されます。

すでに映像が記録されているディスクに映像を追記したいときは

DVD-RWのVRモードやDVD+RWの+VRモードは、一度ダビングを行ったディスクに、映像を追加することができます。DVD-R、DVD+R、DVD-RW のVideoモードはダビング終了後自動的にファイナライズされるため、一度ダビングしたDVD-R、DVD+R、DVD-RWのビデオモードに追記することはできません。
Step3で (決定) を選ぶと、追記を実行するための画面が表示されます。



追記をしたいときは、ここで「はい」を選んでください。

「はい」を選ぶと「手順2　ダビングする映像（タイトル）を選ぶ」（78ページ）のStep5に進みます。
「いいえ」を選ぶと「手順1　ディスクの準備をする」のStep4に進みます。

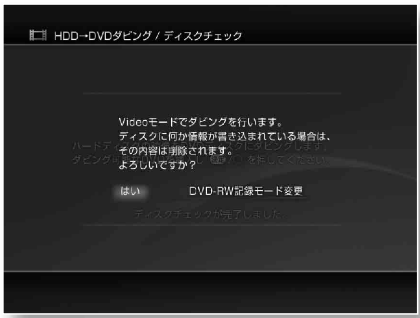
ダビングした映像の消去について

本機では、ダビングした映像の一部だけを消去することはできません。
映像を消去したいときはディスクを初期化してください。

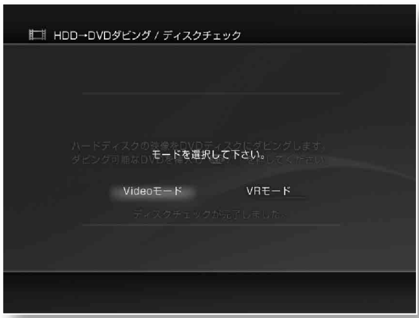
他機器を使って、ディスクに記録されている映像を消去することで発生した空きスペースについて

DVD-RW（VRモード）の場合、この空きスペースに映像を追記することができます。
DVD+RWの場合、この空きスペースは利用できません。

Step4



⬅➡で［はい］を選び (決定) を押す。
初期化されていないディスクが入っているときは、ここで初期化を開始します。
DVD-RWの場合、ここで「DVD-RW記録モード変更」を選ぶとモード選択画面が表示されます。



下記の一覧を参考に、利用目的にあった記録モードを選んでから「はい」を選んでください。

	Videoモード	VRモード
再生可能な機器	ほぼすべてのDVDプレーヤー	VRモード対応のDVDプレーヤーのみ
DVDメニュー	作成可能	作成不可
追記	不可能	可能
備考		プレイリスト作成可能

ディスクを初期化したいときは

「DVDを初期化する」(80ページ)をご覧ください。

手順2 ダビングする映像(タイトル)を選ぶ

Step5

↑↓でダビングしたい順番に映像を選び 決定 を押す。

選んだ順番にダビングされます。
画面右側に表示される円グラフで、ダビングするディスクの空き容量を確認しながら、映像を選んでください。
ディスクへの書き込み時に付加の必要な情報があります。そのため、ディスクの空き容量に余裕があっても容量が不足する場合があります。

順番を変更したいときは

1 **選んだ映像を↑↓でもう一度選び 決定 を押す。**
選択が解除されます。

2 **ダビングしたい順番に映像を選び直し 決定 を押す。**

Step6

録画モードの変更が終わったら、→を押す。

「1回だけ録画可能」の映像をDVDにダビングするときは

「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像はCPRM対応のDVD-RWのVRモードで記録することができます。「1回だけ録画可能」の映像はDVDへの記録が完了すると同時に、本機のハードディスクから映像が消去されます。

選んだ映像のサイズの合計がディスクの空き容量を超えてしまうときは

映像の録画モードを変更し、データサイズを小さくすることで、ディスクの空き容量にあわせてダビングすることができます。本機には映像の録画モードを自動的に変更する方法と、手動で録画モードを変更する方法の2種類があります。

自動で調整したいときは

Step5で映像を選んだあと、←→で[はい]を選び 決定 を押してください。本機が自動的に映像のサイズを変更します。

手動で調整したいときは

1 **Step5のときに↑↓でサイズを変更したい映像を選び △ を押す。**

2 **↑↓で[録画モード]を選び 決定 を押す。**

3 **↑↓で変更後の録画モードを選び 決定 を押す。**

変更前の録画モードより高画質な録画モードを選ぶことはできません。
録画モードは以下の表の順でサイズが小さくなります。

録画モード	サイズ	画質
HQ	大	高画質
HSP		
SP		
LP		
EP		
SLP	小	

録画モードが変更された映像は、以下の画面のように変更後の録画モードが表示されます。

録画モードを変更したくない映像があるときは

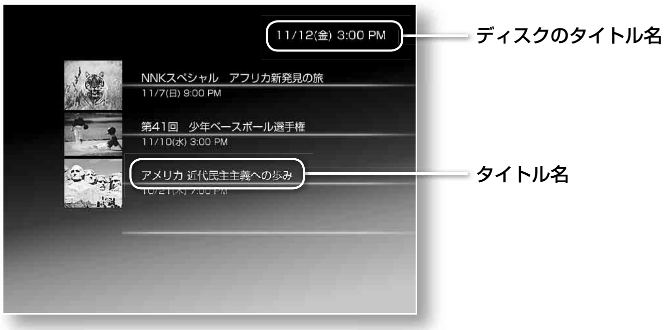
変更したくない映像を保護することで、自動的にタイトルのサイズを変更するときでも、保護をかけた映像はもとの録画モードのままダビングすることができます。

1 **Step5のときに↑↓でサイズを変更したい映像を選び △ を押す。**

2 **↑↓で［モード固定］を選び 決定 を押す。**
録画モードが保護され、変更後の録画モード表示のところに 🔒 マークがつきます。

手順3 DVDメニューのデザインを選ぶ

DVDメニューとはDVDを再生したときに最初に表示されるタイトル一覧です。
本機ではDVD-R、DVD-RW（Videoモード）、DVD+R、DVD+RWのディスクでダビングするときのみ作成できます。
DVD-RW（VRモード）を使用してダビングするときは、DVDメニュー作成画面が表示されません。「手順4 映像を書き込む順番を確認する」（80ページ）に進んでください。



Step7

↑↓で作成したいDVDメニューのデザインを選び 決定 を押す。

DVDメニューを作成したくないときは

DVDメニュー一覧の一番上に表示されている「メニューを作成しません」を選んでください。
DVDメニューにより、1ページに表示できるタイトル数が異なります。DVDメニューを拡大表示して、表示できるタイトル数を確認してください。タイトル数が1ページに収まらないときは、同じデザインのDVDメニューが自動的に追加され複数ページのDVDメニューとなります。

他機器で作成したDVD+RWに映像を追記するときのご注意

本機で映像を追記するときに、本機で選択したDVDメニューに置き換わります。
他機器で作成したDVDメニューは、本機で映像を追記したときに消えてしまいます。

DVDメニューのデザインを拡大して確認したいときは

Step7で確認したいデザインを選んでいるときに △ を押して、↑↓で［拡大表示］を選びます。

DVDメニュー上のディスクのタイトル名を変更したいときは

ディスクのタイトル名をDVDメニュー上に表示させることができます。初期設定はDVDメニュー上にDVDメニューを作成したときの時刻が表示されるように設定されています。

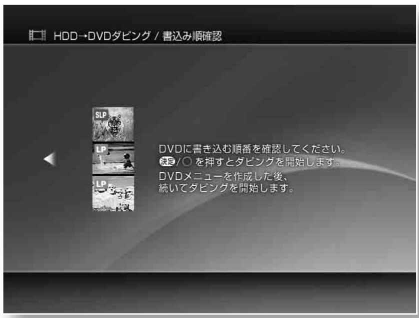
1 **Step7で確認したいデザインを選んでいるときに △ を押して、↑↓で［名前変更］を選ぶ。**

2 **文字入力画面が表示されるので、ディスクのタイトル名を入力する。**

手順4 映像を書き込む順番を確認する

映像は上から順番に書き込まれます。

Step8



映像の書き込む順番を確認して 決定 を押す。

映像の順番を変更したり、録画モードを変更したいときは

⬅を押して、Step5に戻ります。

手順5 DVDメニューを作成する

手順3で選んだデザインでDVDメニューを作成します。
DVDメニューの作成には、時間がかかることがあります。作成されるまでしばらくお待ちください。

手順6 DVDにダビングする

メニューの作成が終わると、自動的にダビングが始まり、最後にファイナライズ処理をします。
ダビング時に最適化作業が発生した場合は、ダビングに時間がかかることがあります。
最適化作業はダビング時に録画モードを変更したり、音声の記録方法を変更したときに発生します。

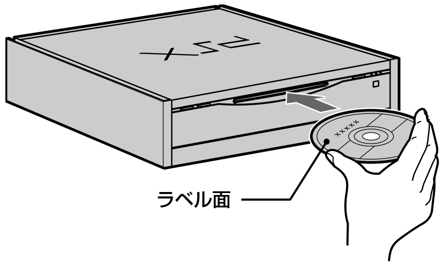
ダビング完了後に自動的に電源を切りたいときは

ダビング実行中の画面（DVDメニュー作成中画面も含みます）が表示されたことを確認したら、電源ボタンを押してください。ダビング終了後に自動的に電源が切れます。ダビング中は本体のDISC RECランプが点灯します。

DVDを初期化する

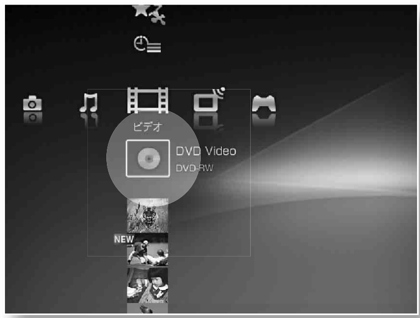
DVD-RW（VRモードとVideoモード）のディスクとDVD+RWのディスクを初期化することができます。

Step1



DVDディスクを本機に入れる。

Step2



⬆⬇で ◎（DVD）を選び △ を押す。

Step3

⬆⬇で［初期化］を選び 決定 を押す。
DVDの初期化が始まります。

Step4

決定 を押す。

DVD-RWの場合、ここで［DVD-RW記録モード変更］を選ぶとモード選択画面が表示されます。
下記の一覧を参考に、利用目的に合った記録モードを選んでから［はい］を選んでください。

	Videoモード	VRモード
再生可能な機器	ほぼすべてのDVDプレーヤー	VRモード対応のDVDプレーヤーのみ
DVDメニュー	作成可能	作成不可
追記	不可能	可能
備考		プレイリスト作成可能

“メモリースティック”にダビングする

ご注意はP91へ

本機に録画した映像を“メモリースティック”にダビングし、本機の映像形式に対応した端末で、録画した映像を見ることができます。
録画中のときでもダビングすることができます。また、ダビング中でも予約録画することができます。

“メモリースティック”にダビングするときの映像のファイル形式について

本機はメモリースティックビデオフォーマット*に準拠したMP4形式のMPEG-4ファイルで“メモリースティック”、“メモリースティック　デュオ”に映像を記録します。
本機を使って“メモリースティック　デュオ”に記録した映像は、“PSP”(PSP-1000)で再生することができます。
“メモリースティック”に記録されているMP4形式の映像を本機で再生することはできません。

* メモリースティックビデオフォーマットとは、テレビ放送やビデオカメラで撮影したパーソナルコンテンツなどを記録するためにメモリースティックで制定された映像のフォーマットです。

ダビングする前に知っておきたいこと

“メモリースティック”に記録できる映像の長さについて

映像の録画レート(録画モード)により、“メモリースティック”に録画できる映像の長さが異なります。

録画モード	解像度	録画時間*1	音声*2
768kbps	高	約30分	ステレオ
384kbps	低	約55分	ステレオ

※）メモリースティックへのダビングには、録画モード「768kbps」では約5倍、「384kbps」では約4倍の時間がかかります。
また、ダビング時間は本機でハードディスクに記録した録画モードや録画した映像等の条件によって異なります。

※）メモリースティックビデオフォーマットは高圧縮ビデオフォーマットです。ダビングした映像は、元の映像と画質が異なる場合があります。

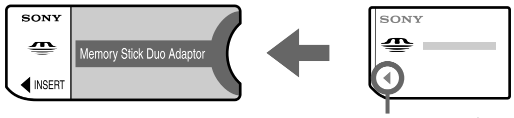
*1 256MBのメモリースティック1枚に録画できる時間です。
*2 音声はAACで記録します。

“メモリースティック”にダビングできる時間について

本機では、総再生時間が2時間までの映像をダビングすることができます。
2時間以上の映像は、総再生時間を2時間以内に編集してからダビングしてください。

“メモリースティック デュオ”に映像をダビングするときは

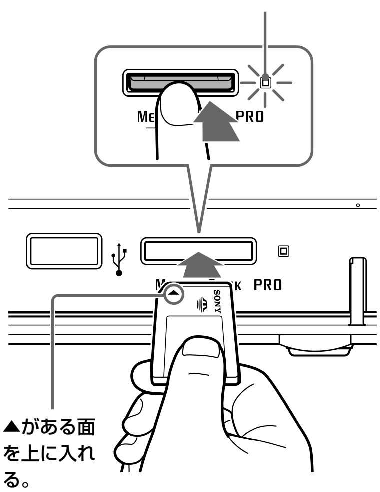
必ず“メモリースティック デュオ”にメモリースティック デュオ アダプターを取り付けてから、本機のMEMORY STICK挿入口に入れてください。



ビデオ

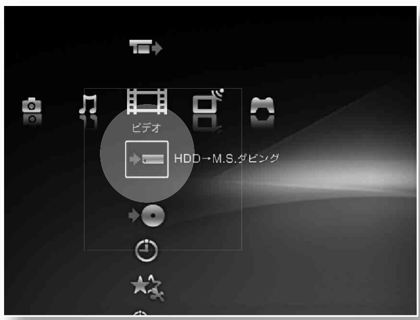
手順1 “メモリースティック”の準備をする

Step1



“メモリースティック”を本機に入れる。

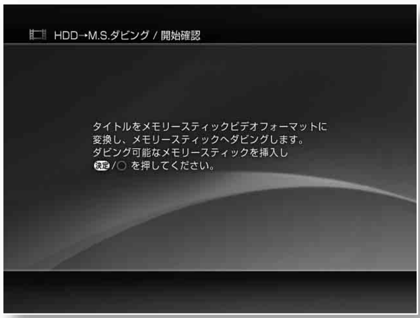
Step2



⬆⬇で (HDD→M.S.ダビング)を選び (決定) を押す。

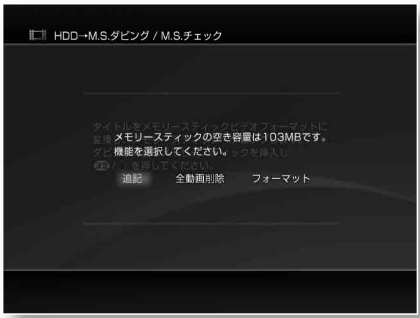
これ以降はダビングが終わるまで“メモリースティック”を抜かないでください。

Step3



(決定) を押す。
“メモリースティック”のチェックを行います。

Step4



←→で記録方法を選び (決定) を押す。
「追記」を選ぶと、“メモリースティック”に記録されているデータを消去せずに映像をダビングします。
「全動画削除」を選ぶと、“メモリースティック”のMP_ROOTフォルダ内に記録されている映像を全て消去してから、映像をダビングします。“メモリースティック”に記録されるフォルダやファイルの階層構造について詳しくは「MP4ファイルの保存場所について」(91ページ)をご覧ください。
「フォーマット」を選ぶと、“メモリースティック”をフォーマットしてから映像をダビングします。“メモリースティック”をフォーマットすると、“メモリースティック”に記録されていたデータが全て消去されますので、ご注意ください。

“メモリースティック”に記録されている映像の消去について

本機では、ダビングした映像の一部だけを消去することはできません。映像を消去したいときは、「全動画削除」で“メモリースティック”に記録されている映像とサムネイルを全て削除してください。

手順2 ダビングする映像(タイトル)を選ぶ

Step5

↑↓でダビングしたい順番に映像を選び (決定) を押す。
選んだ順番にダビングされます。
画面右側に表示される“メモリースティック”の画像で、ダビングする“メモリースティック”の空き容量を確認しながら、映像を選んでください。
録画中の映像を選択することはできません。

録画中の映像や「1回だけ録画可能」の映像を“メモリースティック”にダビングすることはできません。

順番を変更したいときは

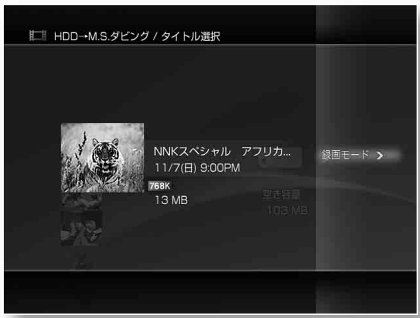
1 **選んだ映像を↑↓でもう一度選び (決定) を押す。**
選択が解除されます。

2 **ダビングしたい順番に映像を選び直し (決定) を押す。**

Step6

(△) を押す。
録画モードや音声を変更するオプション画面が表示されます。
録画モードは768kbps、音声は主音声が自動的に設定されます。
変更する必要がないときは、そのままStep9に進んでください。

Step7



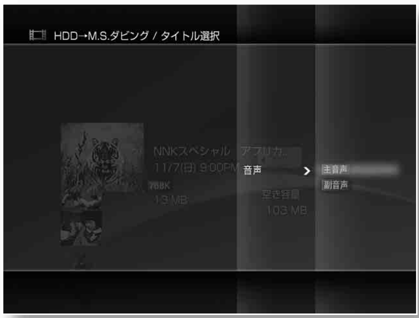
↑↓で変更したいオプションを選び (決定) を押す。

Step8

↑↓で変更後の設定を選び 決定 を押す。

主音声/副音声両方の音声が入っている映像をダビングするときは

ダビングする前の映像に、主/副両方の音声が入っているときは、以下の画面のようにどちらの音声を録音するか選択することができます。初期設定は、主音声を録音する設定になっています。



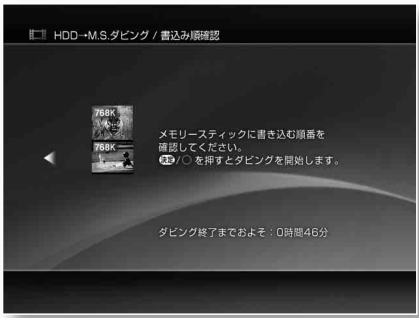
選んだ映像のサイズの合計が“メモリースティック”の空き容量を超えてしまうときは

映像の録画モードを変更し、データサイズを小さくすることで、“メモリースティック”の空き容量に合わせてダビングすることができます。

Step9

オプションの変更が終わったら、→を押す。

Step10



映像を書き込む順番を確認して 決定 を押す。
自動的にダビングが始まります。

DV端子につないだ機器の映像を本機に自動的にダビングする（おまかせDVダビング）（DESR-7700のみ）

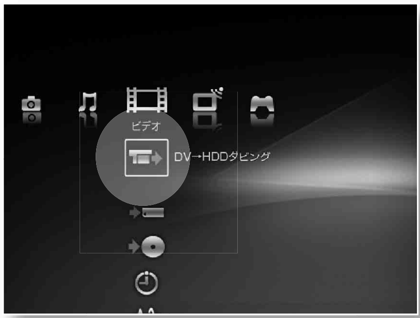
ご注意はP92へ

本機のDV IN端子に、DV/Digital8方式のデジタルビデオカメラレコーダーをつなぐと、テープの録画内容を本機のハードディスクにダビングすることができます。

Step1

DV IN端子にDV/Digital8方式のデジタルビデオカメラレコーダーを接続する。
接続方法については、「DV入力やUSB端子に接続する」（28ページ）をご覧ください。

Step2



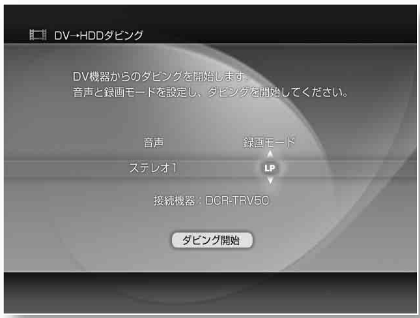
↑↓←→でホームメニューの（ビデオ）から（DV→HDDダビング）を選び 決定 を押す。
DV→HDDダビング設定画面が表示されます。

Step3

設定項目欄

↑↓で「設定項目欄」を選び 決定 を押す。

Step4



←→で項目を選び↑↓で設定を変更する。

Step5

項目の設定が終了したら (決定) を押す。

Step6

↑↓で［ダビング開始］を選び (決定) を押す。

本機が接続しているデジタルビデオカメラレコーダーの頭出しを自動的に行い、テープの先頭からダビングを開始します。

ダビングが始まると、ダビング中の映像が画面に表示されます。

ダビングが終了すると、本機がデジタルビデオカメラレコーダーのテープを自動的に巻き戻し、ダビングが完了します。

ダビングは以下のようなときに自動的に終了します。

- デジタルビデオカメラレコーダーからの信号が5分間連続して送られてこなかった場合
- テープが最後まで再生された場合
- テープの無記録部分を5分間再生した場合
- ハードディスクの残量が 0 になった場合
- 録画時間が 6時間 を超えた場合

ダビングした映像のタイトル名について

DV ダビングした映像には自動的にタイトル名が入ります。

タイトル名はDV＋撮影開始日時となります。

例）DV 2004/4/9 7:30PM

Step4で設定できる項目

項目名	説明
音声	ダビングする音声を選びます。 本機とデジタルビデオカメラレコーダーの設定が一致するようにしてください。 **ステレオ1**： デジタルビデオカメラレコーダーで撮影したときの音声をダビングします。 **ステレオ2**： デジタルビデオカメラレコーダーで撮影したあとに、編集などで追加した音声をダビングします。 MIX： ステレオ1とステレオ2の両方の音声をダビングします。
録画モード	ダビングするときの録画モードを選びます。 録画モードについて詳しくは、「録画モードについて」（56ページ）をご覧ください。

DVダビングでダビングした映像を再生する

(ビデオ)（ビデオ）からダビングした映像を選び (決定) を押す。

ビデオの機能一覧

は △ を押したときに表示されるオプション機能です。詳しくは87ページをご覧ください。

ビデオ

(決定)を押すと → (決定)を押すと

- **DV→HDDダビング** → **ダビング開始画面（83ページ）**
- **HDD→M.S.ダビング** → **ダビング開始画面（81ページ）**
- **HDD→DVDダビング** → **ダビング開始画面（77ページ）**
- **時間指定予約** → **予約設定画面（61ページ）**
- **x-おまかせ・まる録** → **x-おまかせ・まる録のキーワード登録画面（67ページ）**
- **予約候補リスト** → **1 予約候補**
  - △ オプション
    - 並び順変更
    - 予約修正/予約確定
    - 予約削除
  - → **予約設定画面（62ページ）**
- **DVD-R/+R** → **再生開始 または タイトルリスト**
  - △ オプション
    - 始めから再生
    - タイトルリスト*
- **DVD-RW/+RW** → **再生開始 または タイトルリスト**
  - △ オプション
    - 始めから再生
    - タイトルリスト*
    - 初期化
- **DVD-ROM** → **再生開始**
  - △ オプション
    - 始めから再生
- **ハードディスクの映像** → **再生開始**
  - △ オプション
    - 並び順変更
    - 再生
    - 始めから再生
    - チャプター表示
    - プロテクト（プロテクト解除）
    - 名前変更
    - 編集
    - 編集取消し
    - 最適化（最適化中止）
    - 削除
    - 情報

* 状況によってはオプションにタイトルリストが表示されないことがあります。

オプション機能の説明

オプション名	できること
再生	本機に保存されている映像を再生します。
始めから再生	DVDや、本機に保存されている映像を始めから再生します。
並び順変更	ハードディスクの映像の[並び順変更]では、本機に保存されている映像を並べ換えます。 [並び順変更]で決定を押すたびに以下のように並び順が切り換わります。 手動録画(手動録画を優先的に表示)→ おまかせ録画(おまかせ録画を優先的に表示)→ 日付(新しい順)→ 日付(古い順)→ 名前(昇順)→ 名前(降順)→ ジャンル別 → 未視聴(未視聴を優先的に表示)→ 手動録画 予約候補の並び順については「予約候補リストの並び順を変更したいときは」(63ページ)をご覧ください。
タイトルリスト	DVDに記録されている映像を一覧表示します。
チャプター表示	本機に保存されている映像のチャプターを一覧で表示します。 ※ サムネイル再生中、音声は出力されません。
プロテクト	本機に保存されている映像を保護し、映像の削除や編集ができないようにします。
プロテクト解除	映像の保護を解除し、削除や編集ができるようにします。
名前変更	本機に保存されている映像の名前を変更します。 [名前変更]を選んで決定を押すと画面上にキーボードが表示されるので、キーボードを使って名前を変更してください。 キーボードの使いかたについて詳しくは、「文字入力方法を確認する」(44ページ)をご覧ください。
編集	本機に保存されている映像を編集し、再生したくない場面を飛ばして再生することができます。 また、編集作業で映像にチャプターマークを加えることができます。 編集作業について詳しくは、「編集する」(71ページ)をご覧ください。
編集取消し	編集した映像を元に戻します。 編集の取消しについて詳しくは、「設定したチャプターマークをすべて取り消すには」(74ページ)をご覧ください。
最適化	録画した映像の録画モードを変更したり、編集で再生しないように設定した箇所を削除したりできます。 最適化について詳しくは、「録画した映像を最適化する」(75ページ)をご覧ください。
最適化中止	映像の最適化を途中で中止します。
削除	本機に保存されている映像を削除します。 ※ DVDに記録されている映像は削除できません。
初期化	DVD-RWやDVD+RWのディスクを初期化(フォーマット)します。 DVD-RWは初期化を開始する前に、VideoモードまたはVRモードを選ぶことができます。
情報	録画日時などの情報が表示されます。スポーツ延長対応や番組追跡録画の結果(成功·失敗)を確認することもできます。
予約修正	録画予約の内容を確認したり、変更したりできます。 詳しくは「予約内容を変更する·取り消す」(62ページ)をご覧ください。
予約確定	x-おまかせ·まる録が設定した録画予約の内容を確定することができます。 詳しくは「x-おまかせ·まる録がおすすめする番組を確実に録画する」(68ページ)をご覧ください。
予約削除	録画予約を削除することができます。 詳しくは「予約内容を変更する·取り消す」(62ページ)をご覧ください。

ビデオで再生・ダビングできるディスク一覧

ご注意はP92へ

再生できるディスクについて

本機では、さまざまな種類のディスクを利用することができます。本機の機能によって、利用できるディスクが異なります。

ディスクの種類	ディスク名称	DVD-ROM	DVD-R	DVD-RW		DVD+R	DVD+R DL	DVD+RW
	ロゴ	DVD ROM	DVD R R4.7	DVD RW		RW DVD+R	RW DVD+R DL	RW DVD+ReWritable
	モード	−	Videoモード	Videoモード	VRモード	+VRモード	+VRモード	+VRモード
	本機での表示	DVD Video	DVD Video	DVD Video	DVD-VR	DVD+VR	DVD+VR	DVD+VR

ダビングできるディスクについて

ディスクのパッケージに「ビデオ用」または「for Video」と記載のあるディスクを利用してください。

ディスクの種類	ディスク名称	DVD-R	DVD-RW		DVD+R	DVD+RW	
	ロゴ	DVD R R4.7	DVD RW		RW DVD+R	RW DVD+ReWritable	
	モード	Videoモード	Videoモード	VRモード	+VRモード	+VRモード	
	本機での表示	DVD Video	DVD Video	DVD-VR	DVD+VR	DVD+VR	
対応しているディスクのバージョン		Ver2.0、Ver2.0/4倍速、Ver2.0/8倍速	Ver1.1、Ver1.1 CPRM対応、Ver1.1/2倍速CPRM対応、Ver1.2/4倍速CPRM対応		8倍速ディスクまで対応	4倍速ディスクまで対応	
最長録画時間		約6時間					
他機との互換性		○	○	△	△	△	
		DVDプレーヤーで再生可能	DVDプレーヤーで再生可能	VRモード対応の機器でのみ再生可能	+R対応の機器でのみ再生可能	+RW対応の機器でのみ再生可能	
ダビング可能な回数		1回のみ	くり返し可能		1回のみ	くり返し可能	
ダビング後の追記		×	×	○	×	○	詳しくは77ページ
DVDメニュー作成		○	○	×	○	○	詳しくは79ページ
プレイリスト作成		×	×	○	×	×	詳しくは76ページ
二ヵ国語放送のダビング	主音声のみ	○*2	○*2	○*2	○*2	○*2	詳しくは129ページ
	副音声のみ	○*2	○*2	○*2	○*2	○*2	
	主音声＋副音声	△*1	△*1	◎*3	△*1	△*1	

*1「DVD二カ国語記録音声」の設定で選択した音声で記録されます。

*2 録画時に設定したHDD二カ国語記録音声の音声のみダビングされます。

*3 主音声/副音声両方がダビングされ、再生時に主音声/副音声の切り換えができます。

「ビデオを楽しむ」に関するご注意

「録画した映像やDVDビデオを再生する」のご注意

- ディスクに含まれている再生の設定は、本機の設定画面の設定より優先され、設定しても機能が働かないことがあります。
- DVD-R/-RW/+R/+RWを再生するときは、インターレース方式のみの映像出力となります。

前回停止した場面から再生するときのご注意

- DVDの場合は、以下のときのみ前回停止した場面から再生することができます。
  - 再生中に、SELECTやホームボタンでホームメニューを表示したとき
  - 他の映像や音楽、写真などを何も再生していないとき

DVDのDTS音声再生時のご注意

- DTS音声信号は光デジタル音声出力端子から出力します。
- DTSの音声信号は、アナログ音声出力から出力することができません。

二カ国語放送の録画映像の音声を光デジタル出力で聞くときのご注意

[DVDの設定]の「ドルビーデジタル」が「入」のときは、以下の映像の音声を切り換えることができません。

- HQ以外の録画モードで録画した録画映像
- HQ以外の録画モードで録画した録画映像をダビングしたDVD

音声つきで早送り（1.3倍速早見再生）するときのご注意

- 市販のDVDビデオ（DVD-ROM）で早見再生を利用することはできません。
- HQ以外の録画モードで録画した映像や、その映像をダビングしたDVDは早見再生を行ったときに、ドルビーデジタルを「入」に設定しても本機の光デジタル出力から音声を出力することができません。HQの録画モードで録画した映像はドルビーデジタルの設定にかかわらず、本機の光デジタル出力から音声が出力されます。

「録画する」のご注意

「番組表から録画する」のご注意

- 16：9映像は4：3で録画されます。
- 録画中または録画一時停止中に録画モードを変えることはできません。
- 録画中に電源コードを抜いた場合、録画中の番組は消去されることがあります。
- 同じ時間に重複して予約を設定することはできません。
- 手動予約では30件まで予約することができます。
- 録画中は本機のチャンネルを切り換えることができません。テレビと本機を同軸ケーブルでつなぐと、録画中もテレビのチャンネルは切り換えることができます。接続方法は、10、11ページをご覧ください。
- 予約録画中は、スポーツ延長以外の延長設定のみ変更できます。

「今見ているテレビ番組を録画する」のご注意

- 16：9映像は4：3で録画されます。
- 本機の外部入力端子からのデジタル衛星放送を録画するには、デジタルチューナーの電源を入れ、録画したい番組を選びます。録画が終わるまでチューナの電源を切ったり、チャンネルを切り換えたりしないでください。
- 本機は最長6時間まで連続して録画することができます。
  録画を開始してから6時間たつと録画が自動的に停止します。
- 録画中にリモコンや本機の電源ボタンで電源を切っても、録画は停止しません（ただし、DVを録画中の場合は録画が停止されます）。
- 操作パネルやリモコンの「録画」「録画一時停止」「録画停止」は、テレビ番組を見ているときのみ働きます。ビデオや音楽、写真などを見ているときや本機の電源が切れているときには働きません。
- 録画中はチャンネルを切り換えることができません。テレビと本機を同軸ケーブルでつなぐと、録画中もテレビのチャンネルは切り換えることができます。接続方法は、10、11ページをご覧ください。
- 録画中に、予約録画の開始時刻を過ぎた場合、録画を停止するまで次の予約録画は開始されません。

「外部入力を使って外部機器の二カ国語放送を録画する」のご注意

「外部入力音声設定」を「ステレオ」にすると、再生時に音声を切り換えることができません。

「録画を予約する」のご注意

「番組表で予約をする」のご注意

- ダビングや最適化、x-Pict Storyを作成しているときは、予約録画を実行できません（HDD→M.S.ダビング時は除く）。これらの処理を行う前に、予約候補リストで、予約録画が処理中に始まらないことを確認してください。
- 予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは、終了時間の数十秒前までしか録画されません。

- 録画するタイトル名を変更すると予約修正時の画面には変更されたタイトル名が表示されます。変更した場合、番組追跡録画の機能に影響をすることがあります。オプションで「番組追跡」を選択した場合はご注意ください。

「日時を指定して予約をする」のご注意

- 時刻設定が間違っていると、希望の日時に録画予約されません。
- 本機では1か月先の番組まで予約することができます。
- ダビングや最適化、x-Pict Storyを作成しているときは、予約録画を実行できません(HDD→M.S.ダビング時は除く)。これらの処理を行う前に、予約候補リストで、予約録画が処理中に始まらないことを確認してください。
- 予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは、終了時刻の数十秒前までしか録画されません。

「スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する(スポーツ延長対応)」のご注意

- 開始時間、終了時間を変更後、オプション設定を変更すると設定が戻ります。オプション設定後に、開始時間、終了時間を変更してください。
- 録画予約開始直前の変更の場合、スポーツ延長対応を反映できないことがあります。
- ハードディスクの空き容量が少ないときは、スポーツ延長対応の機能が働かない場合があります。
- 予約録画中は、スポーツ延長対応の解除はできません。
- スポーツ延長機能は、自動録画機能で録画されたタイトルにも対応していますが、スポーツ成功 は表示されません。

「放送時刻の変更に合わせて録画時間を修正する(番組追跡録画)」のご注意

- 番組追跡録画設定されている場合には、開始時間、終了時間の変更はできません。
- 開始時間、終了時間を変更後、オプション設定を変更すると設定が戻ります。
- 録画中のタイトルは延長設定のみ変更できます。
- 録画予約開始直前の変更の場合、番組追跡録画を反映できないことがあります。
- ハードディスクの空き容量が少ないときは、番組追跡録画の機能が働かない場合があります。
- 番組追跡録画により録画時刻が変更されても、変更前の録画時間帯に他の録画予約を設定することはできません。

「自動的に録画する(x-おまかせ・まる録)」のご注意

- 手動で設定した録画予約と、x-おまかせ・まる録で設定した録画予約とでは、必ず手動で設定した録画予約が優先されます。
- 録画開始5分前を切ると、その予約に対して登録キーワードの変更が反映されません。
- x-おまかせ・まる録で録画したタイトルは、プロテクトをしない限り自動消去対象になります。また、最適化後のタイトルも自動消去対象になります。

「編集する」のご注意

「一時停止して編集する」のご注意

一時停止したときに表示される映像は、約0.5秒間隔で表示されるよう設定されています。飛ばしたはずの場面が多少再生されてしまう場合があります。

「録画した映像を最適化する」のご注意

- 録画モードがEPやSLPなどの映像を最適化すると、映像の冒頭の音が欠けることがあります。
- 「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれる番組の映像を、「最適化前のタイトルを保存」を選択して最適化した場合、コピー制御信号が含まれる場面は青色の画像で記録され音声は記録されません。
- 最適化を行った映像には自動でプロテクトはかかりません。
- 編集で設定したチャプターの情報は、最適化を行った映像に反映されません。
- 映像の最適化には時間がかかることがあります。最適化中に録画/予約録画は行えません。
- 最適化中、ATRAC*3形式の音楽を再生しているときに、CD、“メモリースティック”、デジタルカメラを抜き挿しすると音飛びすることがあります。

* ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品。

- 録画タイトル数が多い(300タイトル以上)場合、最適化中にATRAC3形式の音楽を再生すると音飛びすることがあります。
- 最適化中は、以下の操作や機能が働きません。
  - 録画/予約録画
  - 写真の取り込み
  - 音楽の取り込み
  - ダビング
  - x-Pict Storyのビデオ作成
  - 設定の変更
- 最適化中に映像の再生を行うと、再生中の画像や音声が途切れることがあります。このような場合でも、最適化は正常に行われます。
- 最適化を行うと、最適化後の映像の先頭の画像がサムネイルとして登録されます。

「DVDにダビングする」のご注意

- DVD機器によっては、正しくファイナライズしても再生できないことがあります。
- 他のDVD機器で録画したディスクを本機でファイナライズすることはできません。
- ダビング中は、録画予約や録画はできません。
- DVD-R、DVD-RWのVideoモードやDVD+R、DVD+RWの+VRモードの場合、編集結果が反映された状態でダビングされます。

  DVD-RWのVRモードでダビングした場合、編集結果の反映はビデオの設定の「VR モードプレイリスト設定」によって異なります。
- ハードディスクの空き容量が少ないときは、DVDメニューを作成できなかったり、最適化が必要な場合にダビングができないことがあります。
- 編集で設定したチャプターの情報は、ダビング時に最適化を行った映像に反映されません。
- 録画モードがSLPの映像を、DVD+R、DVD+RWの+VRモードでダビングするときは、本機が自動的に録画モードを+VRモード用のSLPに変更します。
- 地上･BS･110度CSデジタル放送のほとんどの番組はコピー制御信号が含まれております。「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれる番組はCPRM対応のDVD-RWのVRモードでダビングすることができます。「1回だけ録画可能」の番組はDVDへの記録が完了すると同時に、本機のハードディスクから消去されます。
- 本機で、他のDVD機器で録画したDVD+RWに映像を追記する場合、本機で選択したDVDメニューに置き換わります。他のDVD機器で作成したDVDメニューは、本機で映像を追記したときに消えてしまいます。
- 他のDVD機器で映像をすべて削除したVRモードや+VRモードのディスクに追記したいときは、本機で一度初期化をしてから追記してください。
- ディスクの品質によってはダビング時間が長くなることがあります。

二カ国語放送の録画映像をダビングするときのご注意

主音声/副音声両方の音声が記録されている録画映像は、DVD-RWのVRモードでのみダビングすることができます。詳しくは以下の表をご覧ください。

録画時のHDD二カ国語記録音声の設定	ダビング可能なDVDディスクと記録モード				
	DVD-R（Videoモード）	DVD-RW		DVD+R（+VRモード）	DVD+RW（+VRモード）
		Videoモード	VRモード		
主音声	○	○	○	○	○
副音声	○	○	○	○	○
主+副音声	△	△	◎	△	△

△「DVD二カ国語記録音声」の設定で選択した音声で記録されます

○録画時に設定したHDD二カ国語記録音声の音声のみダビングされます

◎主音声/副音声両方がダビングされ、再生時に主音声/副音声の切り換えができます

ご注意

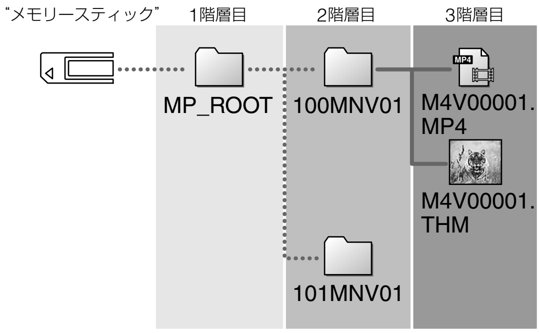
外部入力機器で放送されている二カ国語放送を録画するときは、あらかじめ本機の外部入力音声の設定を「二重音声」に設定してください。外部入力音声の設定を「ステレオ」のまま録画すると、HDD二カ国語記録音声の設定で「主+副音声」に設定しても、再生時に主音声/副音声の切り換えができなくなります。

「“メモリースティック”にダビングする」のご注意

- 最適化中の映像はダビングできません。
- 録画中の映像はダビングできません。
- ［全動画削除］で削除できる映像は、メモリースティックビデオフォーマットに準拠したファイルのみです。
- 編集したあとの総再生時間が2時間以上の映像は、ダビングできません。
- 選択した映像の総再生時間の合計が2時間以上場合、ダビングすることができません。
- 15以上の映像を選択してダビングすることはできません。
- 本機以外でフォーマットされた“メモリースティック”は正しく動作しないことがあります。

MP4ファイルの保存場所について

以下の図のように、本機で“メモリースティック”にダビングしたMP4ファイルは、“メモリースティック”直下(ルート)から3階層目に保存されます。



- 1階層目には必ず「MP_ROOT」というフォルダが作成され、このフォルダの中に、映像を保存するためのフォルダが作成されます。
- 2階層目の映像を保存するためのフォルダの中に、MP4形式の映像ファイルと、再生機器上で表示するサムネイルファイルが保存されます。映像ファイルは「MP4」、サムネイルは「THM」という拡張子が付きます。

ビデオ

「DV端子につないだ機器の映像を本機に自動的にダビングする（おまかせDVダビング）」のご注意

- デジタルビデオカメラレコーダーの音声設定と本機のDV音声入力設定が異なる場合、デジタルビデオカメラレコーダーの音声が無音状態になります。
- 録画禁止の映像が含まれているテープをダビングした場合は、録画禁止部分は青画面でダビングされます。
- DVダビングした映像はプロテクトがかかります。
- 本機はDV/Digital8方式のデジタルビデオカメラレコーダーにのみ対応しています。MICRO MV方式のデジタルビデオカメラレコーダーには対応していませんので、ご注意ください。
- 2台以上のデジタルビデオカメラレコーダーを接続することはできません。
- デジタルビデオカメラによっては、デジタルビデオカメラレコーダーを本機で操作できないことがあります。

  このようなときは外部入力に接続してください。外部入力の接続について詳しくは、「外部機器をつなぐ」（28ページ）をご覧ください。
- つないだ機器から本機を操作することは、同じ機種であってもできません。
- 日付や時間、カセットメモリーの内容などをディスクにダビングすることはできません。
- 複数のサンプリング周波数（48kHzや44.1kHz、32kHz）で記録された音声トラックのあるDV/Digital8方式のテープからダビングする場合、再生中、サンプリング周波数が切り換わる場所で、数秒間音声が出ません。
- 映像サイズの切り換わりの画像や、無記録から記録の切り換わりの画像をダビングして再生したとき、一瞬画像が乱れることがあります。

「ビデオで再生・ダビングできるディスク一覧」のご注意

- 8cmディスクには再生のみ対応しています。
- パッケージに「ビデオ用」または「for Video」と記載のあるディスクをお求めください。
- 本機で読み込みができないパソコンで記録したデータは消去されることがあります。
- 本機では、DVD-RのVRモードで記録されたディスクを再生することはできません。
- 本機では、DVD-RへのVRモードでのダビングはできません。
- CPRM対応のDVD-Rディスクに録画した「1回だけ録画可能」な番組の再生はできません。（CPRM：Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。）
- 本機では、CPRM対応のDVD-Rディスクで「1回だけ録画可能」な番組の録画はできません。
- 本機のDVD-RWのVRモードでダビングしたディスクは、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。DVD-RW（VRモード）対応プレーヤーでのみ再生可能です。
- 本機のDVD+R/DVD+RWでダビングしたディスクは、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。DVD+R/DVD+RW対応プレーヤーでのみ再生可能です。
- 他のDVD機器で記録されたDVD+R/DVD+R DL/DVD+RW/DVD-RW/DVD-RまたはCD-Rディスクは、傷や汚れ、また記録状態や記録機、CD/DVDソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業を正しくしていないディスクは再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。
- DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

地域番号（リージョンコード）について

DVD-Videoのパッケージには地域番号が表示されています。地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

ALL　2

DVDディスク再生時のご注意

DVD-Videoはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

本機は以下のディスクに対応していません

- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVDビデオ
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）

ミュージックを楽しむ

音楽を再生する

ご注意はP104へ

本機では、CDの曲や、ハードディスクに保存した曲を聴くことができます。また、オプション機能を使うと、CDの曲を本機のハードディスクに保存することができます。

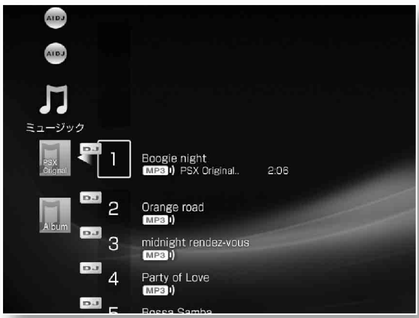
Step1

←→で（ミュージック）を選ぶ。

Step2

↑↓で⊙（音楽CDまたはデータCD）や（アルバム）、（PSXオリジナルサウンド）を選び 決定 を押す。

Step3



聴きたい曲を選び 決定 を押す。

ミュージックで選べるアイコンの説明

アイコン	選んで 決定 を押すと
x-DJ	x-DJを起動します。
AIDJプレイリスト	DJ登録している曲を自動的に演奏します。
PSXオリジナルサウンド	PSXオリジナルサウンドを一覧表示します。
アルバム	アルバムの中の曲を一覧表示します。

音楽CDを入れているときに表示されるアイコン

アイコン	選んで 決定 を押すと
音楽CD	CDに記録されている曲を一覧表示します。

CD-Rを入れているときに表示されるアイコン

アイコン	選んで 決定 を押すと
データCD	CD-Rに記録されているMP3形式の曲やフォルダを一覧表示します。

Step2で⊙（MP3を含んだデータCD）を選んだときは

Step3でCD-Rに保存されているフォルダが表示されますので、聴きたい曲が入っているフォルダを選び 決定 を押してください。
決定 を押すと、選んだフォルダに保存されている曲の一覧が表示されますので、聴きたい曲を選び、再び 決定 を押してください。

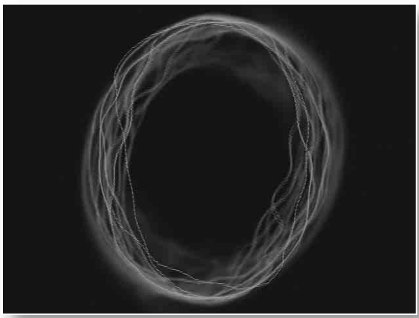
アルバム単位で再生するには

1 Step2で△を押す。
2 ↑↓で[再生]を選び 決定 を押す。

再生中の曲を操作する

再生中の曲を一時停止したり、停止させたいときは操作パネルを使います。

Step1

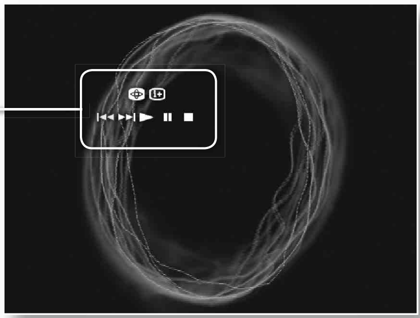


曲の再生中に △ を押す。

操作パネルが表示されます。

Step2

操作パネル



↑↓←→で利用したいアイコンを選び 決定 を押す。

操作パネルで使えるアイコン

使用状況により表示されないアイコンがあります。

アイコン	選んで 決定 を押すと
ビジュアライザー	再生中に表示される画像のデザインを切り換えることができます。
画面表示	画面表示を切り換えます。
前	再生中の曲、または前の曲の先頭へ移動します。
次	次の曲の先頭へ移動します。
再生	一時停止中の曲を再生します。
一時停止	再生中の曲を一時停止します。
停止	再生中の曲を停止します。

本機に取り込む

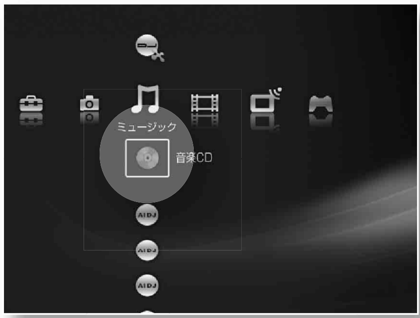
ご注意はP104へ

CDの曲を本機に取り込む

音楽CDから曲を本機に取り込むことができます。音楽CDから取り込むときは、ATRAC3形式でハードディスクに保存します。

音楽CDを取り込むときの音質の設定は、「ミュージックの設定をする」の「CDの曲を取り込むときの音質を設定する」（133ページ）をご覧ください。

Step1



↑↓←→でホームメニューの ♫ （ミュージック）から ⊙ （音楽CD）の曲を選択しているときに △ を押す。

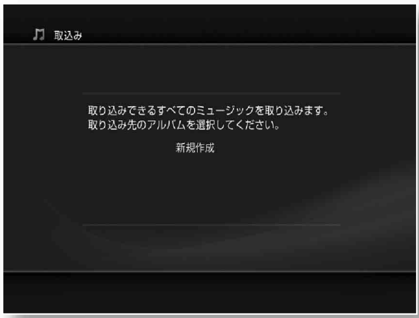
Step2

↑↓で［取込み］を選び 決定 を押す。

取り込みが開始されます。画面の指示に従ってアルバムに取り込みます。

ミュージック

Step3



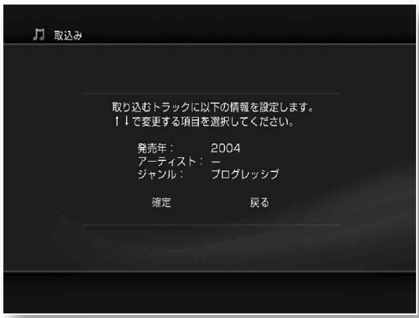
↑↓で取り込み先のアルバムを選択し、(決定)を押す。

ここで[新規作成]を選んだときは、アルバム名を入力するためのキーボードが表示されますので名前を入力してください。

名前の入力が終了すると、曲の情報を登録する画面が表示されます。

曲の情報はx-DJでも利用します。

Step4

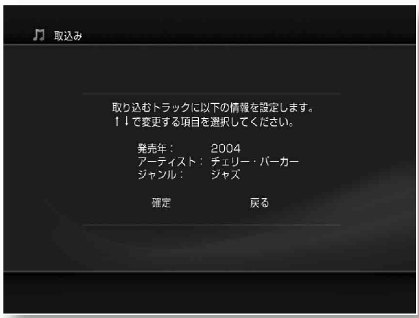


↑↓で設定したい項目を選び (決定) を押す。

取り込んだ曲には発売年･アーティスト名･ジャンルを設定することができます。

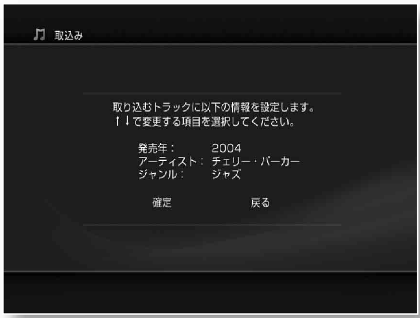
ここで登録した情報はx-DJでも利用します。

Step5



↑↓で設定し (決定) を押す。

Step6

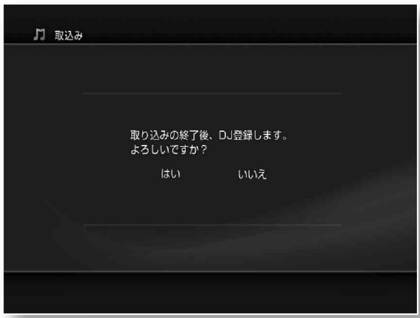


↑↓で[確定]を選び (決定) を押す。

DJ登録確認画面が表示されます。

x-DJを利用するためのゲーム領域が存在しないときは、DJ登録確認画面は表示されません。Step7を飛ばして、取り込みが開始されます。

Step7



←→で[はい]または[いいえ]を選び (決定) を押す。

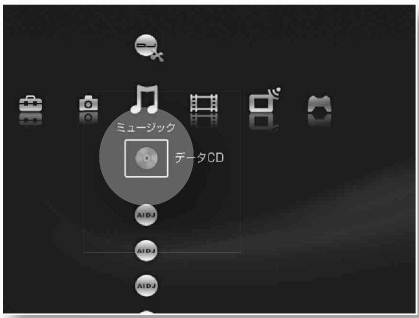
この曲を ♫（ミュージック）のx-DJで利用したいときは、[はい]を選んでください。

(決定) を押すと取り込みが開始されます。

MP3の曲を本機に取り込む

CD-Rに保存されているMP3ファイルを本機に取り込むことができます。

Step1



↑↓←→でホームメニューの (ミュージック)から (データCD) を選び (決定) を押す。

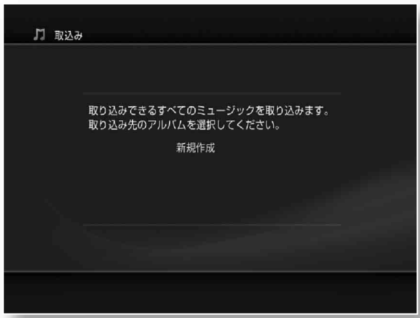
Step2

↑↓で取り込みたい (データCDのフォルダ)やフォルダ内の曲を選び △ を押す。

Step3

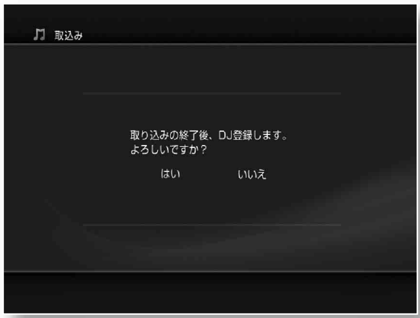
↑↓で[取込み]を選び (決定) を押す。
取り込みが開始されます。画面の指示に従ってアルバムに取り込みます。

Step4



↑↓で取り込み先のアルバムを選択し、(決定) を押す。
ここで[新規作成]を選んだときは、アルバム名を入力するためのキーボードが表示されますので名前を入力してください。
CD-Rに記録されているMP3の曲やフォルダを取り込んだ場合、フォルダ名を参照してアルバム名を自動的に設定します。
名前の入力が終了すると、DJ登録確認画面が表示されます。
x-DJを利用するためのゲーム領域が存在しないときは、DJ登録確認画面は表示されません。Step5を飛ばして、取り込みが開始されます。

Step5



←→で[はい]または[いいえ]を選び (決定) を押す。
この曲を (ミュージック)のx-DJで利用したいときは、[はい]を選んでください。
(決定) を押すと取り込みが開始されます。

取り込んだ曲のジャンルを変更するには

1. 変更したい曲を選び △ を押す。
2. [情報]を選び (決定) を押す。
   情報画面が表示されます。
3. (決定) を押す。
4. ↑↓でジャンル欄を選び (決定) を押す。
5. ↑↓でジャンルを選び (決定) を押す。
6. × を押す。

ハードディスクに保存した曲を使ってDJプレイを楽しむ(x-DJ)

ご注意はP104へ

x-DJとは?

本機のハードディスクに保存した曲を使って、気分に合った音楽を選曲し、ノンストップミュージックプレイをする機能です。
x-DJには2種類の演奏機能があります。

AIDJプレイリスト:
DJ登録されている曲のリストをもとに、本機が自動的に気分やシチュエーションによるプレイリストを作成し、選曲·演奏します。

マイセレクト:
曲のジャンルや年代、テンポを設定し、これらの条件と一致する曲だけを使って自動演奏します。

x-DJの準備をする

x-DJを利用するためには、以下の準備を行ってください。

準備1 ハードディスクのゲーム領域が設定されているか確認する

ハードディスクのゲーム領域を設定していないときは、「ハードディスクの領域を変更する」(134ページ)でゲーム領域を設定してください。ハードディスクの領域を変更すると、ハードディスクに保存されている映像や音楽、写真などの情報がすべて消去されますのでご注意ください。

▼

準備2 本機のハードディスクに曲を取り込む

曲の取り込みかたについては、「本機に取り込む」(94ページ)をご覧ください。

▼

準備3 取り込んだ曲をx-DJで利用できるように設定する

演奏したい曲を登録するには

1. ↑↓←→でホームメニューの (ミュージック)から (PSXオリジナルサウンド)または (アルバム)を選び (決定) を押す。
2. ↑↓で演奏したい曲を選び △ を押す。
3. ↑↓で[DJ登録]を選び (決定) を押す。

アルバム単位で一括して「DJ登録」することもできます。

1. ↑↓←→でホームメニューの (ミュージック)から (PSXオリジナルサウンド)または (アルバム)を選び △ を押す。
2. ↑↓で[DJ登録]を選び (決定) を押す。

選曲からミックスまですべて自動で演奏する(AIDJプレイリスト)

DJ登録されている曲のリストをもとに、本機が自動的に気分やシチュエーションによるプレイリストを作成し、選曲·演奏します。プレイリストは、全部で20種類あります。

AIDJプレイリストの一例

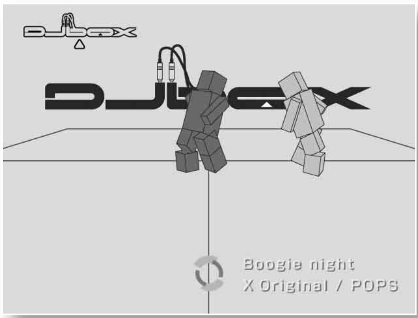
HOT	ROCK、J-POPなどのジャンルを中心に、元気になれる曲を選曲
COOL	SOUL、JAZZ、R&Bなどのジャンルを中心に、落ち着ける曲を選曲
SPLASH	テンポの速い曲を中心に、体を動かしたくなる雰囲気を演出
LOW BEAT	テンポの遅い曲を中心に、静かにリラックスできる雰囲気を演出
RAKUEN	SOUL、LATIN、RAGGAEなどのジャンルをミドルテンポで、読書をしながら過ごす午後のひとときを演出
OLD DISCO	1970/80年代のPOPS、DISCOを中心に懐かしのディスコ·ソングを選曲
JPOP DJ	お気に入りのJ-POPを選曲

Step1

↑↓←→でホームメニューの（ミュージック）から（AIDJ）を選び決定を押す。

気分やシチュエーションを示す複数のAIDJプレイリストが表示されます。選んだプレイリストによって、選曲や演奏方法が異なりますので、そのときの気分やシチュエーションに合わせて選んでください。再生する時間帯やハードディスクに保存している曲の種類によって、表示されるプレイリストが変わります。

x-DJが起動し、演奏が始まります。
演奏が始まると、ビジュアライザーが画面上に表示されます。

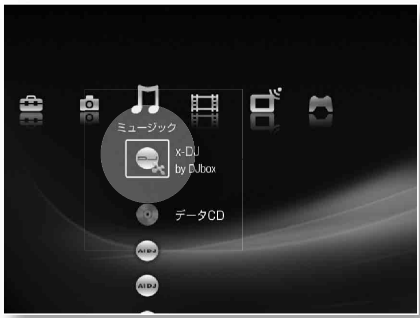


ビジュアライザーについては、「x-DJのビジュアライザーについて」(100ページ)をご覧ください。

ジャンルや曲のテンポで曲を限定して自動演奏する（マイセレクト）

曲のジャンルや年代、テンポなどを設定し、これらの条件と一致する曲を最大32曲選曲し、自動演奏します。

Step1



↑↓←→でホームメニューの（ミュージック）の（x-DJ）を選び決定を押す。

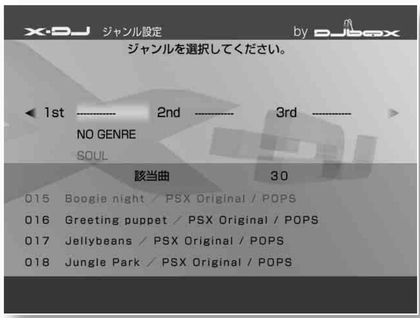
x-DJが起動し、メインメニューが表示されます。

Step2

↑↓で[マイセレクト]を選び決定を押す。

AIDJプレイリスト選択画面が表示されます。

Step3



←→でジャンルの設定欄を選ぶ。

ジャンルは3つまで指定することができます。

ミュージック

Step4

↑↓でジャンルを選ぶ。

選んだジャンルで登録されている曲を検索し、該当曲を更新します。

Step5

すべてのジャンルを設定したら (決定) を押す。

年代設定画面が表示されます。

Step6

←→で年代の最大値・最小値を選ぶ。

Step7

↑↓で年代を設定する。

該当曲に掲載されている曲の中から、設定した年代と一致する曲のみを選び出します。

Step8

年代の設定が終了したら (決定) を押す。

テンポ設定画面が表示されます。

Step9

←→で最大値・最小値を選ぶ。

Step10

↑↓でテンポを設定する。

該当曲に掲載されている曲の中から、設定したテンポと一致する曲のみを選び出します。

Step11

該当曲の確認が終わったら (決定) を押す。

ビジュアライザー画面が表示され、選曲した曲を自動的に演奏します。

x-DJのビジュアライザーについて

x-DJのビジュアライザーは9種類あります。ビジュアライザーによっては、手動で変化を与えることができるものもあります。

ビジュアライザーを切り換えるには

1 ビジュアライザー表示中に □ を押す。
ビジュアライザー選択バーが表示されます。

2 □ を押して、切り換えたいビジュアライザーを選ぶ。
切り換えたいビジュアライザーを選んでからしばらくすると、切り換えたいビジュアライザーが全画面に表示されます。

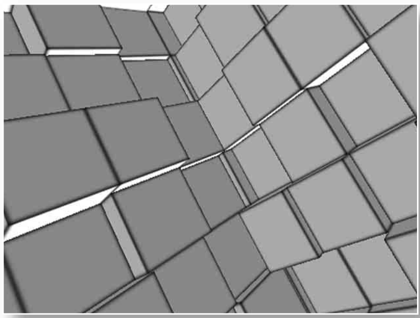
ビジュアライザー表示中の操作について

ビジュアライザー表示中に、以下のボタンを押すと、再生中の音やビジュアライザーにさまざまな変化を加えることができます。

リモコンのボタン	効果
ビュー □	ビジュアライザー選択バーを表示しビジュアライザーを切り換えます。
○ オプション△ L2 R2	ビジュアライザーにさまざまな変化を加えます。
L3 R3	スクラッチエフェクトが入れられます。
戻る× ホーム	自動演奏を終了します。
← →	フィルターを操作して音を変化させます。
L1 R1	選曲リストにある別の曲を再生します。

* 別売りの"PSX"専用アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)のアナログスティックLを回転させると選曲リストをスクロールさせることができ、アナログスティックRを回転させるとスクラッチエフェクトが入れられます。

Cube

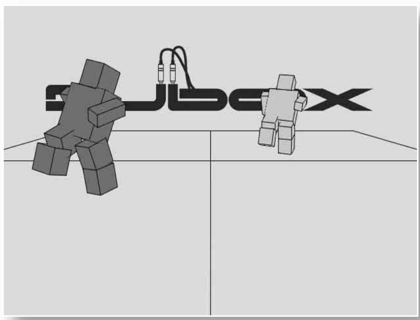


△ **を押すと:**波紋が発生します。
○ **を押すと:**カメラが前後します。
L2を押すと:ビジュアライザーが拡大したり縮小します。
R2を押すと:自動的にビジュアライザーが変化します。

Bubble

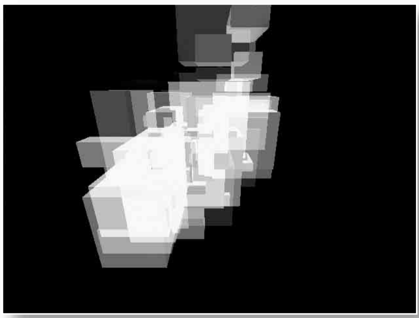
△ **を押すと:**泡が変化します。
○ **を押すと:**背景が変化します。
L2を押すと:泡が発生しなくなります。
R2を押すと:自動的にビジュアライザーが変化します。

Robot



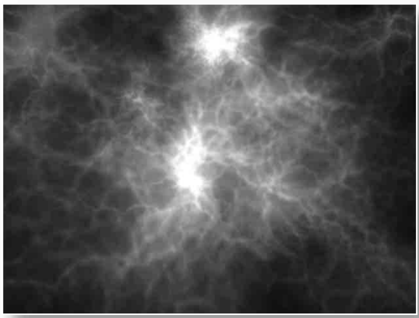
△ **を押すと:**ロボットがジャンプします。
○ **を押すと:**操作対象を変更します。
L2、R2を押すと:ロボットの色が変わります。
アナログコントローラーのアナログスティックLを回すと:ロボットの向きが変更します。

Fractal Box



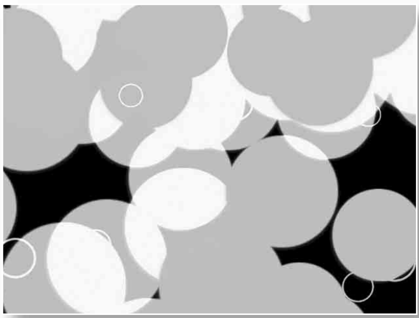
△ 、L3、R3を押すと:Boxの生成方向が変化します。
◎ を押すと:カメラが前後します。
L2を押すと:カメラが旋回します。
R2を押すと:自動的にビジュアライザーが変化します。

Synapse



フィルターの位置によって色が変化します。

Explosion



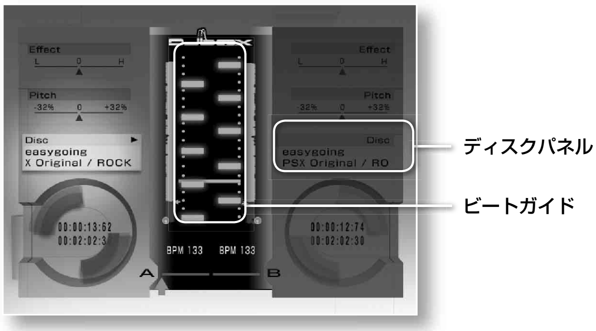
フィルターの位置によって色が変化します。

Dust

△ を押すと:ガスを停止したり、発生したりすることができます。
◎ を押すと:カメラが前後します。
L2を押すと:ガスの形状が変化します。
R2を押すと:自動的にビジュアライザーが変化します。

静止画

DJセット画面



DJセット画面では、AIDJによってどのようにDJセットが操られ、DJプレイされているか、見ることができます。

ディスクパネル

現在演奏中の曲名を表示します。L1、R1で次の曲につなぎます。

ビートガイド

曲のビートを視覚的に表したものです。

ミュージックの機能一覧

は △ を押したときに表示されるオプション機能です。
詳しくは103ページをご覧ください。

ミュージック

（決定）を押すと → （決定）を押すと

x-DJ → **x-DJ開始（98ページ）**

データCD
- △ オプション
  - 情報

→ **フォルダ**
- △ オプション
  - 再生
  - 取込み
  - 情報

→ **1 曲**
- △ オプション
  - 再生
  - 取込み
  - 情報

音楽CD
- △ オプション
  - 再生
  - 取込み
  - 情報

→ **1 曲**
- △ オプション
  - 再生
  - 取込み
  - 情報

→ **再生開始**

AIDJプレイリスト
- △ オプション
  - 再生

→ **自動演奏開始（97ページ）**

PSXオリジナルサウンド
- △ オプション
  - 再生
  - DJ登録
  - DJ登録解除
  - 情報

→ **1 曲**
- △ オプション
  - 再生
  - DJ登録/DJ登録解除
  - 情報

→ **再生開始**

アルバム
- △ オプション
  - 再生
  - DJ登録
  - DJ登録解除
  - 名前変更
  - 削除
  - 情報

→ **1 曲**
- △ オプション
  - 再生
  - DJ登録/DJ登録解除
  - 名前変更
  - 削除
  - 情報

→ **再生開始**

決定 を押すと

再生開始

オプション機能の説明

オプション名	できること
再生	選んだ音楽CD、アルバム、曲を再生します。
取込み	音楽CDやCD-Rの曲を本機のハードディスクに取り込みます。 詳しくは「CDの曲を本機に取り込む」(94ページ)、「MP3の曲を本機に取り込む」(96ページ)をご覧ください。
名前変更	本機のアルバムや、アルバムに保存されている曲の名前を変更します。 [名前変更]を選んで決定を押すと画面上にキーボードが表示されるので、キーボードを使って名前を変更してください。 キーボードの使いかたについて詳しくは「文字入力方法を確認する」(44ページ)をご覧ください。
DJ登録	本機のハードディスクに取り込んだ曲がx-DJで再生できるようになります。
DJ登録解除	x-DJで再生できないようにします。
削除	本機のアルバムや、アルバムに保存されている曲を削除します。 ※ CDに記録されている曲やPSXオリジナルサウンドの曲は削除できません。
情報	CDやフォルダ、曲などの情報を表示したり、アーティスト名などを変更したりすることができます。また、曲に設定されているジャンルも変更することができます。

ミュージック（音楽の再生）で再生できるディスク一覧

ご注意はP105へ

本機で再生できるディスクは音楽CDとCD-Rだけです。
CD-RWには対応してません。
本機で再生するための、パソコンなどを使ったCD-Rの作成方法は、「CD-Rに保存したMP3ファイルを本機で再生するときのご注意」（105ページ）をご覧ください。

ディスクの種類	ディスク名称	CD	CD-R
	ロゴ	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc Recordable
説明		音楽や音声が記録された市販のソフト	CDレコーダーやパソコンで作成した音楽CDとMP3ファイルが再生可能

本機はCD-Rに音楽を書き込めません。

「ミュージックを楽しむ」に関するご注意

「音楽を再生する」のご注意

- パソコンで作成したCDは再生できないことがあります。
- 一部のCDは本機で再生できないことがあります。
- SACDのHDレイヤーを再生することはできません。

CDのDTS音声再生時のご注意

DTSで記録されたCDを再生するとアナログ出力からは極端に大きなノイズが出ます。本機のアナログ出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround™の再生をお楽しみいただくには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround™デコーダーを接続する必要があります。DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときに、CDのDTS音声を再生すると、デジタル音声出力から異音が出ます。

「本機に取り込む」のご注意

- CD規格に準拠していないCDの曲を本機に取り込むことはできません。
- 以下のCDは本機のハードディスクに取り込むことはできません。
  - レーベルゲートCD
  - コピーコントロールCD
  - DTS-CD
  - CD-Rに記録した音楽CD
- CDの曲を本機に取り込んでいるときは、≙ボタンやI/⏻（電源）ボタンを押さないでください。
- CD規格に準拠していない著作権保護技術付きの音楽ディスクは取り込めない場合があります。

「ハードディスクに保存した曲を使ってDJプレイを楽しむ（x-DJ）」のご注意

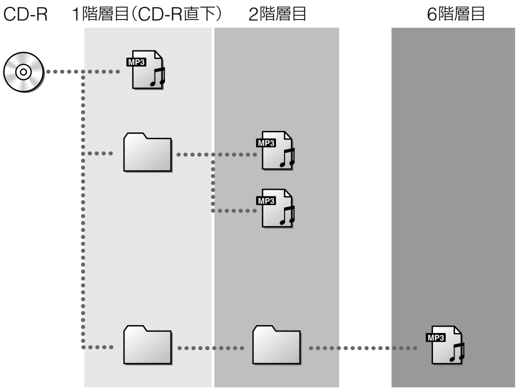
- 暗い部屋でビジュアライザーを正視し続けると、癲癇（てんかん）などの症状を引き起こす場合がありますので、部屋を明るくするか、ビジュアライザーを静止画に切り換えてください。
- 一部の曲では、正確なテンポが表示されない場合があります。
- （ゲーム）に表示されている「DJboxサウンドデータ」や「x-DJユーザーデータ」を削除すると、DJ登録が解除されてしまいます。
- モノラルのMP3ファイルをDJ登録した曲は正しく再生されないことがあります。
- 以下のMP3ファイルはDJ登録できません。
  - ファイルヘッダが不正なもの
  - 1秒未満や1.5時間以上の曲

CD-Rに保存したMP3ファイルを本機で再生するときのご注意

本機で再生できるMP3ファイルは、以下の方法で保存されたCD-Rのみです。これ以外の方法で保存されたMP3ファイルを再生することはできません。

フォルダやファイルの作成・保存場所

以下の図のように、本機は、CD-R直下(ルート)から6階層目までに書き込んだファイルやフォルダを認識することができます。



- 1枚のCD-Rに40個以上のフォルダを作成しないでください。
- 1つのフォルダの中に101以上のMP3ファイルを保存しないでください。
- 6階層目に保存したフォルダは表示されません。

フォルダ名やファイル名をつけるときのご注意

- ファイル名は64文字以内で設定してください。
- 半角の「<」「>」「|」「"」「/」「?」「*」「'」「\」「¥」「:」「･」などの文字は使用しないでください。
- ファイル名、フォルダ名はISO9660のレベル１、レベル２、拡張フォーマット(Joliet)に準拠していない場合、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前を付けるときは、ファイルの最後に拡張子「.mp3」を付けてください。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.mp3」を付けると、そのファイルを再生してしまう場合があるため、雑音や故障の原因となります。
- CD-R上のMP3ファイルにおけるファイル名は、文字数に制限があるため、正しく表示されないことがあります。
- 本機はID3タグのバージョン1.0にのみ対応しています。また、一部のファイルでは正しくジャンルが表示されない場合があります。
- ハードディスクに取り込んだMP3ファイルのファイル名は、ID3タグのトラック名を表示しますが、文字数に制限があります。

パソコンでCD-RにMP3ファイルを書き込むときのご注意

- 「Disc at once」で書き込んでください。
- 一度書き込んだCD-Rに追記しないでください。
- ディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- マルチセッションで記録したディスクは、再生できません。
- CD-RWには対応しておりません。必ずCD-Rを使ってください。
- パケットライトには対応しておりません。

本機が対応しているフォーマットについて

CD-Rファイルシステム	ファイル名文字数制限
ISO9660レベル１	8.3形式
ISO9660レベル２	最大半角31文字(拡張子含む)
拡張フォーマット(Jolietのみ)	最大64文字(拡張子含む)

本機が対応しているCD-Rに書き込むための規格

項目	MPEG1 Layer3	MPEG2 Layer3
書き込みモード	モード１、モード2(Form1)に対応	
圧縮方式(サンプリングレート)	48KHz, 44.1KHz, 32KHz	24KHz, 22.05KHz
ビットレート	32k ～ 320kbps、VBRも可*	8k ～ 160kbps、VBRも可*
ファイル数	100(1フォルダあたり)	
アルバム(フォルダ)数	39	
アルバム(フォルダ)階層	6	
マルチセッション	非対応	
m3uプレイリスト	非対応	
mp3PROフォーマット	非対応	

* VBRの場合、再生経過時間表示が実際と異なる場合があります。

「ミュージック(音楽の再生)で再生できるディスク一覧」のご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社により著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生や取り込みができない場合があります。

本機は以下のディスクに対応していません

- CD-RW
- ビデオCD
- スーパー VCD
- スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー

フォトを楽しむ

写真を再生する

ご注意はP116へ

デジタルカメラで撮影した写真や、本機に取り込んだ写真を表示させることができます。また、“メモリースティック”やデータCDに保存された写真も表示できます。

Step1

←→で （フォト）を選ぶ。

Step2

↑↓で （“メモリースティック”）や （デジタルカメラ）、 （データCD）、 （アルバム）、 （サンプルアルバム）を選び 決定 を押す。

Step3

写真や動画を選び 決定 を押す。

フォト で選べるアイコンの説明

アイコン	選んで 決定 を押すと
x-Pict Story 編集	x-Pict Storyの作成や修正画面を表示します。
サンプル x-Pict Story	お買い上げ時に登録されているx-Pict Storyを表示します。
x-Pict Story	x-Pict Storyで作成した作品を表示します。
サンプルアルバム	お買い上げ時に登録されているアルバムを表示します。
アルバム	アルバムに保存されている写真の一覧を表示します。

接続しているときや“メモリースティック”を入れているときに表示されるアイコン

アイコン	選んで 決定 を押すと
“メモリースティック”	“メモリースティック”に保存されている写真の一覧を表示します。
デジタルカメラ	デジタルカメラに保存されている写真の一覧を表示します。
データCD	ディスクに保存されている写真の一覧を表示します。

本機で再生できる写真や動画について

- 本機で再生できる写真は、圧縮形式がJPEG形式で、ファイル名形式がDCF形式*1のものです。
  ※カタログでは、DCF規格という表現をしています。
- 本機で再生できる動画は、ソニー製デジタルスチルカメラ“サイバーショット”で撮影したMPEG1形式の動画になります。
- 本機とUSBで接続して、保存されている写真や動画を再生できる機器は、ソニー製デジタルスチルカメラ“サイバーショット”になります。
- CD-Rの作成に関するご注意は、「CD-Rに保存した写真を本機で再生するときのご注意」(117ページ)をご覧ください。
- DCF形式以外のJPEG形式の写真(パソコンで加工した静止画像など)では、一部の機能が正しく動作しないことがあります。
- HQモードやVXモードなどの高ビットレートのMPEG1形式の動画は正常に再生できないことがあります。
- 動画をスライドショーで表示することはできません。
- ファイルサイズが大きい写真は、サムネイルが表示されるまでに時間がかかることがあります。

- 音楽再生中、ビデオ一時停止中、MPEG1動画再生中はサムネイルが表示されない場合があります。

*1 (社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rules for Camera Files systems"のことです。

Step2で ▭ や ▯°◎ 、◉を選んだときは

Step3で"メモリースティック"やデジタルカメラ、ディスクに保存されているフォルダが表示されますので、見たい写真や動画が入っているフォルダを選び (決定) を押してください。
(決定) を押すと、選んだフォルダに保存されている写真や動画の一覧が表示されますので、見たい写真や動画を選び、再び (決定) を押してください。
"メモリースティック"やデジタルカメラは3階層目まで表示することができます。

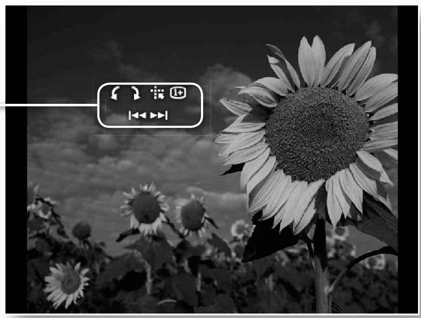
再生中の写真や動画を操作する

Step1

写真を表示しているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2

操作パネル



↑↓←→で利用したいアイコンを選び (決定) を押す。
写真を見ているときは、右記のアイコンが表示されます。

操作パネルで使えるアイコン
使用状況により表示されないアイコンがあります。

アイコン	選んで (決定) を押すと
回転(左)	表示中の画像を左回りに90度回転させます。
回転(右)	表示中の画像を右回りに90度回転させます。
アルバムジャケット登録	アルバムのアイコンとして、写真を登録します。
画面表示	画面表示を切り換えます。
前	前の写真を表示します。
次	次の写真を表示します。
再生	停止中の動画を再生します。
一時停止	再生中の動画を一時停止します。
停止	再生中の動画を停止します。

順番に表示する(スライドショー)

本機のアルバムに保存されている写真を順番に表示します。アルバム内のすべての写真の表示が終わると自動的に終了します。写真の数(ファイル数)が多いときは動作に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

Step1 **↑↓←→でホームメニューの (フォト)から (アルバム)を選び △ を押す。**

Step2 **↑↓で[スライドショー]を選び (決定) を押す。**

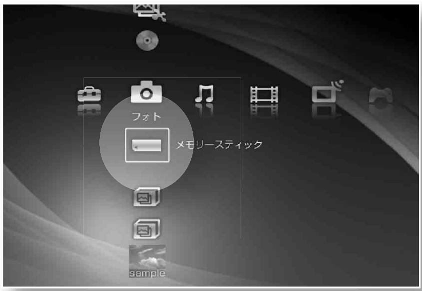
本機に取り込む

ご注意はP116へ

（“メモリースティック”）や （デジタルカメラ）、（データCD）に保存されている写真や動画を本機に取り込むことができます。

フォルダごと取り込む

Step1



↑↓←→でホームメニューの （フォト）から （“メモリースティック”）や （デジタルカメラ）、（データCD）を選び （決定）を押す。

Step2

↑↓で取り込みたいフォルダを選び △ を押す。
フォルダのオプションメニューが表示されます。

Step3

↑↓で［取込み］を選び （決定）を押す。
取り込みが開始されます。画面の指示に従ってフォルダを取り込んでください。指定したアルバムに写真や動画が取り込まれます。

写真や動画を取り込む

Step1

↑↓←→でホームメニューの （フォト）から （“メモリースティック”）や （デジタルカメラ）、（データCD）を選び （決定）を押す。

Step2

↑↓でフォルダを選び （決定）を押す。

Step3

↑↓で取り込みたい写真や動画を選び △ を押す。

Step4

↑↓で［取込み］を選び （決定）を押す。
取り込みが開始されます。画面の指示に従って、写真や動画を取り込んでください。

フォト

アルバムの写真を使ってフォト作品を作成する（x-Pict Story）

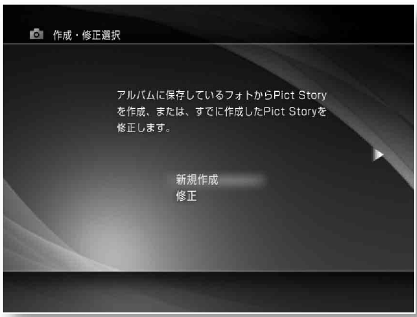
ご注意はP117へ

本機のハードディスクのアルバムに保存されている写真と、あらかじめ用意されている音楽などを組み合わせ、オリジナルフォト作品を作ることができます。
作成したフォト作品をビデオの映像に変換して、DVDなどにダビングすることもできます。

Step1

↑↓←→でホームメニューの（フォト）から（x-Pict Story編集）を選び 決定 を押す。
x-Pict Story 作成画面が表示されます。

Step2



↑↓で［新規作成］を選び 決定 を押す。

Step3

↑↓でx-Pict Storyを作成したいアルバムを選び 決定 を押す。
アルバムの数が多いときは、サムネイルが表示されるまでに、非常に時間がかかる場合があります。

Step4

↑↓で曲を選び 決定 を押す。
x-Pict Storyで利用することができる音楽については、「x-Pict Storyで利用できる音楽について」（110ページ）をご覧ください。

Step5

決定 を押す。
作品が再生されるので、内容を確認してください。

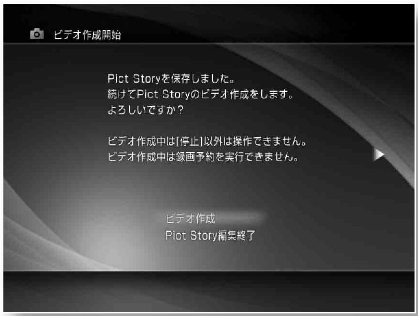
Step6

［保存］を選び 決定 を押す。

Step7

キーボードで作品の名前を入力する。
名前の入力が完了すると、作品が保存されます。

Step8



↑↓で[Pict Story編集終了]または[ビデオ作成]を選び 決定 を押す。

この作品をビデオの映像として保存しないときは、[Pict Story編集終了]を選んでください。

(ビデオ)の映像として保存したいときは、[ビデオ作成]を選んでください。

本機が自動的にビデオの映像を作成します。ビデオ作成作業中はx-Pict Storyの作品が再生されます。ビデオ作成作業が終了するまでお待ちください。

ビデオ作成作業が終了すると、x-Pict Story編集の終了画面が表示されます。

作成したビデオの映像はビデオカテゴリに保存されます。

ビデオ作成作業を途中でやめたいときは

リモコンの■(停止ボタンまたは録画停止ボタン)を押してください。

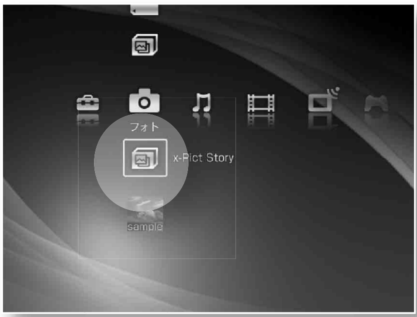
x-Pict Storyで利用できる音楽について

x-Pict Storyで利用できる音楽は本機にあらかじめ登録されている以下の曲です。

	曲名	ジャンル
1	afternoon tea	LATIN
2	Bossa Samba	LATIN
3	Ryukyu	WORLD
4	Sea wind	WORLD
5	Cycling	HOUSE
6	fairy, airily, Mary	HOUSE
7	Fighting spirit	TRANCE
8	Resort	TRANCE
9	Heaven and earth	NEW AGE
10	Memories	NEW AGE
11	Mystique	NEW AGE
12	Omoide	NEW AGE
13	Poetry of breeze	NEW AGE
14	sleepin' baby	NEW AGE
15	wish	NEW AGE
16	Boogie night	POPS
17	fragrance	POPS
18	Greeting puppet	POPS
19	Jellybeans	POPS
20	Jungle Park	POPS
21	Orange road	POPS
22	Playful Kids	POPS
23	easygoing	ROCK
24	Strike!	HARD ROCK
25	Party of Love	TECHNO
26	Wave motion	TECHNO
27	another days	FUSION
28	midnight rendez-vous	FUSION
29	Glory	SOUND TRACK
30	Merry-go-round	SOUND TRACK

x-Pict Story作品を再生する

Step1



⬆⬇⬅➡でホームメニューの (フォト)から (サンプルx-Pict Story)、 (x-Pict Story)を選び 決定 を押す。

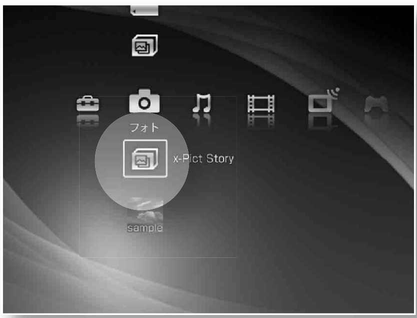
Step2

⬆⬇で再生したいx-Pict Story作品を選び 決定 を押す。

x-Pict Story作品を修正する

一度作成したx-Pict Story作品の音楽を変更したりすることができます。音楽を変更すると、変更した音楽に合わせて、本機が自動的にx-Pict Story作品を作成し直します。

Step1



⬆⬇⬅➡でホームメニューの (フォト)から (x-Pict Story)を選び 決定 を押す。

Step2

⬆⬇で修正したいx-Pict Story作品を選び △ を押す。

Step3

⬆⬇で[Pict Story修正]を選び 決定 を押す。

Step4

⬆⬇で曲を選び 決定 を押す。
x-Pict Storyで利用することができる音楽については、「x-Pict Storyで利用できる音楽について」(110ページ)をご覧ください。

Step5

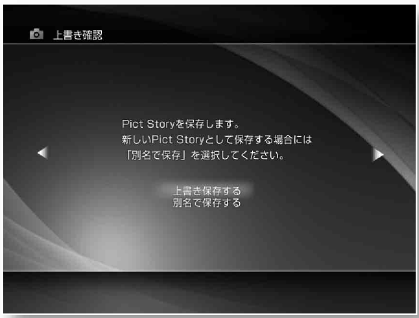
決定 を押す。
x-Pict Story作品が再生されるので、内容を確認してください。

フォト

Step6

[保存]を選び (決定) を押す。

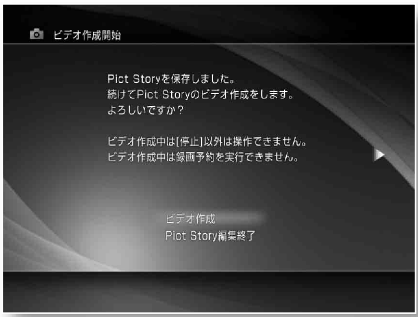
Step7



↑↓で保存方法を選び (決定) を押す。

[別名で保存する]を選ぶと画面上にキーボードが表示されます。キーボードを使って映像作品の名前を入力してください。

Step8



↑↓で[Pict Story編集終了]または[ビデオ作成]を選び (決定) を押す。

この作品をビデオの映像として保存しないときは、[Pict Story編集終了]を選んでください。

(ビデオ)の映像として保存したいときは、[ビデオ作成]を選んでください。

本機が自動的にビデオの映像を作成します。ビデオ作成作業中はx-Pict Storyの作品が再生されます。ビデオ作成作業が終了するまでお待ちください。

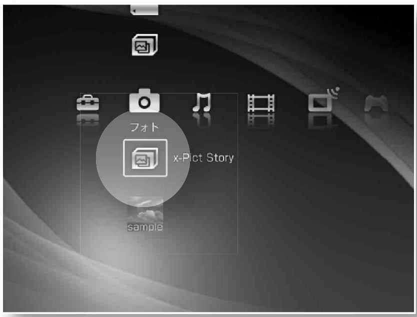
ビデオ作成作業が終了すると、x-Pict Story編集の終了画面が表示されます。

作成したビデオの映像はビデオカテゴリに保存されます。

x-Pict Story作品をビデオの映像にする

x-Pict Story作成を終了した後からでも、ビデオの映像にすることができます。

Step1



↑↓←→でホームメニューの (フォト)から (x-Pict Story)を選び (決定) を押す。

Step2

↑↓でビデオの映像にしたいx-Pict Story作品を選び △ を押す。

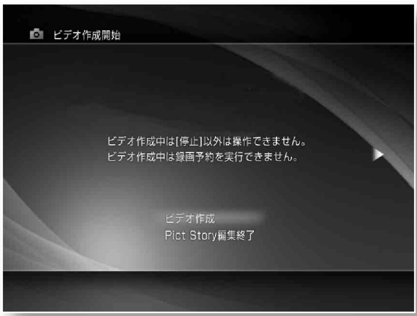
Step3

↑↓で[ビデオ作成]を選び (決定) を押す。

ビデオ作成開始画面が表示されます。

フォト

Step4



⬆⬇で[ビデオ作成]を選び (決定) を押す。

ビデオ作成が開始されます。
ビデオ作成作業中はx-Pict Storyの作品が再生されます。ビデオ作成作業が終了するまでお待ちください。
ビデオ作成作業が終了すると、x-Pict Story編集の終了画面が表示されます。

フォト

フォトの機能一覧

（黒帯の欄）は △ を押したときに表示されるオプション機能です。
詳しくは115ページをご覧ください。

フォト

（決定）を押すと → （決定）を押すと

フォト	（決定）を押すと	（決定）を押すと
x-Pict Story 編集	x-Pict Story 作成画面（109ページ）	
データCD △ オプション • 情報	フォルダ △ オプション • 取込み • 情報	写真 △ オプション • 再生 • 取込み • 情報
メモリスティック	フォルダ △ オプション • 取込み • 情報	写真 △ オプション • 再生 • 取込み • 情報
デジタルカメラ	フォルダ △ オプション • 取込み • 情報	写真 △ オプション • 再生 • 取込み • 情報
サンプル x-Pict Story △ オプション • 情報	サンプル作品 △ オプション • 再生 • ビデオ作成 • 情報	再生開始
x-Pict Story △ オプション • 情報	作品 △ オプション • 再生 • Pict Story修正 • ビデオ作成 • 名前変更 • 削除 • 情報	再生開始
サンプルアルバム △ オプション • Pict Story作成 • スライドショー • 情報	サンプル写真 △ オプション • 再生 • 情報	再生開始
アルバム △ オプション • Pict Story作成 • スライドショー • 名前変更 • 削除 • 情報	写真 △ オプション • 再生 • 回転（左） • 回転（右） • 名前変更 • 削除 • 情報	再生開始

決定 を押すと

再生開始

再生開始

再生開始

オプション機能の説明

オプション名	できること
再生	選んだ写真やx-Pict Storyで作成した映像を再生します。
Pict Story **作成**	x-Pict Story 編集の作成画面を表示します。
Pict Story **修正**	x-Pict Story 編集の修正画面を表示します。
スライドショー	選んだアルバムに保存されている写真を順番に表示します。
取込み	“メモリースティック”やデジタルカメラ、データCDに保存されているフォルダや写真を本機のハードディスクに取り込みます。
回転(左)	本機のアルバムに保存されている写真を90度ずつ左に回転させます。
回転(右)	本機のアルバムに保存されている写真を90度ずつ右に回転させます。
ビデオ作成	x-Pict Story で作成した作品を、ビデオ(ビデオ)に変換し登録します。
名前変更	アルバムの名前や、アルバムに保存されている写真の名前を変更します。 [名前変更]を選んで決定を押すと画面上にキーボードが表示されるので、キーボードを使って名前を変更してください。 キーボードの使いかたについて詳しくは「文字入力方法を確認する」(44ページ)をご覧ください。
削除	本機に保存されているアルバムや写真を削除します。
情報	作成日時などの情報が表示されます。

フォト

フォトで再生できるディスク

本機のフォトで再生できるディスクはCD-Rのみです。CD-RWには対応してません。
本機で再生するための、PSX以外の機器（パソコンなど）を使ったCD-Rの作成方法は、「CD-Rに保存した写真を本機で再生するときのご注意」（117ページ）をご覧ください。

「フォトを楽しむ」に関するご注意

「写真を再生する」のご注意

- パソコンで編集した写真は本機で再生できないことがあります。
- 写真を表示しているときや本機に取り込んでいるときに“メモリースティック”を抜いたり、デジタルカメラを接続しているUSBケーブルを抜いたりしないでください。
- 写真によっては、表示に時間がかかることがあります。

写真の数（ファイル数）が多いときの動作

写真の数（ファイル数）が多いときには、以下の動作で時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。
また、これらの動作中に電源を切ると、故障の原因になることがありますのでご注意ください。

- フォルダごとの取り込み*[1]
- サムネイルの表示*[2]
- スライドショーの再生
- x-Pict Story の再生
- x-Pict Story の作成･修正

*[1] 一度に大量の写真を取り込むと、30分以上かかる場合があります。
*[2] 写真のサイズや保存されている場所により、表示に時間がかかる場合があります。

写真の表示に関するご注意

本機は、ボイスメモには対応していません。

「本機に取り込む」のご注意

フォルダごと取り込むときは、取り込もうとしているフォルダの中に入っている写真のみ取り込むことができます。取り込もうとしているフォルダの中に入っているフォルダや、そのフォルダの中に入っている写真を取り込むことはできません。

写真の取り込みが完了するまでの時間について

写真の取り込みを行うと、取り込む写真の数（ファイル数）によっては、非常に時間がかかる場合*がありますが、本機の故障ではありません。
写真の取り込み中に電源を切ると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。

* 一度に大量の写真を取り込むと、30分以上かかる場合があります。

「アルバムの写真を使ってフォト作品を作成する（x-Pict Story）」のご注意

- x-Pict Story作品を作成したあとに、作品で使用したアルバムに以下の操作を行うと作品で再生される写真が変更される場合があります。
  - アルバムにフォトを追加する
  - アルバムのフォトを削除する
  - アルバムのフォトの名前を変更する
  - アルバムのフォトを回転させる

  ただし、ビデオカテゴリに保存されたx-Pict Storyの映像は変更ありません。
- アルバム内の写真をすべて削除した場合、再生、修正はできません。

写真の数（ファイル数）が多いときの動作について

写真の数（ファイル数）が多いときには、以下の動作で時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。
また、これらの動作中に電源を切ると、故障の原因になることがありますのでご注意ください。

- フォルダごとの取り込み*1
- サムネイルの表示*2
- スライドショーの再生
- x-Pict Story の再生
- x-Pict Story の作成･修正

*1 一度に大量の写真を取り込むと、30分以上かかる場合があります。
*2 写真のサイズや保存されている場所により、表示に時間がかかる場合があります。

「x-Pict Story作品をビデオの映像にする」のご注意

x-Pict Story作品をビデオとして保存している間は、以下の操作や機能が働きません。

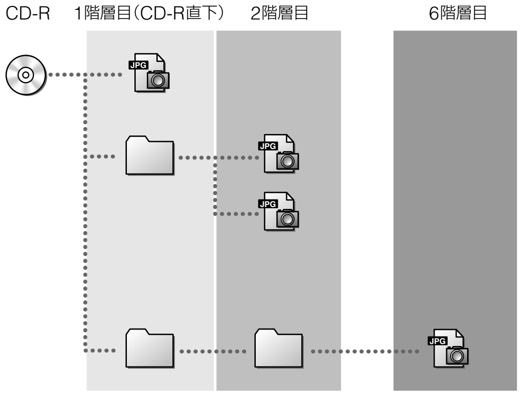
- 予約録画
- 写真の取り込み
- 音楽の取り込み
- ダビング
- 設定の変更

CD-Rに保存した写真を本機で再生するときのご注意

本機では、以下の方法でCD-Rに保存された写真のみ再生できます。これ以外の方法で保存された写真を再生することはできません。

フォルダやファイルの作成･保存場所について

CD-R直下（ルート）を第1階層とした場合、本機は6階層目までに保存したファイルを認識することができます。



CD-Rにフォルダやファイルを記録するときのご注意

- 1枚のCD-Rに40個以上のフォルダを作成しないでください。
- 1つのフォルダの中に201以上の写真や動画を入れないでください。
- 6階層目のフォルダは表示されません。

フォルダやファイル名を付けるときのご注意

- ファイル名は64文字以内で設定してください。
- 半角の「<」「>」「|」「"」「/」「?」「*」「'」「\」「¥」「:」「·」などの文字は使用しないでください。
- ファイル名、フォルダ名はISO9660のレベル１、レベル２、拡張フォーマット（Joliet）に準拠していない場合、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前を付けるときは、ファイルの最後にファイルの内容に従った拡張子を付けてください。ファイルの拡張子は、「.JPG」「.MPG」のいずれかを付けてください。
- JPEG画像ファイルの拡張子には「.JPG」、MPEG1動画ファイルの拡張子には「.MPG」と付けてください。拡張子とファイルの内容が一致していないファイルを再生すると、本機の動作が不安定になります。

パソコンでCD-Rに書き込むときのご注意

- 「Disc at once」で書き込んでください。
- 一度書き込んだCD-Rに追記しないでください。
- ディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- マルチセッションで記録したディスクは、再生できません。
- CD-RWには対応しておりません。
- パケットライトには対応しておりません。

本機が対応しているフォーマットについて

CD-Rファイルシステム	ファイル名文字数制限
ISO9660レベル１	8.3形式
ISO9660レベル２	最大半角31文字（拡張子含む）
拡張フォーマット（Jolietのみ）	最大64文字（拡張子含む）

ゲームを楽しむ

ゲームで遊ぶ

ご注意はP122へ

“PlayStation” や “PlayStation 2” に対応したゲームソフトが楽しめます。また、ハードディスクへのインストールに対応しているゲームソフトは、本機のハードディスクにもインストールすることができます。ゲームを利用するときの準備については、「ゲームの準備をする」(27ページ)をご覧ください。

Step1

←→で （ゲーム）を選ぶ。

Step2

↑↓で （ディスク）や （インストールゲーム）を選び 決定 を押す。

ゲームディスクのゲームを始めるには

ゲームディスクを挿入したあと、↑↓←→でホームメニューの （ゲーム）から （ディスク）を選びます。
“PlayStation” や “PlayStation 2” のゲームが始まります。

本機の電源が切れているときにゲームディスクを挿入すると

本機で再生可能なゲームディスクを挿入すると、自動的に電源が入ったあとにゲームの起動画面が表示されます。

本機にインストールしたゲームを始めるには

↑↓←→でホームメニューの （ゲーム）から （インストールゲーム）を選んで 決定 を押します。
“PlayStation” や “PlayStation 2” のゲームの起動画面が表示されます。

ゲームの操作方法については、ゲームソフトに付属の解説書をご覧ください。

ゲームをハードディスクにインストールする

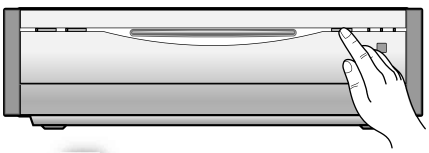
ゲームのインストール方法については各ゲームに付属の解説書をご覧ください。
ハードディスクへのインストールに対応したゲームのみ本機のハードディスクにインストールすることができます。

ゲームをやめる

ご注意はP123へ

ゲーム中にホームボタンを押しても、ホームメニューを表示することができません。本機のゲーム以外の機能を利用したいときは、QUIT GAME（ゲーム終了）ボタンを押してからホームボタンを押してホームメニューを表示させてください。

本機前面



QUIT GAME を押す。

しばらくすると画面右上に青いマークが表示されます。

しばらくすると画面右上の青いマークが消えます。

前回表示していたテレビのチャンネルが表示されます。

（ホーム）を押してホームメニューを表示し、本機を利用してください。

QUIT GAME（ゲーム終了）ボタンを押しても、録画や予約録画は停止しません。

ゲームの機能一覧

は△を押したときに表示されるオプション機能です。
詳しくは121ページをご覧ください。

ゲーム

セーブデータ管理
- △ オプション
  - フォルダ作成

→（決定を押すと）**メモリーカード** →（決定を押すと）**セーブデータ**
- △ オプション
  - コピー
  - 移動
  - 削除
  - 情報

→ **フォルダ**
- △ オプション
  - コピー
  - 削除
  - 名前変更
  - 情報

→ **セーブデータ**
- △ オプション
  - コピー
  - 移動
  - 削除
  - 情報

ディスク
- △ オプション
  - 開始

→ **ゲーム開始**

インストールゲーム
- △ オプション
  - 開始
  - 削除
  - 情報

→ **ゲーム開始**

ミュージックでDJ登録を行うと、“DJboxサウンドデータ”と“x-DJユーザーデータ”が表示されます。

ゲームで選べるアイコンの説明

アイコン	選んで 決定 を押すと
セーブデータ管理	“PlayStation 2”専用メモリーカード(8MB)、メモリーカード、またはゲームのセーブデータのフォルダを表示します。
インストールゲーム	ハードディスクにインストールしたゲームを開始します。

ディスクを入れているときに表示されるアイコン

アイコン	選んで 決定 を押すと
ディスク	挿入しているゲームディスクの再生を開始します。

オプション機能の説明

（セーブデータ管理）

（メモリーカード）

（フォルダ）

（セーブデータ）

セーブデータ管理、フォルダやメモリーカード、セーブデータによって表示されるオプションが異なります。

オプション名	できること
フォルダ作成	フォルダを作成します。
名前変更	フォルダの名前を変更します。 [名前変更]を選んで決定を押すと画面上にキーボードが表示されるので、キーボードを使って名前を変更してください。 キーボードの使いかたについて詳しくは「文字入力方法を確認する」（44ページ）をご覧ください。
コピー	フォルダやセーブデータを複製します。
移動	セーブデータを他の"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカード、フォルダに移動します。
削除	フォルダやセーブデータを削除します。
情報	フォルダやセーブデータに関する情報が表示されます。

（ディスク）

（インストールゲーム）

ディスクやゲームタイトルによって表示されるオプションが異なります。

オプション名	できること
開始	選んだゲームを再生します。
削除	本機にインストールされたゲームを削除します。 * ディスクに記録されているゲームは削除できません。
情報	ゲームに関する情報が表示されます。

ゲームで使えるディスク一覧

"PlayStation 2"規格 DVD-ROM	
ロゴ	DVD ROM
ディスクに付いているマーク(ロゴ)	"PS"と "PlayStation 2" ロゴタイプと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記
ディスクの色	銀･金
記録しているもの	音声＋映像
ディスクの大きさ	12cm

"PlayStation 2"規格 CD	
ロゴ	COMPACT disc
ディスクに付いているマーク(ロゴ)	"PS"と "PlayStation 2" ロゴタイプと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記
ディスクの色	青
記録しているもの	音声＋映像
ディスクの大きさ	12cm

"PlayStation"規格 CD	
ロゴ	COMPACT disc
ディスクに付いているマーク(ロゴ)	"PS"と "PlayStaion" ロゴと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記
ディスクの色	黒
記録しているもの	音声＋映像
ディスクの大きさ	12cm

「ゲームを楽しむ」に関するご注意

「ゲームで遊ぶ」のご注意

- 本機では遊べないゲームもあります。
- 本機は "PlayStation" や "PlayStation 2" で使える以下の機器に対応していません。
  - "PlayStation 2" 専用マルチタップ
  - "PocketStation"
  - マルチAVケーブル(VMC-AVM250)
- "PlayStation" や "PlayStation 2" に対応している機器の中には、本機で使用できないものがあります。
- 本機にはUSB端子が1つしかないため、USB端子に接続するコントローラを2つ同時につなげて遊ぶことはできません。

  市販のUSBハブを使用しても2つ同時につなげて遊ぶことはできません。
- 本機前面のDV IN端子は、DV機器との接続端子です。i.LINK対応ゲームコントローラを接続しても動作しません。
- 本機は以下の "PlaySaion 2" 用ディスクには対応していません。
  - "PlayStaion BB Navigator"
  - "PlayStation 2" 専用DVD Player
  - Linux (for PlayStation®2)
  - ユーティリティディスク

  (2005年3月現在)
- "PlayStation 2" 専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードの空き容量を超える容量を必要とするゲームデータをセーブしようとしても、セーブできません。ゲーム前に、データのセーブに必要な容量とカード内の空き容量を確認してください。データのセーブに必要な容量は、各ゲームに付属の解説書などをご覧ください。
- D端子は "Playstation" 用ディスクには対応しておりません。"Playstation" 用ディスクを再生した場合、D端子に映像が出力されないことがあります。
- ゲーム中に本機の録画を手動で停止することはできません。

ゲームのディスクを使用するときのご注意

- "PlayStation 2" 規格ソフトウェアや "PlayStation" 規格ソフトウェアのディスクを他の機種で使用すると、機器などの故障の原因や、耳や目などの身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対にやめてください。
- "PlayStation 2" 規格ソフトウェアや "PlayStation" 規格ソフトウェアのディスクを本機にセットする場合は、必ずレーベル面(タイトルなどが印刷されている面)を表に向けてディスク挿入口に入れてください。

- “PlayStation 2” 規格ソフトウェアや“PlayStation” 規格ソフトウェアのディスクは NTSC J あるいは FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY の表記のある日本国内仕様の“PSX”にのみ対応しています。

海外で購入したディスクについて

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。海外で購入された NTSC U/C 、 NTSC C および PAL の表記がある“PlayStation 2”規格CD-ROMおよびDVD-ROM、“PlayStation”規格CD-ROMを本機で使用することはできません。

以下のようなときは“PlayStation 2”専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードを絶対に抜かないでください

- セーブデータをコピーするとき
- セーブデータを他の“PlayStation 2”専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードに移動するとき
- フォルダを削除するとき
- セーブデータを削除するとき

“PSX”の認証について

“PSX”は、“DNAS”(Dynamic Network Authentication System)という著作権およびセキュリティの保護を可能にする株式会社ソニー･コンピュータエンタテインメント独自の認証システムを使用しています。このシステムの無効化装置もしくはプログラムを譲渡し、引き渡し、展示し、輸出し、輸入し、または送信することは、法律により禁止されています。なお、“DNAS”に対応したコンテンツを、他の“PSX”や“PlayStation 2”で利用することはできません。

「ゲームをやめる」のご注意

ディスクを抜くとQUIT GAME(ゲーム終了)ボタンを押しても終了できないゲームもあります。
この場合はディスクを入れ直してください。ディスクのないゲームはしばらくしてからQUIT GAME(ゲーム終了)ボタンをもう一度押してください。

フォルダの情報を表示するときのご注意

セーブデータ管理では、ゲームデータのセーブやロードはできません。ゲームデータのセーブやロードのしかたについて詳しくは、各ゲームに付属の解説書などをご覧ください。

S映像ケーブルを使って本機とワイドテレビ(画面横縦比16:9のテレビ)をつなぐときは

ゲームを楽しむときは、テレビのワイド切り換え機能を使い、画面の横縦比を4:3に変更してください。
16:9のままゲーム画面をテレビに表示すると、ゲーム画面の上下が正しく表示されません。

S映像ケーブル以外のケーブルで本機とテレビをつないでいるときは、上記変更は不要です。

テレビ側で4:3に
切り換える

テレビ画面の切り換え方法については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

特定のゲーム専用に開発されたコントローラを使用するときは

ゲーム専用コントローラをゲーム使用時以外に接続すると、本機が正しく動作しないことがあります。ゲームを楽しまないときは、ゲーム専用コントローラを抜き、付属のリモコンや別売りの"PSX"専用アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)(DESR-10)で本機を操作してください。

ゲーム専用コントローラを使用するときのご注意

ゲーム専用コントローラを使って、そのコントローラが対応するゲームを楽しむときは、以下の手順でゲーム専用コントローラを差し込んでください。

- ゲームの[ディスクアイコン]や[ゲームアイコン]を選んで (決定) を押す。
- ゲーム画面が表示されたらゲーム専用コントローラを接続する。ゲーム画面が表示される前に、ゲーム専用コントローラを差し込まない。

ゲーム専用コントローラを差し込むと、ゲーム専用コントローラでのみ操作可能になるゲームがあります。付属のリモコンや別売りの"PSX"専用アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)での操作ができなくなる場合がありますのでご注意ください。

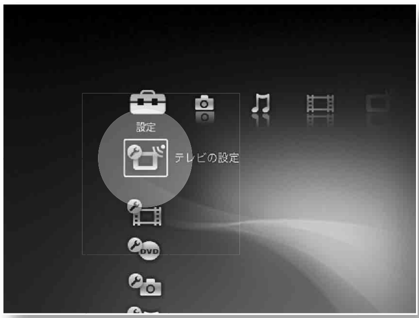
ゲーム専用コントローラを抜くときは、本機の電源を切ってから抜いてください。

付属のリモコンでゲームをするときのご注意

- ゲームによっては、リモコンのボタン操作が正常に動作しないことがあります。
- リモコンで複数のボタンを同時に押しても機能しません。

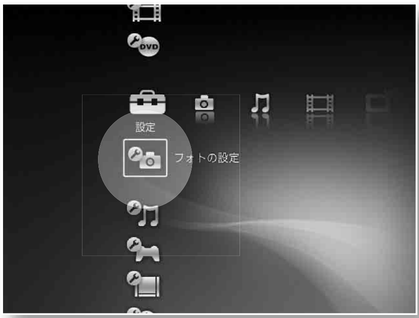
設定画面の出しかた

Step1



←→で（設定）を選ぶ。

Step2



↑↓で設定したい項目のアイコンを選び（決定）を押す。

選択した設定画面が表示されます。

本機の設定を行うときのご注意

本機が以下のような状態のときは、設定できない項目があります。

- 予約録画や、自動録画（x-おまかせ･まる録）の録画準備中から録画終了まで
- テレビ番組を録画しているとき
- 番組情報取得中のとき
- 最適化実行中のとき

テレビの設定をする

受信するチャンネルを手動設定する

1 ↑↓でテレビの設定画面から［手動チャンネル設定］を選び（決定）を押す。

2 ↑↓で設定したいチャンネルを選び（決定）を押す。

3 ↑↓で受信チャンネルを選び→を押す。

4 ↑↓でガイドチャンネルを選び→を押す。

番組表に表示させるチャンネルを手動で設定できます。「地域番号一覧」（19ページ）や「ガイドチャンネル一覧」（26ページ）をご覧になり、設定してください。

CATV（ケーブルテレビ）経由でBS放送をご覧になる場合、BSチャンネルが異なる場合があります。

このようなときは、BS放送を受信しているチャンネルに、BS放送のガイドチャンネルを設定してください。

BS放送のガイドチャンネルについては、「BS放送のガイドチャンネルについて」（21ページ）をご覧ください。

5 ↑↓でチャンネル飛ばしの設定を選び→を押す。

項目一覧

する

選局できないようにします。

しない

選局できるようにします。

6 ↑↓でGRTの設定を選び→を押す（DESR-7700のみ）。

項目一覧

切

放送局から送信されるゴースト除去基準信号を感知しません。

入

放送局から送信されるゴースト除去基準信号を感知し、建物や地形などによる妨害電波で発生するゴーストを少なくするようにします。

7 ↑↓で自動チューニングの設定を選び（決定）を押す。

項目一覧

する

最適な受信状態に自動的に調整します。

しない

「チャンネルの微調整」画面で、手動で受信状態を調整できます。

8 設定が終了したら ⊗ を押す。

ご注意

- GRTは、チャンネルを切り換えたあと数秒してから働き、強いゴーストから順に少なくしていきます。このとき、画像が一瞬またたくことがあります。また、電波が弱い場合は、GRTは通常よりも時間がかかる場合があります。
- アンテナの設置や調整のときは「GRT」を「切」にすると、ゴーストの少ない方向を確認できます。
- 次のときは効果が十分に出ないため、「GRT」を「切」にしてください。
  - ゴーストが強すぎるとき
  - ゴーストが同時に10波以上起きているとき
  - 飛行機に反射して起きるゴーストなど、一定でないゴーストのとき
  - 室内アンテナなどアンテナ設置や調整が適切に行われていないとき

受信するチャンネルを自動的に設定する

受信可能なチャンネルを自動的に設定します。
停電などによって電源が遮断された場合、地域設定や番組表取得チャンネル、ジャストクロックの設定などがお買い上げ時の状態に戻ります。

1 ↑↓でテレビの設定画面から［自動チャンネル設定］を選び (決定) を押す。
2 ←→で［はい］を選び (決定) を押す。
チャンネルの自動設定が始まります。
チャンネルの自動設定には、しばらく時間がかかることがあります。

ステレオ音声を自動的に出力する

ステレオ放送を受信したときに、自動的にステレオ音声に切り換えるための設定です。

1 ↑↓でテレビの設定画面から［自動ステレオ受信］を選び (決定) を押す。
2 ↑↓で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

入
自動的にステレオ音声に切り換えます。

切
モノラル音声で出力します。

視聴しないBSチャンネルを表示させないようにする（DESR-7700のみ）

利用しないBSチャンネルを表示できないように設定することができます。

1 ↑↓でテレビの設定画面から［BSチャンネル飛ばし］を選び (決定) を押す。
2 ↑↓で設定したいチャンネルを選び (決定) を押す。
3 ↑↓で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

する
選局できないようにします。

しない
選局できるようにします。

4 設定が終了したら ⊗ を押す。

BSアンテナの受信状態を確認する（DESR-7700のみ）

↑↓でテレビの設定画面から［BSアンテナレベル表示］を選び (決定) を押す。
BSアンテナの受信状態を確認することができます。
アンテナレベルが、できるかぎり最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整してください。

BSアンテナへの電源供給方法を設定する（DESR-7700のみ）

1 ↑↓でテレビの設定画面から［BSアンテナ電源］を選び (決定) を押す。
2 ↑↓で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

入
BSアンテナに常に電源を供給します。

切
BSアンテナに電源を供給しません。

番組表の地域番号を設定する

同じ放送局でも地域によってチャンネルが違うため、本機の番組表を利用するには、お住まいの地域の地域番号を設定して、その地域にあった番組表を表示させる必要があります。

1 ↑↓でテレビの設定画面から［地域番号設定］を選び (決定) を押す。
2 ↑↓で地域を選び (決定) を押す。
地域番号の変更後は、「自動チャンネル設定」を実行してください。「自動チャンネル設定」を実行しないと、地域にあったチャンネルの設定や、「番組表取得チャンネル」「番組表取得時刻」が正しく設定できません。

地域番号がわからないときは

「地域番号一覧」(19ページ)をご覧になり、お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号を選んでください。お住まいの地域の放送局は、新聞のテレビ欄などで確認できます。次のようなときは「受信するチャンネルを手動設定する」(125ページ)でガイドチャンネルの設定を変更してください。

- 表の中の表示チャンネルがテレビのチャンネルと違う
- CATV(ケーブルテレビ)やマンションの共同受信システムなどをご利用の場合で、表の中の表示チャンネルが違う

番組表の番組情報を取得するためのチャンネルを設定する

「地域番号一覧」(19ページ)や「ガイドチャンネル一覧」(26ページ)で「•」の付いている放送局から番組表データが送信されます(2005年3月現在)。

1 ↑↓でテレビの設定画面から[番組表取得チャンネル]を選び 決定 を押す。
2 ↑↓でチャンネルを選び 決定 を押す。

番組表の番組情報を取得するための時刻を設定する

番組表の番組情報は、お住まいの地域によって取得時刻が異なります。誤った時刻を指定すると、番組情報を正しく受信できなくなりますので、放送局からのお知らせがない限り、時刻を変更しないでください。

1 ↑↓でテレビの設定画面から[番組表取得時刻]を選び 決定 を押す。
2 ↑↓で設定したい欄を選び 決定 を押す。
3 ←→で設定したい項目を選び、↑↓で設定する。
4 変更したい項目を設定したら 決定 を押す。

ご注意

[番組表取得チャンネル]と[番組表取得時刻]は、放送局(ホスト局)の都合でデータを送信する放送局や時刻が変更になったとき以外には、手動で変更しないでください。誤って変更すると、番組表を取得できなくなります。その場合は、テレビの設定画面から[自動チャンネル設定]を選びチャンネルの自動設定をやり直します。詳しくは、お客様ご相談センター(裏表紙)へお問い合わせください。

ビデオの設定をする

録画モードを設定する

録画時はここで選んだ録画モードが通常の設定となります。

1 ↑↓でビデオの設定画面から[録画モード]を選び 決定 を押す。
2 ↑↓で録画モードを選び 決定 を押す。

録画モードについて

本機には6つの録画モードがあります。高画質で記録したいときは、HQなどの高い画質の録画モードを選んでください。本機のハードディスクにより多くの映像を録画したいときは、SLPなどの録画モードを選んでください。

録画モード		ハードディスクに記録できる時間*	
		DESR-7700	DESR-5700
HQ	高画質	約53時間	約33時間
HSP		約81時間	約51時間
SP(標準)		約107時間	約67時間
LP		約164時間	約103時間
EP		約217時間	約137時間
SLP	長時間	約325時間	約204時間

* ゲーム領域を0GBに設定したときの録画時間です。ハードディスクの領域を変更すると、録画可能時間も変わります。

ご注意

- 録画中は録画モードを変更することができません。
- ハードディスクの領域を変更すると、記録可能時間も変わります。
- 録画を開始してから6時間たつと、録画が自動的に停止します。

DVD-RWのダビング方法を設定する

ダビング時はここで設定した記録モードが標準設定となります。

1 ↑↓でビデオの設定画面から[DVD-RW記録モード]を選び 決定 を押す。
2 ↑↓でモードを選び 決定 を押す。

項目一覧

DVD-Video
DVD-RWをVideoモードでダビングします。

DVD-VR
DVD-RWをVRモードでダビングします。

DVD-VRモードについて

VRモードでDVD-RWにダビングした場合、編集した箇所を削除してダビングするか、編集した箇所を削除せず、プレイリストつきでダビングするかを選ぶことができます。詳しくは次の項をご覧ください。

編集した映像をDVD-RWのVRモードにダビングするときのダビング方法を設定する

DVD-RWのVRモードで編集した映像をダビングすると、プレイリストを作成したり、編集で再生しないように設定した箇所を削除してダビングしたりすることができます。

1 **↑↓でビデオの設定画面から［VRモードプレイリスト］を選び 決定 を押す。**

2 **↑↓でダビング方法を選び 決定 を押す。**

項目一覧

作成する

プレイリストとオリジナルの映像をダビングします。編集で再生しないように設定した箇所も、オリジナルの映像に残ります。

作成しない

オリジナルの映像から、編集で再生しないように設定した箇所を削除してダビングします。

プレイリストとは

再生の順番など、映像を再生するための管理情報のことをプレイリストと呼びます。

ホームメニューの （ビデオ）で、プレイリストが記録されているDVD-RWのディスクを選び 決定 を押すと、タイトルリストに、オリジナルの映像とプレイリストが表示されます。

プレイリストには、P LIST マークが表示されます。

オリジナルの映像を選ぶと、編集で再生しないように設定した箇所もそのまま再生します。
プレイリストを選ぶと、編集で再生しないように設定した箇所を飛ばして再生します。

外部映像を入力する端子を設定する

1 **↑↓でビデオの設定画面から［外部映像入力1］または［外部映像入力2］を選び 決定 を押す。**

2 **↑↓で設定を選び 決定 を押す。**

選ばれていない端子からは入力されません。

項目一覧

映像

映像端子を使って外部入力機器をつないだときに選びます。

S映像

S端子を使って外部入力機器をつないだときに選びます。

外部入力にガイドチャンネルを設定する

外部入力1や2で接続した外部チューナーの番組表を1チャンネル分割り当てて表示することができます。BSアナログ放送のガイドチャンネルについては「BS放送のガイドチャンネルについて」（21ページ）をご覧ください。

1 **↑↓でビデオの設定画面から［外部入力1ガイドチャンネル］または［外部入力2ガイドチャンネル］を選び 決定 を押す。**

2 **↑↓でガイドチャンネルを設定し 決定 を押す。**

外部入力音声を設定する

外部入力1や外部入力2で接続した音声の種類を選択することができます。

1 **↑↓でビデオの設定画面から［外部入力音声設定］を選び 決定 を押す。**

2 **↑↓で設定を選び 決定 を押す。**

項目一覧

ステレオ

外部入力でステレオ放送を記録するときに選びます。

二重音声

外部入力で二カ国語放送などの二重音声放送を記録するときに選びます。

DV入力の音声を設定する(DESR-7700のみ)

1 ⬆⬇でビデオの設定画面から[DV音声入力設定]を選び (決定) を押す。

2 ⬆⬇で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

ステレオ1

デジタルビデオカメラレコーダーで撮影したときの音声を本機に入力します。

ステレオ2

デジタルビデオカメラレコーダーで撮影したあとに入力した音声を本機に入力します。

ミックス

ステレオ1、ステレオ2の音声を両方入力します。

二カ国語放送をハードディスクに録画するときの音声記録方法を設定する

1 ⬆⬇でビデオの設定画面から[HDD二カ国語記録音声]を選び (決定) を押す。

2 ⬆⬇で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

主音声

主音声のみを記録します。

副音声

副音声のみを記録します。

主+副音声

主音声と副音声を記録します。

二カ国語放送の録画映像をDVDにダビングするときの音声記録方法を設定する

二カ国語放送の録画映像をDVD-R、DVD-RWのVideoモード、DVD+R/+RWでダビングするときの音声記録方法を設定します。

DVD-RWのVRモードでダビングするときは、主音声と副音声の両方が記録されます。

1 ⬆⬇でビデオの設定画面から[DVD二カ国語記録音声]を選び (決定) を押す。

2 ⬆⬇で記録方法を選び (決定) を押す。

項目一覧

主音声

主音声のみをダビング時に記録します。

副音声

副音声のみをダビング時に記録します。

二カ国語放送の録画映像をDVDにダビングするときの記録音声について

主音声・副音声両方の音声が記録されている録画映像は、ダビングに使用するディスクによって記録できる音声が異なります。

録画時のHDD二カ国語記録音声の設定	ダビング可能なDVDディスクと記録モード				
	DVD-R(Videoモード)	DVD-RW		DVD+R(+VRモード)	DVD+RW(+VRモード)
		Videoモード	VRモード		
主音声	○	○	○	○	○
副音声	○	○	○	○	○
主+副音声	△	△	◎	△	△

△「DVD二カ国語記録音声」の設定で選択した音声で記録されます

○録画時に設定したHDD二カ国語記録音声の音声のみダビングされます

◎主音声/副音声両方がダビングされ、再生時に主音声/副音声の切り換えができます

ご注意

外部入力機器で放送されている二カ国語放送を録画するときは、あらかじめ本機の外部入力音声の設定を「二重音声」に設定してください。外部入力音声の設定を「ステレオ」のまま録画すると、HDD二カ国語記録音声の設定で「主+副音声」に設定しても、再生時に主音声/副音声の切り換えができなくなります。

録画時のノイズを軽減する

1 ⬆⬇でビデオの設定画面から[録画NR](録画ノイズリダクション)を選び (決定) を押す。

2 ⬆⬇で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

3

ノイズ軽減効果を強くかける。

2

ノイズ軽減効果をやや強くかける。

1

ノイズ軽減効果を弱くかける。

切

録画NR機能を切にします。

録画した映像の自動消去方法を設定する

本機はハードディスクがいっぱいにならないように、録画した映像を自動的に消去します。自動的に消去する録画映像の種類を選んでください。選択した映像の中から、録画した日時の古いものを優先して消去していきます。
ハードディスク残量が少ない場合、自動消去対象タイトルがないと、録画したタイトルがすぐに消去されることがあります。

1 ⬆⬇でビデオの設定画面から[自動消去対象タイトル]を選び (決定) を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

おまかせ･まる録
x-おまかせ･まる録により自動録画された映像のみ自動的に消去します。

すべて
x-おまかせ･まる録により自動録画された映像だけでなく、手動で録画した映像なども消去していきます。
ただし、プロテクト設定された映像や、映像以外のデータ(フォトや音楽など)は消去されません。また、「すべて」に設定しても、手動録画番組よりも自動録画番組の方が優先して消去されます。

x-おまかせ･まる録の最大録画時間を設定する

x-おまかせまる録で一日に録画できる時間の上限を設定します。x-おまかせ･まる録で録画される番組が多いと感じた場合や、少ないと感じた場合は、最大録画時間の設定を変更してください。最大録画時間の設定によっては、x-おまかせ･まる録の設定に該当しない番組でも、おすすめ度が高いものについては録画されるようになります。

1 ⬆⬇でビデオの設定画面から[おまかせ･まる録最大録画時間]を選び (決定) を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

多め(12時間)
一日最大12時間x-おまかせ･まる録で録画することができます。

普通(6時間)
一日最大6時間x-おまかせ･まる録で録画することができます。

少なめ(3時間)
一日最大3時間x-おまかせ･まる録で録画することができます。

録画しない
x-おまかせ･まる録で録画しません。

x-おまかせ･まる録で録画するチャンネルを設定する

1 ⬆⬇でビデオの設定画面から[おまかせ･まる録チャンネル設定]を選び (決定) を押す。
2 ⬆⬇で設定したいチャンネルを選び (決定) を押す。
チャンネル飛ばしが設定されているチャンネルやガイドチャンネルが設定されていないチャンネルは表示されません。
3 ⬆⬇で設定を選び (決定) を押す。
4 設定が終了したら ⊗ を押す。

項目一覧

する
自動録画(x-おまかせ･まる録)の対象にします。

しない
自動録画(x-おまかせ･まる録)の対象にしません。

L2･R2ボタンを設定する

リモコンや"PSX"専用アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)(DESR-10)のL2/R2ボタンに割り当てる機能を設定します。

1 ⬆⬇でビデオの設定画面から[L2･R2ボタン設定]を選び (決定) を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

サーチ
L2がサーチー、R2がサーチ+になります。

フラッシュ
L2がフラッシュー、R2がフラッシュ+になります。

DVDの設定をする

DVDメニューに表示させる言語を設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［DVDメニュー表示言語］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で言語を選び 決定 を押す。

「言語一覧」を選んだときは、言語一覧から設定したい言語を選びます。

再生する音声言語を設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［音声言語］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で言語を選び 決定 を押す。

「言語一覧」を選んだときは、言語一覧から設定したい言語を選びます。

表示する字幕言語を設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［字幕言語］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で言語を選び 決定 を押す。

「言語一覧」を選んだときは、言語一覧から設定したい言語を選びます。

プログレッシブ出力を設定する

D映像コードでテレビと接続するときに設定します。

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［プログレッシブ出力］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

本機のD端子からプログレッシブ映像を出力します。

本機の映像出力端子から映像が出力されなくなりますので、ご注意ください。

切

プログレッシブ映像を出力しません。テレビがプログレッシブに対応していないときや、D映像コード以外でテレビと接続しているときは、こちらを選んでください。

ご注意

お使いのテレビがD1端子にのみ対応している場合、プログレッシブ出力を「入」にしてDVD-Videoの再生を行うと、画像が乱れることがあります。このようなときは、プログレッシブ出力を必ず「切」に設定してください。

ドルビーデジタルを設定する

光デジタルケーブルでAVアンプと接続するときに設定します。

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［ドルビーデジタル］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しているオーディオ機器を接続するときに選びます。

切

ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続するときに選びます。

DTS（デジタルシアターシステムズ）を設定する

光デジタルケーブルでAVアンプと接続するときに設定します。

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［DTS］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

DTSデコーダーを内蔵しているオーディオ機器を接続するときに選びます。

切

DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続するときに選びます。

音声トラックの再生方法を設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［音声トラック自動選定］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

DVD-Videoを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声トラック（ドルビーデジタル、DTSなど）を優先して再生します。

切

DVD-Videoの設定に従って、音声トラックを再生します。

視聴年齢制限の暗証番号を変更する

お買い上げ時には暗証番号は0000に設定されています。変更したい場合は以下の操作を行ってください。

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［視聴年齢制限暗証番号］を選び 決定 を押す。
2 0000を入力する。
3 ⬆⬇で新しい暗証番号を設定し 決定 を押す。

暗証番号を忘れたときは

「本機の設定をお買い上げ時の状態に戻す」(134ページ)で、お買い上げ時の設定に戻してください。

ご注意

本機の設定をお買い上げ時の設定に戻すと、暗証番号以外の設定もお買い上げ時の設定に戻ります。

視聴年齢制限の使用地域を設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から[視聴年齢制限使用地域]を選び (決定) を押す。
2 画面の指示に従って暗証番号を入力する。
3 ⬆⬇で地域を選び (決定) を押す。

ここで[その他]を選ぶと地域コードを入力する画面が出てきます。

「地域コード一覧」をご覧になり、コードを入力して (決定) を押してください。

地域コード一覧

使用地域	コード	使用地域	コード
アメリカ	US	台湾	TW
イギリス	GB	中国	CN
イタリア	IT	デンマーク	DK
インドネシア	ID	ドイツ	DE
オーストリア	AT	日本	JP
オランダ	NL	ノルウェー	NO
カナダ	CA	フィリピン	PH
韓国	KR	フィンランド	FI
シンガポール	SG	フランス	FR
スイス	CH	ベルギー	BE
スウェーデン	SE	香港	HK
スペイン	ES	マレーシア	MY
タイ	TH	ロシア	RU

視聴年齢制限レベルを設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から[視聴年齢制限レベル]を選び (決定) を押す。
2 画面の指示に従って暗証番号を入力する。
3 ⬆⬇で制限レベルを設定し (決定) を押す。

ご注意

- ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。つづき再生を解除した場合は、最初に設定したレベルに戻ります。
- 視聴年齢制限機能がないDVD-Videoは、本機で視聴年齢制限をしても再生は制限できません。
- DVD-Videoによっては、視聴年齢制限レベルの変更をせずに暗証番号のみ入力するものもあります。

フォトの設定をする

スライドショー再生時に流す音楽を設定する

1 ⬆⬇でフォトの設定画面から[スライドショー BGM]を選び (決定) を押す。
2 ⬆⬇でBGMを選び (決定) を押す。

項目一覧

切

スライドショー再生時に音楽を再生しません。

Music1

“PSX”オリジナルサウンドの"Bossa Samba"(LATIN)をBGMにして、スライドショー再生ができます。

Music2

“PSX”オリジナルサウンドの"wish"(NEW AGE)をBGMにして、スライドショー再生ができます。

Music3

“PSX” オリジナルサウンドの"fairly, airily, Mary"(HOUSE)をBGMにして、スライドショー再生ができます。

スライドショー再生時の効果を設定をする

1 ⬆⬇でフォトの設定画面から[スライドショー効果]を選び (決定) を押す。
2 ⬆⬇で効果を選び (決定) を押す。

項目一覧

切

効果をつけずに、スライドショーを再生します。

効果1

シームレスに次の写真に切り換わります。

効果2

次の写真に切り換わるときに、黒い画面を経由して表示します。

ミュージックの設定をする

CDの曲を取り込むときの音質を設定する

1 ミュージックの設定画面から[CD取込み設定]を選び (決定) を押す。
2 ⬆⬇で音質を選び (決定) を押す。

項目一覧

132kbps(高音質)
高音質で曲を取り込みます。

105kbps
標準の音質で曲を取り込みます。

66kbps
取り込むときのデータサイズを小さくすることができます。

ご注意

数値が大きいほど音質が良くなりますが、取り込める曲の数が少なくなります。

ゲームの設定をする

“PlayStation”規格ソフトウェア用の設定をします。
“PlayStation 2”規格ソフトウェアには働きません。

“PlayStation”規格ソフトウェアの読み込み速度を設定する

1 ⬆⬇でゲームの設定画面から[PlayStation®ディスク読込み速度]を選び (決定) を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

高速
高速読み込みでディスクを再生します。

標準
通常の読み込みでディスクを再生します。

“PlayStation”規格ソフトウェアのテクスチャ(画像)マッピングを設定する

1 ⬆⬇でゲームの設定画面から[PlayStation®ゲームテクスチャマッピング]を選び (決定) を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

補間処理
表示するテクスチャ(画像)をよりきれいに表示します。

標準
通常のテクスチャで表示します。

ご注意

- それぞれのゲーム設定を「高速」や「補間処理」にしても、本機の電源を入れ直すと、設定は「標準」に戻ります。
- ゲームソフトによっては、効果が分かりにくかったり、画像が乱れることがあります。その場合は「標準」を選んでください。

本体の設定をする

テレビ画面の横縦比を登録する

1 ⇧⇩で本体の設定画面から[TVタイプ]を選び (決定) を押す。

2 ⇧⇩で映像を表示するテレビの横縦比を選び (決定) を押す。

項目一覧

16:9

テレビ画面の横縦比が16:9のテレビのときに選択します。

4:3レターボックス

テレビ画面の横縦比が4:3で、16:9の映像をオリジナルの比率のまま見たいときに選択します。

4:3パンスキャン

テレビ画面の横縦比が4:3で、16:9の映像を4:3の画面比率に合わせて見たいときに選択します。

再生時のノイズを軽減する

再生中に画面に表示されるノイズ(ちらつき)を軽減します。

1 ⇧⇩で本体の設定画面から[DNR]を選び (決定) を押す。

2 ⇧⇩で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

切

もとの映像信号の状態を確認するときなどに選びます。

DNR1

映像のざらつきや色ノイズを軽減します。

DNR2

DNR1よりも強くノイズを軽減します。

映像の輪郭をはっきりさせる

1 ⇧⇩で本体の設定画面から[輪郭強調]を選び (決定) を押す。

2 ⇧⇩で数値を選び (決定) を押す。

大きい数値を選択するほど、映像の輪郭がはっきりします。

一時停止したときの表示方法を設定する

1 ⇧⇩で本体の設定画面から[一時停止モード]を選び (決定) を押す。

2 ⇧⇩でモードを選び (決定) を押す。

項目一覧

自動

動きの大きい被写体の画像がぶれずに見られます。

フレーム

動きの少ない被写体の画像を高い解像度で表示します。

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻す

⇧⇩で本体の設定画面から[出荷時設定に戻す]を選び (決定) を押す。

画面の指示に従って操作してください。

[出荷時設定に戻す]を実行しても、ハードディスクに保存された映像、音楽、写真、ゲームタイトル、フォルダなどの情報は削除されません。

ただし、番組情報とおすすめ度は削除されます。

ハードディスクの領域を変更する

本機のハードディスクは映像や写真、音楽などを保存する領域と、ゲーム専用の領域の2種類に分かれています。

お買い上げ時はゲーム用の領域が40GB(ギガバイト)に設定されていますが、本機でハードディスク対応ゲームで遊ばない場合は、ゲームの領域を0GB(ギガバイト)に設定することができます。

⇧⇩で本体の設定画面から[HDD領域設定]を選び (決定) を押す。

ハードディスク領域設定ウィザードが表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

ご注意

- ハードディスクの領域を変更すると、ハードディスクに保存された映像、音楽、写真、ゲームタイトル、フォルダなどの情報がすべて消去されますので、ご注意ください。
- ハードディスクの領域を変更すると、記録可能時間も変わります。
- x-DJはゲーム領域を40GBに設定しないと利用できません。

本機の情報を表示する

本機の型名やバージョン、MACアドレス、IPアドレスを表示します。

⇧⇩で本体の設定画面から[本体情報]を選び (決定) を押す。

日付と時刻の設定をする

日付と時刻を設定する

1 ↑↓で日付と時刻の設定画面から［時刻設定］を選び (決定) を押す。
2 ←→で設定したい項目を選び、↑↓で設定する。
3 変更したい項目を設定したら (決定) を押す。

時間を自動調整する

1 ↑↓で日付と時刻の設定画面から［ジャストクロック］を選び (決定) を押す。
2 ↑↓で設定し (決定) を押す。

項目一覧

入

NHK教育テレビの時報で本機の時刻を調整します。

切

時刻の自動調整を行いません。

自動調整するチャンネルを変更するには

1 ↑↓で日付と時刻の設定画面から［設定チャンネル］を選び (決定) を押す。
2 ↑↓でチャンネルを選び (決定) を押す。

ご注意

- 自動調整が働かないときは、設定し直してください。
- 時計の自動調整を設定しているチャンネル（NHK教育テレビ）を飛ばすと、自動調整が働きません。このときはNHK教育テレビを受信できるよう設定してください。
- 正午に時報を読みとるとき、次の場合は自動調整できません。
  - 本機の電源が入っている（本機の電源ランプが緑に点灯しているとき）
  - 録画中
  - 時計が2分以上ずれている
- 正午の時報送信時には、本機の電源を切ってください。
- スポーツなどの中継で、正午の時報が送信されないときは、自動調整できません。

文字入力の設定をする

よく入力する語句を登録する

1 ↑↓で文字入力の設定画面から［登録語句の編集］を選び (決定) を押す。
2 ↑↓で空欄を選び (△) を押す。
3 (決定) を押す。
キーボードが表示されるので、登録したい語句を入力してください。
4 文字の入力が終了したら［完了］を選び (決定) を押す。
5 登録が終了したら (×) を押す。

2で文字が入力されている欄を選び (△) を押すと、文字を編集したり削除したりすることができます。

USBキーボードの日本語の入力方法を設定する

「ローマ字入力」と「かな入力」の2種類の入力方法があります。

1 ↑↓で文字入力の設定画面から［日本語入力］を選び (決定) を押す。
2 ↑↓で入力方法を選び (決定) を押す。

項目一覧

ローマ字入力

アルファベットキーを使ってローマ字で日本語を入力します。

かな入力

かなキーを使って日本語を入力します。

USBのキーボードのキーバインドの設定をする

日本語の変換方法を設定します。本機には2種類の設定があるので、使いやすい設定を選んでください。

1 ↑↓で文字入力の設定画面から［キーバインド］を選び (決定) を押す。
2 ↑↓で設定を選び (決定) を押す。

リモコンの設定をする

リモコンモードを変更する

2台以上の"PSX"を1つのリモコンで操作したいときに、本機のリモコンモードを設定します。

1 ↑↓でリモコンの設定画面から[リモコンモード]を選び (決定) を押す。

2 ↑↓でリモコンモードを選び (決定) を押す。

操作したい"PSX"のリモコンモードに合わせて、リモコンのリモコンモードを切り換えてください。

付属のリモコンでゲームをするための設定をする

本機に付属しているリモコンでゲームを楽しむための設定をします。

1 ↑↓でゲームの設定画面から[ゲームプレイ機能]を選び (決定) を押す。

2 ↑↓で設定したい項目を選び (決定) を押す。

項目一覧

入

本機のリモコンでゲームを操作することができます。

切

本機のリモコンでゲームを操作することができません。

ご注意

「入」に設定しているときに、コントローラ端子1から別売りのアナログコントローラを抜くと、リモコンで"PlayStation 2"規格ソフトウェアまたは"PlayStation"規格ソフトウェアの操作が正しくできなくなる可能性があります。その場合は「切」に設定してください。

リモコン受光部の設定をする

本機にはリモコンの受光部が本機の前面と天面の２箇所あります。普段使用しない受光部の近くに強い光が入ると、リモコンの反応が悪くなりますので使用する受光部のみを有効にしてください。

1 ↑↓でリモコンの設定画面から[受光部の設定]を選び (決定) を押す。

2 ↑↓で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

前面+天面

両方の受光部を有効にします。

前面

本体前面の受光部のみ有効にします。

天面

本体天面の受光部のみ有効にします。

キーボードの設定をする

使用しているキーボードに合わせて以下の設定を行ってください。

キーボードの種類を設定する

英語のキーボードをつないだときはこの設定を行ってください。

1 ↑↓でキーボードの設定画面から[タイプ]を選び (決定) を押す。

2 ↑↓でキーボードの種類を選び (決定) を押す。

項目一覧

日本語キーボード

日本語キーボードを接続したときに選びます。

英語キーボード

英語キーボードを接続したときに選びます。

キーを長押ししたときの文字入力開始時間を設定する

キーボードのキーを長押ししたときに、文字が繰り返し入力されるまでの時間を調整します。

1 ↑↓でキーボードの設定画面から[リピート開始時間]を選び (決定) を押す。

2 ↑↓で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

短い

キーを長押しすると、同じ文字がすぐに入力されます。

標準

標準的な設定です。

長い

キーを長押ししても、同じ文字が連続して入力されるまでに少し時間があきます。間違って長押ししても、同じ文字が続けて入力されるのを防ぎます。

キーを長押ししたときの文字入力速度を設定する

キーを長押ししたときに入力される文字の入力速度を設定します。

1 ↑↓でキーボードの設定画面から[キーリピートの速さ]を選び (決定) を押す。

2 ↑↓で設定を選び (決定) を押す。

項目一覧

遅い

入力速度が遅くなります。

標準

標準の設定です。

速い

入力速度が速くなります。

ネットワークの接続と設定をする

ネットワークの接続と設定に関する詳しい情報は、以下のホームページでご覧ください。

http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

"PSX"のソフトウェア更新サービス(ネットワークアップデート)などを利用するには、本機をネットワークにつなぐ必要があります。ここでは、本機をネットワークに接続するための方法を説明します。

ブロードバンド回線に加入されていない方は、ネットワークの接続をする前に、ADSLやFTTH(光回線)などのブロードバンド回線の準備と、インターネットサービスプロバイダとの契約を済ませてください。

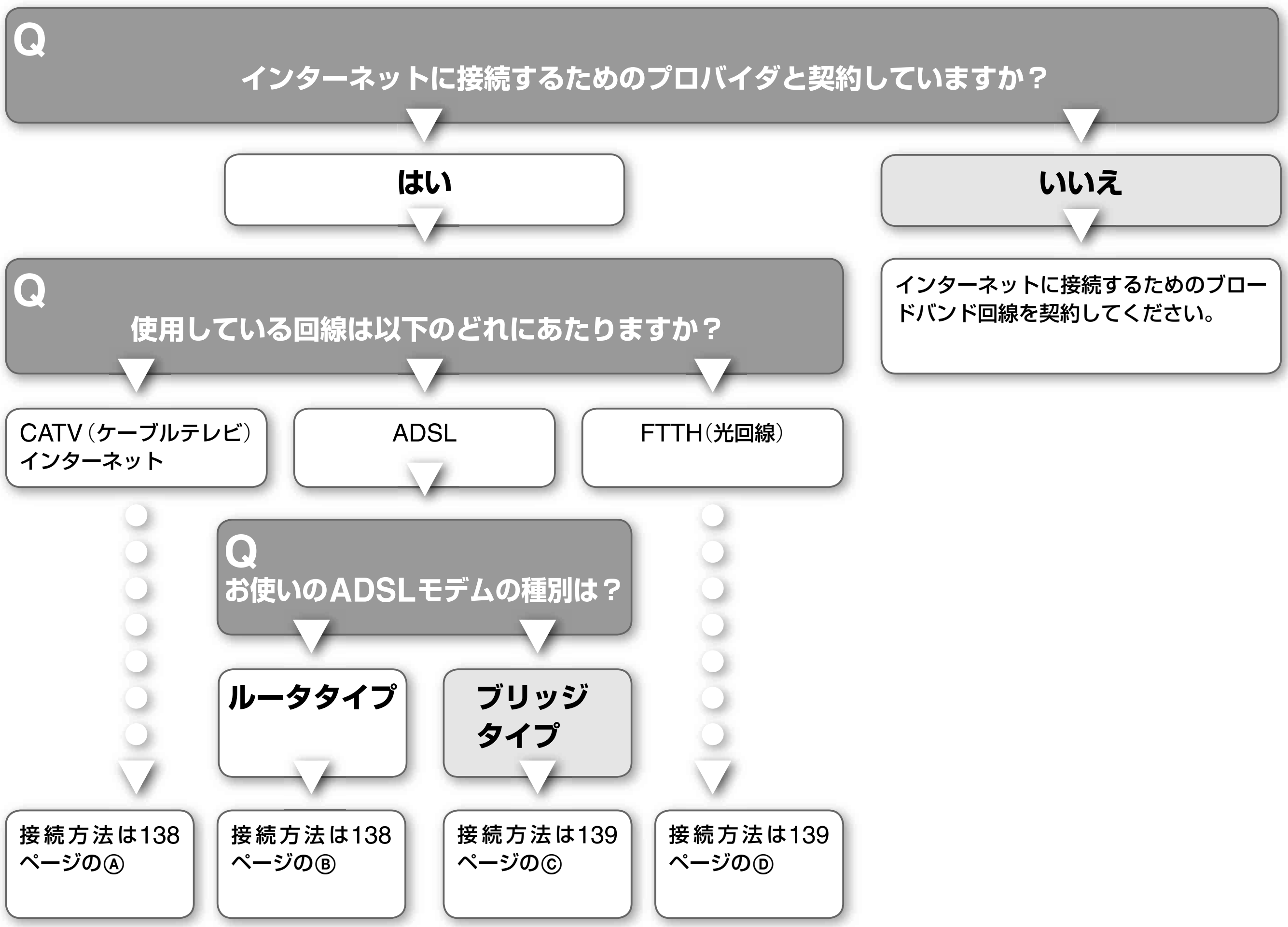
なお、CATV(ケーブルテレビ)会社のインターネットサービスによっては、MACアドレスの届出が必要な場合があります。本機のMACアドレスは「本体設定」の「情報表示」画面で見ることができます。

準備　イーサーネットケーブルをつなぐ

本機のNETWORK(ネットワーク)端子にイーサーネットケーブルをつないでください。

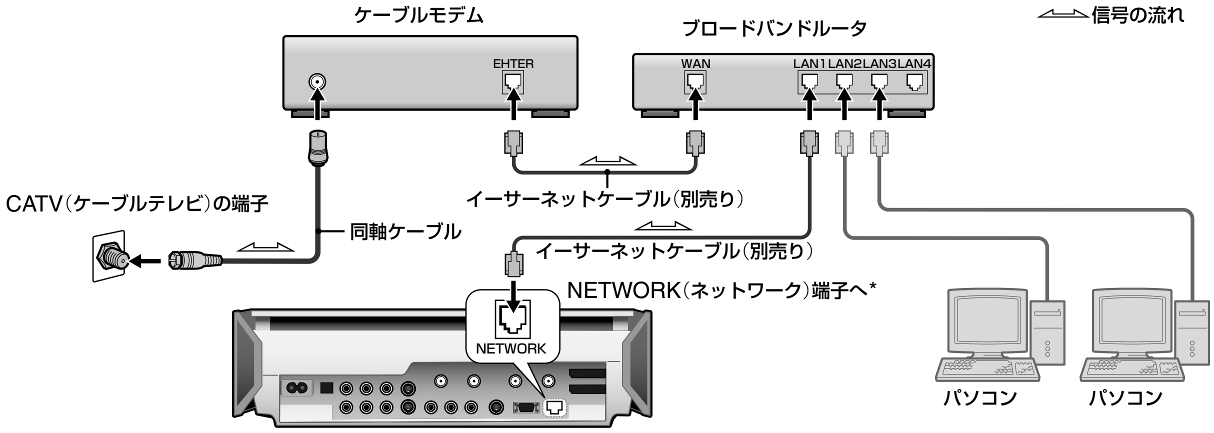
ご注意

- ダイアルアップやISDNでの接続はご利用になれません。
- インターネットサービスプロバイダから提供されているサービスによっては、接続環境設定時やネットワーク設定時にパソコンなどが必要となる場合があります。ネットワークの接続と設定をする前にご確認ください。
- イーサーネットケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。本機の接続には、ストレートケーブルをお使いください。その際には、不要電波の放射を抑えるため、シールドタイプのケーブルをお使いください。



Ⓐ CATV(ケーブルテレビ)インターネットを利用して接続する

ケーブルモデムを使い、本機以外の端末からもインターネットに接続するときの接続方法です。

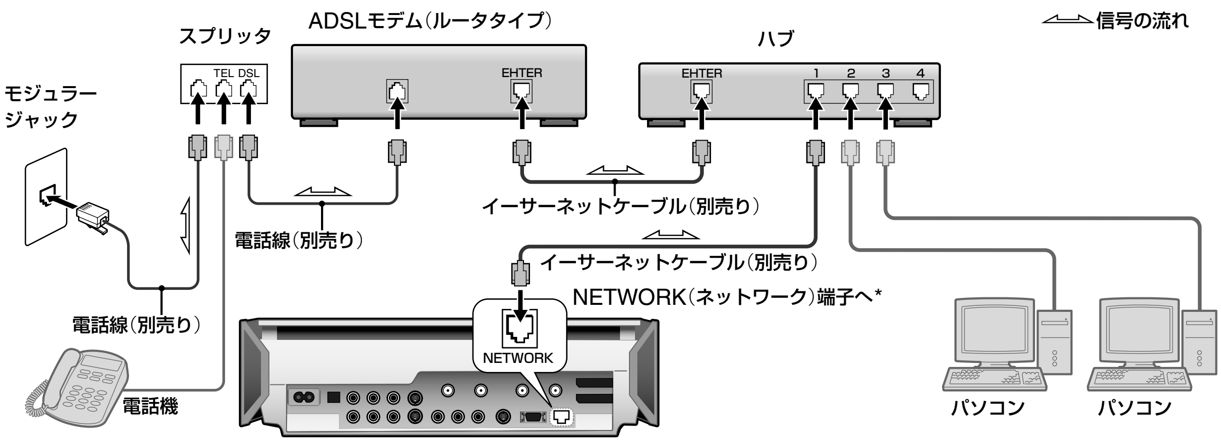


- 本機のみをインターネットに接続する場合は、本機とケーブルモデムを直接接続してください。
- CATV(ケーブルテレビ)会社によっては、ブロードバンドルータの接続を許可していない場合があります。あらかじめCATV(ケーブルテレビ)会社にご確認ください。

* NETWORK(ネットワーク)端子には電話線を接続しないでください。故障の原因となります。NETWORK(ネットワーク)端子にイーサーネットケーブルを接続するときは、端子のシールをはがしてから接続してください。

Ⓑ ADSL回線を使って接続する①

ルータタイプのADSLモデムを使い、インターネットに接続する方法です。

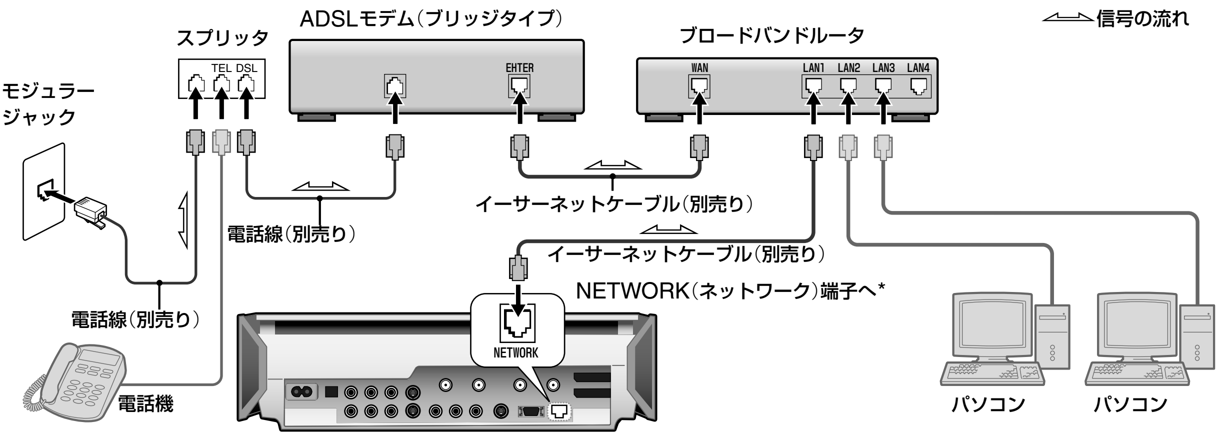


- 本機にはウェブブラウザ機能が搭載されていないため、ADSLモデム(ルータタイプ)の設定を本機から行うことはできません。ルータの設定にはパソコンなどが必要になりますのでご注意ください。
- ADSLモデム(ルータタイプ)に装備されているイーサーネット端子の数が接続する端末数より少ない場合は、ハブが必要となります。

* NETWORK(ネットワーク)端子には電話線を接続しないでください。故障の原因となります。NETWORK(ネットワーク)端子にイーサーネットケーブルを接続するときは、端子のシールをはがしてから接続してください。

Ⓒ ADSL回線を使って接続する②

ブリッジタイプのADSLモデムを使ってインターネットに接続し、本機以外の端末からもインターネットに接続するときの接続方法です。
本機以外の端末からインターネットに接続する必要がない場合、本機とADSLモデムを直接接続してください。

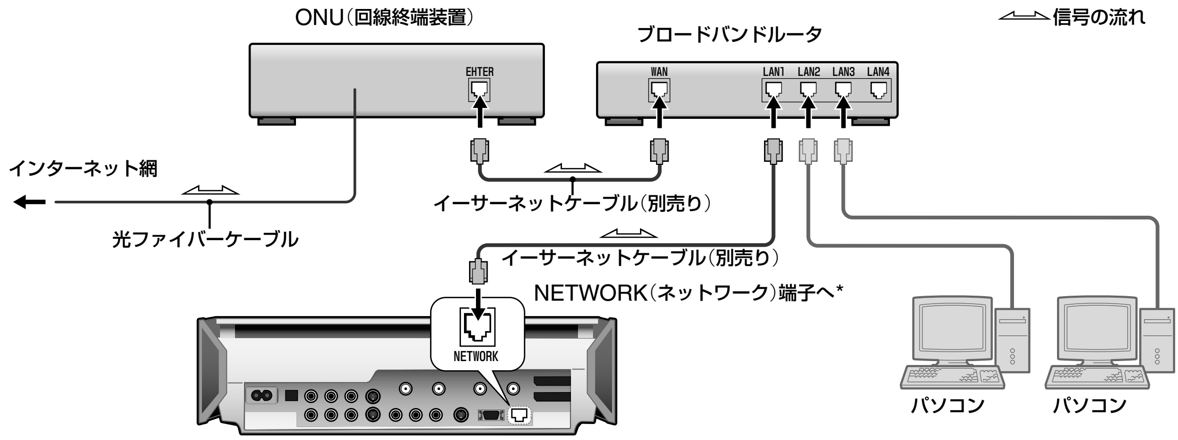


- 本機のみをインターネットに接続する場合は、本機とADSLモデムを直接接続してください。
- 直接接続するときに本機のPPPoEを使用する場合があります。詳しくはインターネットサービスプロバイダにご確認ください。

* NETWORK（ネットワーク）端子には電話線を接続しないでください。故障の原因となります。NETWORK（ネットワーク）端子にイーサーネットケーブルを接続するときは、端子のシールをはがしてから接続してください。

Ⓓ FTTH（光回線）を使って接続する

FTTH（光回線）でインターネットに接続し、本機以外の端末からもインターネットに接続するときの接続方法です。



- 本機のみをインターネットに接続する場合は、本機とONU（回線終端装置）を直接接続してください。
- 直接接続するときに本機のPPPoEを使用する場合があります。詳しくはインターネットサービスプロバイダにご確認ください。
- マンションなどで共同インターネット回線をご使用の場合、ONU（回線終端装置）が必要ないことがあります。（直接お部屋までイーサーネット回線の配線が敷設されている場合など）

* NETWORK（ネットワーク）端子には電話線を接続しないでください。故障の原因となります。NETWORK（ネットワーク）端子にイーサーネットケーブルを接続するときは、端子のシールをはがしてから接続してください。

ネットワークを設定する

ネットワークの設定画面を表示したら、画面の指示に従って設定してください。

STEP 1 「IPアドレスの設定」

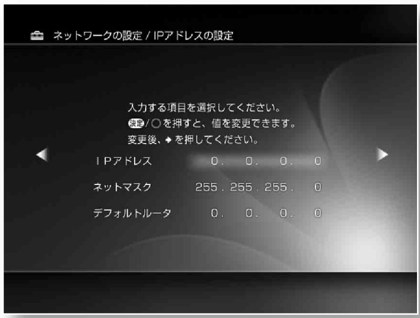
IPアドレスの設定方法を選択します。
プロバイダから使用するIPアドレスを指定されている場合は、「自動設定しない」を選んでください。
インターネット接続時にIPアドレスが自動的に割り当てられる場合や、お使いのルータからIPアドレスが自動的に割り当てられる場合は、「自動設定する」を選んでください。
IPアドレスについて詳しくはお使いのプロバイダにお問い合わせください。
本機でPPPoEを使用し、インターネットに接続するときは「PPPoE」を選んでください。
PPPoEの設定はインターネット接続環境により異なりますので、詳しくはお使いのインターネットサービスプロバイダ(プロバイダ)にお問い合わせください。

「自動設定する」を選んだ場合

IPアドレスが自動的に割り当てられます。

「自動設定しない」を選んだ場合

IPアドレス、ネットマスク、デフォルトルータを設定する画面が以下のように表示されます。

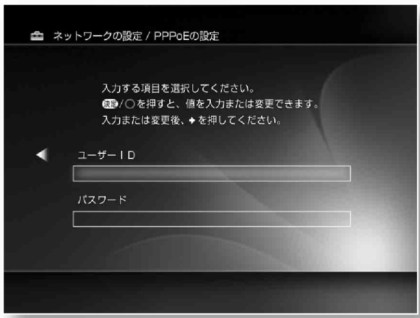


設定する項目

- IPアドレス:プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。
- ネットマスク:プロバイダから指定された値を入力してください。プロバイダによってはネットマスク以外の名称で呼ばれていることがあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。
- デフォルトルータ:プロバイダから指定された値を入力してください。プロバイダによってはデフォルトルータ以外の名称で呼ばれていることがあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

「PPPoE」を選んだ場合

PPPoEの設定画面が以下のように表示されます。



設定する項目

- ユーザー ID、パスワードの入力:PPPoEを使用するためのユーザー IDとパスワードを入力してください。ユーザー IDとパスワードについて詳しくは、お使いのプロバイダにお問い合わせください。

STEP 2 「DNSの設定」

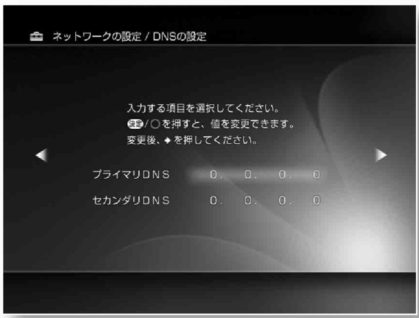
DNSの設定方法を選択します。
プロバイダから使用するDNSのアドレスが指定されている場合は、「自動設定しない」を選んでください。
インターネット接続時にDNSのアドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は、「自動設定する」を選んでください。
DNSについて詳しくはお使いのプロバイダにお問い合わせください。

「自動設定する」を選んだ場合

DNSのアドレスがプロバイダから自動的に割り当てられます。

「自動設定しない」を選んだ場合

DNSを設定する画面が以下のように表示されます。



設定する項目

- プライマリDNS：プロバイダから指定されたプライマリDNSを入力してください。
- セカンダリDNS：プロバイダから指定されたセカンダリDNSを入力してください。

ネットワークの設定で使われる用語は、お使いのプロバイダによって、以下のように呼びかたが異なります。
詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

「ユーザーID」の別の呼びかた

- 「接続ID」
- 「ユーザー名」
- 「PPPログイン名」
- 「ネットワークID」
- 「接続ログイン名」
- 「アカウント名」
- 「ログオン名」

「パスワード」の別の呼びかた

- 「PPPパスワード」
- 「ネットワークパスワード」
- 「接続パスワード」

「プライマリDNS」の別の呼びかた

- 「ネームサーバー」
- 「プライマリDNSサーバー」
- 「プライマリネームサーバー」
- 「ドメインネームサーバー」

「セカンダリDNS」の別の呼びかた

- 「セカンダリDNSサーバー」
- 「セカンダリネームサーバー」
- 「ドメインネームサーバー」

「デフォルトルータ」の別の呼びかた

- 「デフォルトゲートウェイ」

本機のソフトウェアを更新する（ネットワークアップデート）

本機のソフトウェアをネットワークを使って更新するには、ネットワークの接続と設定が必要です（137ページ）。
更新にはしばらく時間がかかる場合がありますが、すべての作業が終了するまでI/⏻（電源）スイッチや⏏（取り出し）ボタンを押したり、ディスクを挿入したりしないでください。故障の原因となります。

Step1 **（設定）から （ネットワークアップデート）を選び 決定 を押す。**
ネットワークアップデートの開始画面が表示されます。

Step2 **ネットワークアップデートの開始画面が表示されたら 決定 を押して、画面の指示に従って更新してください。**

更新作業の流れはソフトウェアのバージョンにより異なります。詳しくはソフトウェアアップデート時に発行される"PSX"アップデート取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- 録画予約（自動・手動ともに）が登録されているときは、録画予約の開始およそ1時間前から、アップデートできません。
- ソフトウェアの更新中にエラーメッセージが表示された場合、最初からやり直してください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、お客様ご相談センター（裏表紙）へお問い合わせください。
- アップデートの内容によっては、アップデート中に本機が数回再起動することがあります。
- アップデートの実行画面が表示されているときは、録画予約が正しく実行できないことがあります。
- ネットワークアップデートおよびアップデートCDの配布は弊社の都合により予告なく終了することがあります。

i.LINK（アイリンク）について

本機のデジタルビデオカメラレコーダー用i.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルビデオカメラレコーダー用DV IN端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ちょっと一言
i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意
- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

本機のi.LINK端子は入力専用です。また、本機のi.LINK端子（DVC-SD信号）は、MICROMV方式のデジタルビデオカメラレコーダーのi.LINK端子（MICROMV信号）、およびBSデジタルハイビジョンテレビ、BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキのi.LINK端子（MPEG-TS信号）とは信号が異なるため、接続できません。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションの有無などについては、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニー製i.LINKケーブルをお使いください。
4ピンT ⟷ 4ピン（DVダビング時）

i.LINKはIEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINK、i は商標です。

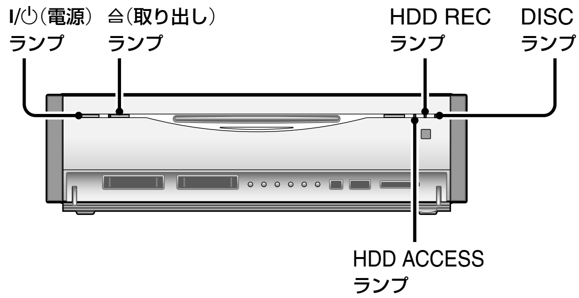
故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはお客様ご相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

本機の型名：DESR-7700（ディーイーエスアール）
DESR-5700（ディーイーエスアール）
リモコンの型名：RMT-P002J（アールエムティー）
故障の状況：できるだけ詳しく
購入年月日：

自己診断表示

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本体のランプの点滅で本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本体のランプの点滅状態が以下に該当するときは、お買い上げ店またはお客様ご相談センター（裏表紙）に点滅の状態をお知らせください。



本機の温度に異常がある場合

I/⏻（電源）ランプ→赤点滅
≙（取り出し）ランプ→消灯
HDD RECランプ→消灯
DISC RECランプ→消灯

本機のハードディスクの残量がない場合

I/⏻（電源）ランプ→緑点灯
≙（取り出し）ランプ→消灯
HDD RECランプ→赤点滅
DISC RECランプ→消灯

本機の通信機能に異常がある場合

I/⏻（電源）ランプ→緑点滅⇔赤点滅
≙（取り出し）ランプ→消灯
HDD RECランプ→消灯
DISC RECランプ→消灯

本機に内蔵されている冷却ファンに異常がある場合

I/⏻(電源)ランプ→赤点滅

⏏(取り出し)ランプ→青点滅

HDD RECランプ→消灯

DISC RECランプ→消灯

本機の症状と対処のしかた

電源	
電源が入らない。	→ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。

画像	
映像が出ない、乱れる。	→ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。 → 接続コードが断線していないか確認してください。 → テレビを本機に接続している入力(「ビデオ」など)に切り換えてください。 → プログレッシブ方式に対応していないテレビとつないでいるときに、本機をプログレッシブ出力を「入」に設定しないでください。 → プログレッシブ(525p)方式に対応しているテレビでも、プログレッシブを設定していると映像が乱れることがあります。 → 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部のDVD-Videoに使用されているコピー制御信号が画質に悪影響をおよぼす可能性があります。 本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続してください(12ページ)。 → ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがあります。故障ではありません。 → 映像入力端子と映像出力端子を間違って接続していないか、確認してください。 → 入力端子と出力端子を逆に接続してないか、またはBS IF IN端子とVHF/UHF端子を逆に接続していないか、確認してください。
テレビのチャンネルを変えられない。	→ アンテナ線を正しく接続してください(10、11ページ)。 → チャンネルを飛ばすように設定している場合は、ホームメニューで選局することができません(125ページ)。
本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	→ ホームメニューで外部入力を選んでいるか確認してください。 → S映像端子を使って本機の外部入力端子につないだ場合は、テレビの設定画面の[外部映像入力1]または[外部映像入力2]を[S映像]に設定してください(128ページ)。 → LINE1、LINE2の選択が間違っていないか確認してください(128ページ)。
画面設定の「TVタイプ」で設定した画像の形で再生できない。	→ 画像の形が固定されているディスクを再生しています。
画面の横縦比がおかしい。	→ テレビの横縦比に画像を合わせてください(134ページ)。

TV/BS受信	
本機で受信しているテレビ放送が映らない。	→ テレビの設定画面の[手動チャンネル設定]で手動でチャンネルを合わせてください(125ページ)。 → 地上波デジタルテレビジョン放送の開始に伴い、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルが停波されていると、番組が見られません。変更後のチャンネルを手動で合わせてください(125ページ)。
本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。	→ アンテナの向きを調節してください。 → 本機とテレビを離して設置してください。 → 本機から離してアンテナ線をたばねてください。 → 電波が弱い場合、別売りアンテナブースターで電波を増幅してください。
本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。	→ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、別売りのチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれています。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つないでください。

BS放送の番組が映らない。	➔ BSアンテナを正しくつないでください(10ページ)。 ➔ BSアンテナの受信状態を確認し、BSアンテナの向きを調整してください(126ページ)。 ➔ BSアンテナのごみや雪を取り除いてください。 ➔ 本機ではWOWOWのデコーダーを接続できません。

番組表(Gガイド)

番組表が表示されない。	➔ 接続と「かんたん設定」が終了しても、番組表の番組情報を受信するまでは表示されません。 受信までに、半日～1日程度かかることがあります。 ➔ 日付や時刻が正しく設定されているか確認してください(135ページ)。 ➔ テレビ番組の視聴や録画中、ダビング中などは番組情報は取得できません(22ページ)。 ➔ 番組表の番組情報を送信している放送局(19ページ)の受信状態が悪い場合や、手動チャンネル設定でホスト局(125ページ)をチャンネル飛ばし「する」に設定している場合は、番組表を表示できないことがあります。 ➔ 地域番号や、番組表の番組情報を送信している放送局(ホスト局)のガイドチャンネルを間違って設定した場合、テレビの設定画面の[地域番号設定]で、正しい地域番号を入力し直してから[自動チャンネル設定]を行ってください(126ページ)。 ➔ 番組表取得チャンネルまたは取得時刻が変わった可能性があります。正しい放送局や時刻を設定してください(127ページ)。 ➔ 番組表取得チャンネルまたは取得時刻が誤った設定に変更されています。「かんたん設定」(16ページ)をもう一度やり直してください。 ➔ CATV(ケーブルテレビ)でご覧になっている場合、CATV(ケーブルテレビ)会社の局内機器の都合により、番組情報が取得できない可能性があります。詳しくは、CATV(ケーブルテレビ)会社にお問い合わせください。
表示されない放送局がある。	➔ 間違った地域番号が設定されています。テレビの設定画面の[地域番号設定]で、正しい地域番号を入力し直してから、「自動チャンネル設定」を行ってください(126ページ)。 ➔ [手動チャンネル設定]で[チャンネル飛ばし]が[する]に設定されています。 ➔ 番組表の番組情報に含まれない放送局は表示されません。
番組表が更新されない。	➔ 更新時の受信状態が悪い場合、最新の番組表を受信できないことがあります。 ➔ テレビ番組の視聴中や録画中、ダビング中などは番組情報は取得できません(22ページ)。 ➔ 番組表取得チャンネルまたは取得時刻が変わった可能性があります。正しい放送局や時刻を設定してください(127ページ)。
番組表に表示されない番組がある。	➔ 受信状態が悪い場合、すべての番組表データを受信できないことがあります。 ➔ 時刻別番組表には、短い番組(5分間の番組など)は表示されません。チャンネル別番組表を使ってください(40ページ)。
間違った放送局名が表示される。	➔ 間違った地域番号が設定されています。テレビの設定画面の[地域番号設定]で、正しい地域番号を入力し直してから、「自動チャンネル設定」を行ってください(126ページ)。 ➔ 引越などをして、地域番号が変更になったときは、テレビの設定画面の[地域番号設定]で新しい地域番号を入力し直してください。

録画･予約･編集

裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。	➔ テレビ本体の入力切換で見たいチャンネルに切り換えてください。
録画中に■停止ボタンを押しても、録画が止まらない。	➔ ■停止ボタンを押していませんか？ ■録画停止ボタンを押してください。(テレビをご覧になっているときのみ有効です。)

予約したのに録画されていない。	➔ 予約した後で、予約したチャンネルを飛ばした可能性があります(125ページ)。 ➔ コピー禁止信号が含まれている映像は青色の画面として録画されます。 ➔ 予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは、先に録画していた番組の終わりが録画されません。 ➔ DVDへのダビング中は録画できません(90ページ)。 ➔ 最適化中は録画できません(92ページ)。 ➔ ハードディスクに録画するために必要な空き容量があるか確認してください(58ページ)。 ➔ DVDダビング、DVダビング、x-Pict Storyを作成しているときは、録画予約を実行できません。
以前録画した内容がなくなっている。	➔ パソコンで録画したDVDディスクを本機に入れると、ディスクの内容が消去されることがあります。 ➔ ハードディスクの空き容量が少なくなると、自動消去機能が働きます。保存の必要なタイトルにはプロテクトを設定してください。

再生	
再生が始まらない。	➔ ディスクが入っているか確認してください。 ➔ 録画されていないディスクが入っていませんか? ➔ ディスクが裏返しに入っていませんか?ラベル面(再生面ではない面)を表に向けて入れてください(29ページ)。 ➔ ディスクが斜めにずれて入っていませんか? ➔ 本機で再生できない地域番号のDVDを入れていませんか?(92ページ) ➔ 結露していると再生できません(6ページ)。 ➔ 他機で作ったファイナライズされていないディスクを再生することはできません。 ➔ 本機で再生できないディスクを入れていませんか?(88、104、116ページ) ➔ プログレッシブ方式に対応していないテレビとつないでいるときに、本機のプログレッシブ出力を「入」に設定しないでください。
再生がディスクの最初から始まらない。	➔ 自動的にタイトルメニュー、DVDメニューの画面が出るディスクを入れていませんか?
再生が自動的に始まる。	➔ 自動的に再生が始まるDVDを入れていませんか?
再生が自動的に止まる。	➔ ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。
停止、早送り/早戻し、スロー再生などの操作ができない。	➔ 操作を禁止しているディスクを再生していませんか?ディスクに付属の説明書も合わせてご覧ください。
音声言語を変更できない。	➔ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていますか? ➔ 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生していませんか? ➔ DVDメニューから操作してください。
字幕を変更できない。	➔ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていますか? ➔ 字幕を変更したり、字幕を消すことを禁止しているDVDを再生していませんか? ➔ DVDメニューから操作してください。
アングルを変更して見ることができない。	➔ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていますか? ➔ アングルの変更を禁止しているDVDを再生していませんか? ➔ DVDメニューから操作してください。

音声	
音が出ない。	➔ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。 ➔ 接続コードが断線していないか確認してください。 ➔ アンプの入力端子に正しく接続されていますか？ ➔ アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしてください。 ➔ 一時停止、スロー再生になっていると音が出ません。 ➔ 早送りまたは早戻し（サーチ）になっていると音が出ません。 ➔ 録画するときにテレビの設定画面の［自動ステレオ受信］を［入］にしてください（126ページ）。 ➔ ドルビーデジタルのデコーダを内蔵していないアンプに光デジタル音声出力で接続していませんか？このようなときは、Audio LR OUT（音声出力）で接続してください。
音声多重放送の音声が切り換えられない。	➔ 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されていた可能性があります。アンテナの向きを調節するか、市販のアンテナブースターで電波を増幅してください。

リモコン	
リモコンが働かない。	➔ 乾電池が消耗しています（13ページ）。 ➔ 乾電池を交換すると、テレビのメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る場合があります。リモコンのメーカー登録番号を合わせ直してください（13ページ）。 ➔ リモコンを本体に向けて操作してください。 ➔ 本体とリモコンのリモコンモードが合っているか確認してください（15ページ）。 ➔ リモコンを本体から遠いところで操作しないでください。 ➔ リモコン受光部に強い光が当たらないようにしてください。 ➔ リモコン受光部の設定を確認してください（136ページ）。 ➔ "PSX"専用アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を使用しているときは、以下のことを確認してください。 • アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のボタンが押されていないか、また、ケーブルが巻きつけられて、スティックが傾いていないか、確認してください。 • 電源を入れたあとに、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）の右スティックと左スティックを大きく円を描くように動かしてください。動かしかたについて詳しくは、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）の取扱説明書をご覧ください。 それでも改善しないときは、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を取り外してください。
本機のリモコンで操作したら、本機と他の"PSX"が同時に動いてしまった。	➔ 本機と他機のリモコンモードが同じになっていないか確認してください。本機のリモコンモードを変えてください（15ページ）。

"PlayStation 2"	
"PlayStation 2" 専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードが認識またはセーブ(記録)できない。	➔ "PlayStation 2" 専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードが本体にしっかり差し込まれているか確認してください。 ➔ ゲームの指示通りに操作しているか確認してください。ソフトウェアの説明書などをご覧ください。 ➔ "PlayStation 2" 専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードに空き容量があるか確認してください。 ➔ 使用しているソフトウェアに対応したメモリーカードが差し込まれているか確認してください。 ➔ "PlayStation 2" 専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードに問題がある可能性があります。お手持ちの他の"PlayStation 2" 専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードに交換してお試しください。

その他	
正常に動作しない。	➔ 本体の I/⏻(電源)スイッチを10秒押し続け、もう1度電源を入れ直してください。 ➔ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切ってから電源コードを抜き、しばらく置いてから再びコードを差して電源を入れてください。
チャンネルを切り換えたとき画像が出るまで時間がかかる。	➔ 番組表の受信が終了した後は、画像が出るまで時間がかかることがあります。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。
本機は、故障などが原因で、保存したデータが取り出せなくなったり、再生できなくなることがあります。大切なデータは常にバックアップ保存されることをおすすめいたします。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、お客様ご相談センター(裏表紙)へご連絡ください。

修理について(ハードディスク)

- 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

録画内容の補償はできません

不具合、故障、修理、交換、その他の外部要因を含め何らかの原因で録画･編集ができなかった場合、録画･編集されたものが破損、消滅した場合等、いかなる場合においても記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いません。

部品の保有期間について

当社ではハードディスク搭載DVDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、お客様ご相談センター（裏表紙）へご連絡ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DESR-7700/DESR-5700
- ディスクの種類：DVD-Video、DVD-RW、DVD-Rなど
- 接続しているアンテナ：VHF/UHF、VHF/UHF/BS混合、CATV（ケーブルテレビ）
- つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

主な仕様

システム

形式	ハードディスク搭載DVDレコーダー
信号方式	JEITA標準、NTSCカラー方式
受信チャンネル	VHF：1 ～ 12チャンネル UHF：13 ～ 62チャンネル CATV（ケーブルテレビ）：C13 ～ C63チャンネル BS：1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル（DESR-7700のみ）
映像受信方式	周波数シンセサイザー方式
音声受信方式	スプリットキャリア方式
映像圧縮方式	MPEG1、MPEG2
音声圧縮方式/ビットレート	リニアPCM（HQモード時）、Dolby Digital 2チャンネル/256 kbps（HSP、SP、LP、EP、SLPモード時）

入･出力端子

アンテナ入力	地上波：VHF/UHF1軸、75Ω F型コネクター BS IF：75Ω F型コネクター（コンバーター用電源出力DC15V 最大4W、芯線側＋）（DESR-7700のみ）
映像入力（2）	ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
映像出力	ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
S映像入力（2）	4ピンミニDIN、 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
S1映像出力	4ピンミニDIN 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
音声入力（2）	ピンジャック 入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）
音声出力	ピンジャック 出力レベル：2 Vrms（負荷インピーダンス：10 kΩ）
デジタル音声出力*	光：角型光ジャック1系統/-18 dBm（発光波長660 nm）
D1/D2映像出力	D端子/Y：1.0 Vp-p/75 Ω、 P_B/C_B：0.7 Vp-p/75 Ω、 P_R/C_R：0.7 Vp-p/75 Ω

DV入力	4ピンコネクター 1系統（S100）（DESR-7700のみ）
MEMORY STICK挿入口	スタンダード
MEMORY CARD差込口（2）	
ネットワーク端子	10BASE-T/100 BASE-TXコネクター（ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100 BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）
コントローラ端子（2）	
USB端子	1.1、 1系統

* 96 kHz PCM音声は、光デジタル音声出力端子から48 kHzに変換されて出力されます。

電源、その他

電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	DESR-7700: 84W（待機時1.0W以下 *） DESR-5700: 70W（待機時0.8W以下）
許容動作温度	5 ℃～ 35 ℃
許容動作湿度	25 %～ 80 %
最大外形寸法（横置き時）	312 × 95 × 323 mm（幅×高さ×奥行き）最大突起含む
ハードディスク容量	DESR-7700: 250Gバイト DESR-5700: 160Gバイト
本体質量	DESR-7700:約6.5kg DESR-5700:約6.2kg
付属品	映像·音声コード（1） 電源コード（1） F型コネクター付同軸ケーブル（1） リモコン（1） 単3形（R6）乾電池（2） 取扱説明書（1） PSX準備のポイント（1） "x-アプリ"活用ガイド（1） 保証書（1） "PSX"カルテ（1） 安全のために（1）

* BSアンテナ電源OFF時

別売りアクセサリー

2005年3月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

"PSX"専用アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）型名: DESR-10

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大値一覧

ハードディスク保存可能最大数		
ミュージック	アルバム	100
	曲/アルバム	100
	x-DJ登録曲	1000
フォト	アルバム	200
	写真/アルバム	200
	x-Pict Story	200
ビデオ	タイトル	400

CD-R認識可能最大数		
ミュージック	フォルダ	39
	曲/フォルダ	100
フォト	フォルダ	39
	写真/フォルダ	200

"メモリースティック"認識可能最大数		
フォト	フォルダ	200
	写真/フォルダ	200

商標について

“PS”、“PSX”、“PlayStation”、“DUALSHOCK”、“PocketStation”および“PSP”は株式会社ソニー·コンピュータエンタテインメントの登録商標です。また、“DNAS”は同社の商標です。
“SONY”はソニー株式会社の登録商標です。

Portions of this software are copyright © 1996-2002 The FreeType Project (www.freetype.org). All Rights Reserved.

Unicode はUnicode, Inc.の商標です。

The International Components for Unicode - Internationalization Classes for Unix Copyright ©2000 International Business Machines Corporation and others. All Rights Reserved.

- libjpeg
  This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- Standard Template Library
  Copyright (c) 1994 Hewlett-Packard Company
  Copyright (c) 1996 Silicon Graphics Computer Systems, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. Hewlett-Packard Company/ Silicon Graphics makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

- 「ATOK for “PlayStation 2”」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK for “PlayStation 2”」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

本製品に搭載されているフォントの内、リュウミンM-KL 、新ゴR 、新丸ゴR 、MBR-SE1 、MBR-SE2 、MBDB-SE1 、MBDB-SE2 、SGR-SE1 、SGR-SE2 、SGB-SE1 、SGB-SE2 、RM-SE1 、RM-SE2 、REB-SE1 、REB-SE2 、SRGR-SE1 、SRGR-SE2 、SRGB-SE1 、SRGB-SE2 の各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

本製品はRSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ Crypto-C及びRSA® BSAFETM SSL-C を搭載しております。
RSA 及びBSAFE は、RSA Security Inc.の日本、米国およびその他の国における商標又は登録商標です。

Copyright(c) 1988,1989,1990,1991,1992 by Richard Outerbridge. (GEnie: OUTER; CIS: [71755,204]) Graven Imagery, 1992.

Gガイドについて

Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。Gガイドは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。米 Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報·機器·サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ“i”は商標です。

“XMB”、“xross media bar”および“ ”は、ソニー株式会社および株式会社ソニー·コンピュータエンタテインメントの商標です。

“x-アプリ”および“ ”は、ソニー株式会社の商標です。

“DJbox”、“DJbox”および“AIDJ”は、株式会社ソニー·コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

“OpenMG”はソニー株式会社の商標です。

MagicGate は、ソニーが考案した著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。
MagicGate は、ソニー株式会社の商標です。

“Memory Stick”及び Memory Stick は、ソニー株式会社の商標です。

“ATRAC3”は、ソニー株式会社の商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。

その他

Gガイドについて

本機の番組表機能にはGガイドを採用しています。Gガイドでは、特定の放送局（ホスト局）が地上波テレビ放送を利用して番組表データを配信します。本機は番組表データを1日数回受信し、テレビ画面に表示します。
ホスト局からの放送を受信できる地域にお住まいの場合は、かんたん設定を行うだけで、この番組情報サービスを無料にてご利用いただけます。Gガイドの番組情報を利用しているときに GG マークが表示されます。

ご注意

- お住まいの地域や電波状況によっては、ご利用いただけない場合があります。
- 当社はGガイドを利用した番組表のサービス内容に関与していません。

Gガイドのサービス提供について

Gガイドのサービスは（株）インタラクティブ･プログラム･ガイドが主体となって提供されています。番組表データを配信する（株）インタラクティブ･プログラム･ガイドと放送局（ホスト局）の都合により、データが送信されない場合があります。

Gガイドのサービス地域について

Gガイドを利用した番組表データは、次の放送局より送信されています（2005年3月現在）。

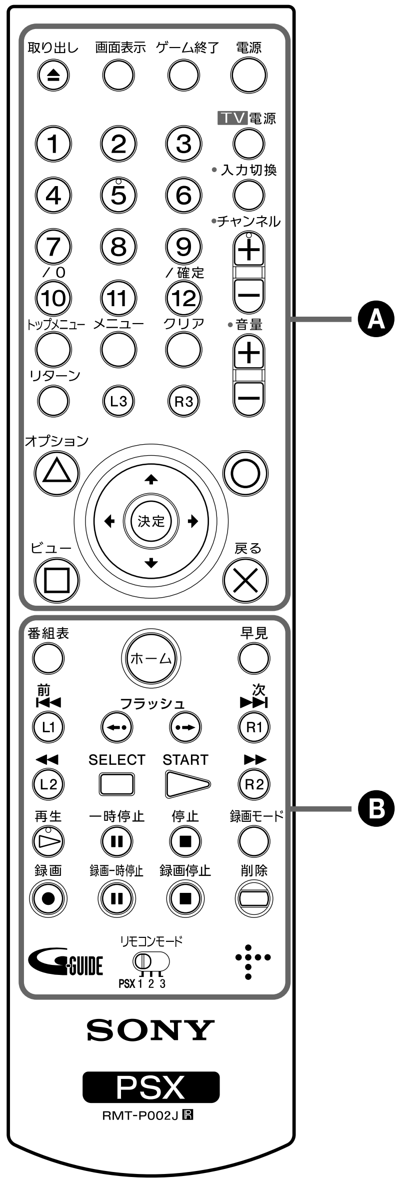
- 北海道地域ー北海道放送（HBC）
- 東北地域ー青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、テレビユー福島（TUF）
- 関東地域ー東京放送（TBS）
- 中部地域ー新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域ー毎日放送（MBS）
- 中国･四国地域ー山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、あいテレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州･沖縄地域ー RKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

各部のなまえ

各部の説明は（　）内のページをご覧ください。

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。



数字、チャンネル、再生ボタンには凸（突起）がついています（数字ボタンは「5」のみ、チャンネル＋/－ボタンは「＋」のみ）。操作の目印としてお使いください。

A

ボタン	名称	機能/参照ページ
取り出し ⏏	⏏取り出し	ディスクを取り出す
画面表示	画面表示	画面表示を切り換える（51）
ゲーム終了	ゲーム終了	ゲームモードを終了する（119）
電源	電源	本機の電源を入れる
1 ～ 12	数字ボタン	本機のチャンネルを選ぶ/数字を入力する（13）
トップメニュー	トップメニュー	DVDのトップメニューを表示させる
メニュー	メニュー	DVDのメニューを表示させる
クリア	クリア	入力した数字を消す
リターン	リターン	1つ前の画面に戻る
L3	L3	直前のチャプターマークを削除する（74）
R3	R3	チャプターマークを加える（73）
TV電源	テレビ電源	テレビの電源を入れる
入力切換	テレビ入力切換	テレビの入力を切り換える
チャンネル + −	テレビチャンネル＋/−	テレビのチャンネルを選ぶ
音量 + −	テレビ音量＋/−	テレビの音量を調整する
オプション △	△/オプション	操作パネルを表示させる/オプションメニューを表示させる
ビュー □	□/ビュー	ビジュアライザーを変更する
○	○	決定する
戻る ×	×/戻る	1つ前の画面に戻る
	⬆⬇⬅➡/決定	決定する、⬆⬇でチャンネルを選ぶ

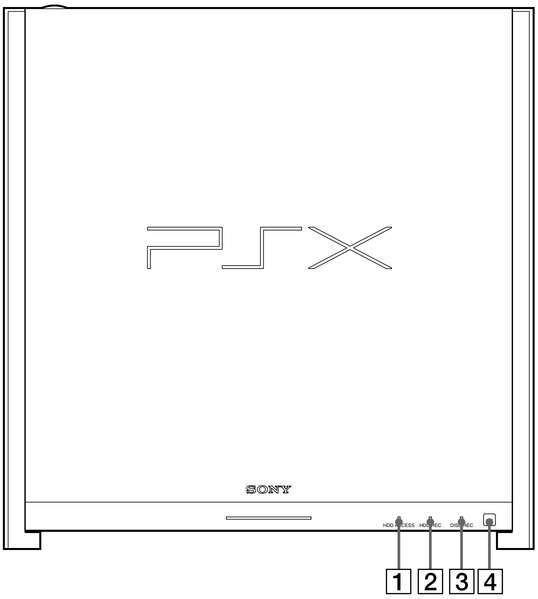
B

ボタン	名称	機能/参照ページ
ホーム	ホーム	ホームメニューを表示させる（50）
番組表	番組表	番組表を表示させる/切り換える（39）
早見	早見	再生中のとき早見再生になる
⏮ L1	L1/⏮	タイトルの頭に戻る/前のチャプターに戻る
⏭ R1	R1/⏭	次のタイトルの頭に進む/次のチャプターに進む
◀◀ L2	L2/◀◀	再生中のとき早戻し再生になる
▶▶ R2	R2/▶▶	再生中のとき早送り再生になる
	フラッシュ−	約15秒後ろの場面まで戻して再生する
	フラッシュ＋	約15秒先の場面まで飛ばして再生する
SELECT	SELECT（セレクト）	ホームメニューを表示させる
START	START（スタート）	-
再生	▷再生	再生する
一時停止	❚❚一時停止	一時停止する
停止	■停止	停止する
録画モード	録画モード	録画モードを切り換える
録画	●録画	録画を開始する
録画一時停止	❚❚録画一時停止	録画を一時停止する
録画停止	■録画停止	テレビ番組を表示中に録画を停止する
削除	削除	選択している映像や音楽、写真などを削除する
リモコンモード 1 2 3	リモコンモード スイッチ	リモコンモードを切り換える

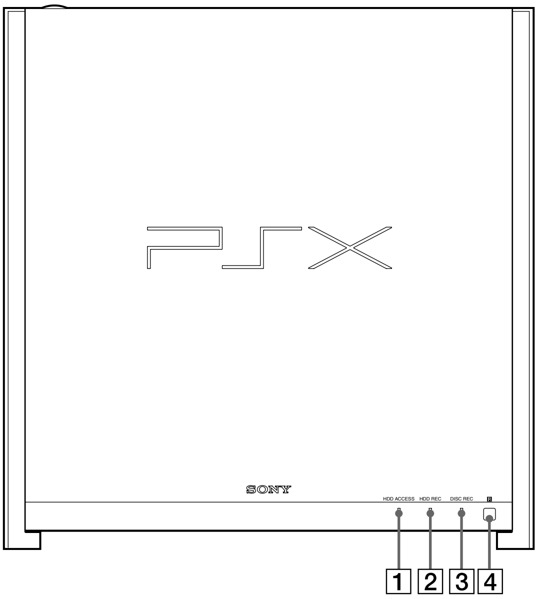
本体（天面）

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。（　）内の数字はページ番号です。

DESR-7700モデルの場合



DESR-5700モデルの場合

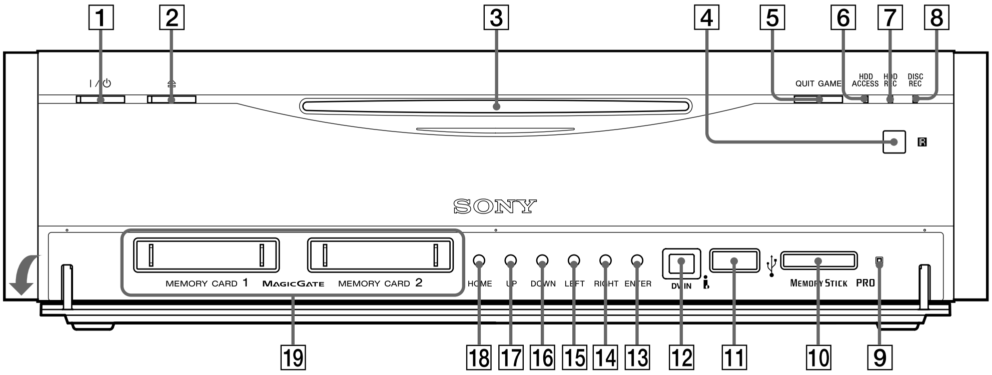


1　HDD ACCESSランプ（143）
2　HDD REC（HDD録画）ランプ（143）
3　DISC REC（ディスク録画）ランプ（143）
4　🄡（リモコン受光部）

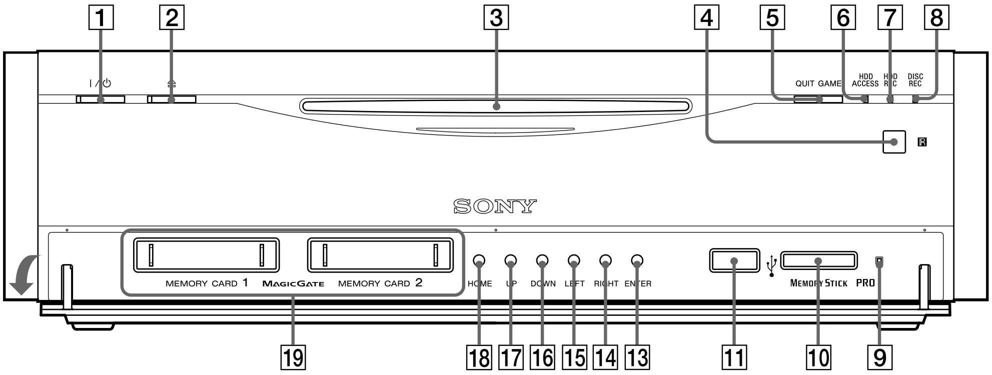
本体(前面)

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。(　　)内の数字はページ番号です。

DESR-7700モデルの場合



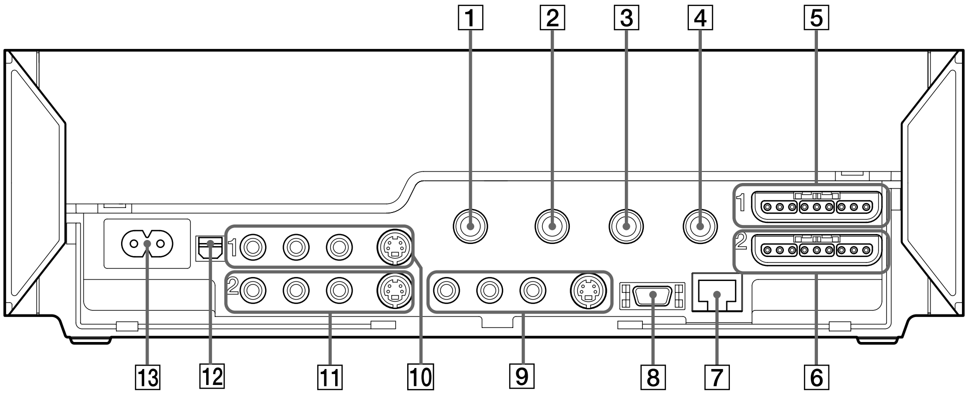
DESR-5700モデルの場合



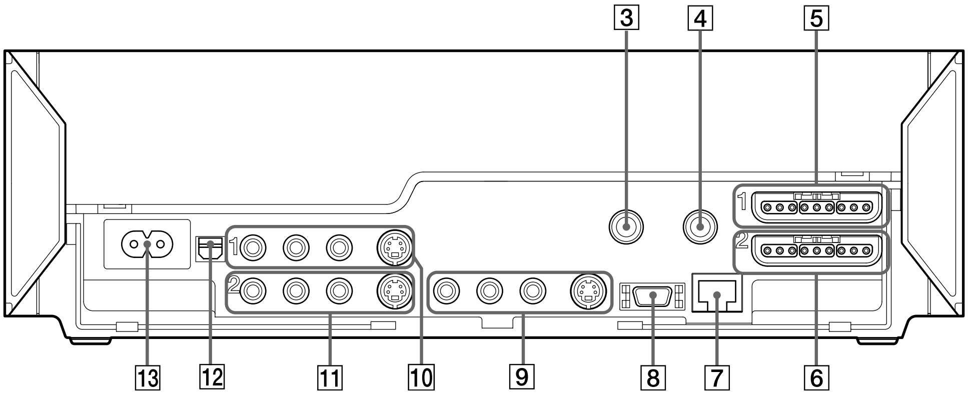
1 I/⏻(電源)スイッチ(35)
2 ≙(取り出し)ボタン(29)
3 ディスクスロット(29)
4 Ⓡ(リモコン受光部)
5 QUIT GAME(ゲーム終了)ボタン(119)
6 HDD ACCESSランプ(143)
7 HDD REC(HDD録画)ランプ(143)
8 DISC REC(ディスク録画)ランプ(143)
9 MEMORY STICKアクセスランプ(30)
10 MEMORY STICK挿入口(30)
11 USB端子(28)
12 DV端子(28)
13 ENTER(決定)ボタン
14 RIGHT(右)ボタン
15 LEFT(左)ボタン
16 DOWN(下)ボタン
17 UP(上)ボタン
18 HOMEボタン
19 MEMORY CARD差込口(27)

本体（後面）

DESR-7700モデルの場合



DESR-5700モデルの場合



その他

1 BS IF IN（BS IF入力）端子（10）
2 BS IF OUT（BS IF出力）端子（10）
3 VHF/UHF IN（VHF/UHF入力）端子（10）
4 VHF/UHF OUT（VHF/UHF出力）端子（10）
5 コントローラ端子1（27）
6 コントローラ端子2（27）
7 NETWORK（ネットワーク）端子（138）
8 D1/D2（映像出力）端子（12）
9 AUDIO LR/VIDEO/S VIDEO OUT（音声/映像/S1映像出力）端子（12）
10 AUDIO LR/VIDEO/S VIDEO IN（音声/映像/S映像入力）端子1（28）
11 AUDIO LR/VIDEO/S VIDEO IN（音声/映像/S映像入力）端子2（28）
12 DIGITAL OUT（OPTICAL）（光デジタル音声出力）端子（28）
13 ～ AC IN（電源入力）端子（15）

用語集

ア行

アンテナレベル（126ページ）
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さによって影響を受けます。

インターレース（31ページ）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法です。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっています。

カ行

ガイドチャンネル（26、125、145ページ）
ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号です。

書き込みモード
CD-Rを記録するときの規格です。

拡張子
ファイルの種類を表すための文字列です。MP3ファイルの場合は、ファイル名の後に「.」を挟んで「mp3」という拡張子をつけます。

例）　$\underset{\text{ファイル名}}{\text{ongaku}}\underset{\text{ドット}}{.}\underset{\text{拡張子}}{\text{mp3}}$

ゴースト（125ページ）
放送局からの電波が、テレビアンテナに届く前に、建物や地形の影響で妨害波となり、時間がずれて二重、三重に受信されることです。そのため、正しく送られてきた画像に妨害電波の画像が重なって表れ、見にくい画面となります。

コピー制御信号（7ページ）
複製防止機能のことです。著作権者などによって、複製を制限するための信号が記録されているソフトや、放送番組は録画することができません。

サ行

視聴年齢制限（131ページ）
国・地域ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクへの再生を制限するDVDの機能です。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生しない場合や、過激な場面をとばして、別の場面に差し換えて再生する場合などがあります。

受信チャンネル（125ページ）
本機が放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じです。本機では、かんたん設定を行ったときに設定されます。

スプリッタ（138ページ）
電話線に混在している音声通話とADSLの情報を2つに分けるために使用します。

タ行 ナ行

チャプター（73ページ）
ハードディスクやDVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位です。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。チャプターが記録されていないタイトルもあります。

ドルビーデジタル（131ページ）
ドルビーラボラトリーズの開発した音声圧縮技術です。マルチチャンネル・サラウンドに対応しています。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力します。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

ハ行

ハードディスク（6ページ）
大容量データ記憶装置のひとつ。表面に磁性体を塗った平らな円盤（ディスク）を回転させ、それに磁気ヘッドを近づけてデータを記録します。磁気ディスクと駆動機構が一体になっているため、非常に高速でデータを読み書きすることができ、データの検索性にすぐれています。

パケットライト
CD-Rにデータを書き込むときに、データをパケットと呼ばれる単位に分割して書き込む記録方法です。

ビットレート
1秒間にどれだけの情報があるかを表わす指標です。数値が大きいほど単位時間あたりに対する情報量が多いため音質もよくなります。

プログレッシブ（131ページ）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方法。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、初めから1秒を60フレームで構成することで高品質な映像を再現できます。

ブロードバンドルータ（138ページ）
ADSLやCATV（ケーブルテレビ）インターネットでインターネットに接続する場合、ADSLモデムやケーブルモデムという機器を使いますが、複数の端末からインターネットに接続するときは、ブロードバンドルータという機器を使用します。

プロバイダ（137ページ）
「インターネットサービスプロバイダ（ISP）」とも言います。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者です。

マ行 ヤ行

マルチセッション
一枚のCD-Rに複数のセッションを書き込む方法です。トラックアットワンスなどで書き込んだCD-Rはマルチセッションになります。

"メモリースティック"(30ページ)
小さくて軽く、フロッピーディスクよりも容量が大きいIC記録メディアです。本機では"メモリースティック"を使って写真の再生や、ビデオのダビングなどができます。

メモリースティックビデオフォーマット
テレビ放送やビデオカメラで撮影したパーソナルコンテンツなどを手軽に楽しむことを目的とした、映像のフォーマットです。

ユーザー ID(140ページ)
ネットワークに接続するときに使用します。パスワードと組み合わせて、利用者本人であることを確認します。

ラ行 ワ行

ルータ(137ページ)
ネットワーク間を中継する装置の事で、相互のネットワークのプロトコルやアドレスの変換を行います。ADSLやCATV(ケーブルテレビ)インターネットに接続するためのブロードバンドルータがあります。単に「ルータ」と呼ぶときは、これらの機器をさすこともあります。

ABC

ATRAC3(94ページ)
ミニディスクで使用していた音楽圧縮フォーマット「Atrac」をもとに、圧縮率と音質の向上を図った圧縮規格です。

CATV(ケーブルテレビ)(23ページ)
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。地上アナログのテレビ番組や地上デジタル、BSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

CD-R
書き込み可能なCDの規格です。本機では、CD-Rに書き込んだ写真や音楽のファイルの読み込みのみ対応しています。

DEF

D端子(156ページ)
DVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。本機とテレビを1本のケーブルでつなげるだけで、かんたんに映像信号を送ることできます。コンポーネット映像で接続するため、映像出力端子でテレビとつなげたときよりも、より高画質な画像が楽しめます。
D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。

- D1端子:525i(480i)の信号に対応
- D2端子:525i(480i)と525p(480p)の信号に対応
- D3端子:525i(480i)と525p(480p)、1125i(1080i)の信号に対応
- D4端子:525i(480i)と525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)の信号に対応

本機にはD1/D２端子に対応しています。

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
( )内は有効走査線数で数えたときの別称です。

DCF
Design rule for Camera File systemの略。デジタルカメラ用の画像のフォーマットです。

Disc at once[ディスク アット ワンス]
CD-Rへの書き込み方法のひとつです。すべてのデータを一度に書き込む方法です。本機では、この方法で書き込んだCD-Rのみ再生できます。

DNS(141ページ)
「プライマリDNSサーバー」、「ドメインネームサーバー」、「DNSサーバー」などとも呼びます。
ドメイン名をIPアドレスに変換する機能を持つサーバーです。

DTS(131ページ)
デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術です。マルチチャンネル·サラウンドに対応しています。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力されます。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

DVD+RW[ディーブイディープラスアールダブリュー]
書き換え可能なDVDの規格の一つ。DVD-RWと比べて、DVD-ROMとの互換性が高い。

GH

GB[ギガバイト](134ページ)
ハードディスクやDVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量となります。1GBは約1000MB(メガバイト)あります。

IJKL

ID3タグ[アイディースリータグ]
MP3のファイルにタイトルやアーティスト名などの情報を付加するための規格です。

IPアドレス[アイピーアドレス](140ページ)
TCP/IP(伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル)ネットワークで使用される識別情報です。
通常は、3桁の数字4組を点で区切ったものです(192.168.239.1など)。

ISO9660 [アイエスオー 9660]
CD-ROMの論理ファイルフォーマットに関する規格です。

Joliet[ジュリエット]
CD-ROMの論理ファイルフォーマットに関する規格です。

LPCM(56ページ)
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。「リニア･パルス･コード･モジュレーション(Linear Pulse Code Modulation)」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

MNO

MACアドレス[マックアドレス](134ページ)
LAN上につながっている機器を識別するために各機器ごとに割り当てられている番号です。CATV(ケーブルテレビ)会社によっては、本機のMACアドレスの届け出が必要な場合があります。本機のMACアドレスは、「本体の設定をする」の「本体情報」(134ページ)で確認できます。

MagicGate[マジックゲート](151ページ)
デジタル音楽コンテンツの著作権を保護するための暗号化技術です。

MPEG[エムペグ](149ページ)
Moving Picture Experts Groupの略称です。動画像データの圧縮するための国際標準規格です。

MPEG1[エムペグワン]
映像データの圧縮方式の一つ。VHSビデオ並みの画質で、動画を再生することができます。

MPEG1 Audio Layer3
MP3で利用される音声圧縮方式で、MPEG1で標準化された音声規格です。

MPEG2 Audio Layer3
MP3で利用される音声圧縮方式で、MPEG2で標準化された音声規格です。

MP3[エムピースリー]
音楽フォーマットの一つで、MPEGによって規格された音声圧縮規格です。高い圧縮率にもかかわらず、CDに近い高音質を保つことができます。本機ではパソコンなどで作成したMP3ファイルを再生したり、ハードディスクに取り込んだりすることができます。

MP4[エムピーフォー]
MPEG-4のファイルフォーマットです。
本機のHDD→M.S.ダビングでは、MP4に準拠したメモリースティックビデオフォーマットを使用しています。

mp3PRO[エムピースリープロ]
MP3の独自拡張規格です。

m3u[エムスリーユー]
演奏リストファイル形式のひとつです。

PQRSTUVWXYZ

PPPoE[ピーピーピーオーイー](140ページ)
Point-to-Point Protocol over Ethernetの略称です。ADSLやFTTHを使ってインターネットに接続するときに使われるプロトコルです。

VBR[ブイビーアール]
曲のデータ量を自動的に調整し、音質を落とさずにファイルサイズを必要最低限に抑える機能です。

数字

8.3形式
ファイル名の形式を規定した規格です。
8.3形式の場合、ファイルの名前は半角文字で8文字以下、拡張子は3文字以下で設定します。

索引

かな

アルファベット

数字

その他

この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。

I-2595306011

2-595-306-**01**(1)

Printed in Japan

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35